

中学校、義務教育学校の後期課程、
中等教育学校の前期課程

教科用図書調査研究の結果

(令和 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10年度使用)

令和 6 年 6 月

神奈川県教育委員会

本資料は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令に基づき、神奈川県内の採択権者が教科用図書を選定するための基礎的な資料として作成した。
 本資料は、教科用図書調査研究の各観点に基づき、21の調査項目を定め、全発行者の教科用図書について調査した結果の概要を発行者ごとにまとめたものを「資料Ⅰ」とし、その詳細を「資料Ⅱ」として構成した。

目 次

発行者の記載順は、文部科学省発行の中学校用教科書目録（令和7年度使用）の掲載順による

		ページ
令和7年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点について		観点1～5
教科・種目名	発行者の略称	
国語（国語）	東 書 三省堂 教 出 光 村	国語1～11
国語（書写）	東 書 三省堂 教 出 光 村	書写1～10
社会（地理的分野）	東 書 教 出 帝 国 日 文	地理的分野1～10
社会（歴史的分野）	東 書 教 出 帝 国 山 川 日 文 自由社 育鵬社 学び舎 令 書	歴史的分野1～23
社会（公民的分野）	東 書 教 出 帝 国 日 文 自由社 育鵬社	公民的分野1～15
社会（地図）	東 書 帝 国	地図1～6
数学（数学）	東 書 大日本 学 図 教 出 啓林館 数 研 日 文	数学1～16
理科（理科）	東 書 大日本 学 図 教 出 啓林館	理科1～12
音楽（一般）	教 出 教 芸	一般1～6
音楽（器楽）	教 出 教 芸	器楽合奏1～6
美術（美術）	開隆堂 光 村 日 文	美術1～8
保健体育（保健体育）	東 書 大日本 大修館 学 研	保健体育1～10
技術・家庭（技術分野）	東 書 教 図 開隆堂	技術分野1～8
技術・家庭（家庭分野）	東 書 教 図 開隆堂	家庭分野1～8
外国語（英語）	東 書 開隆堂 三省堂 教 出 光 村 啓林館	英語1～14
特別の教科 道徳（道徳）	東 書 教 出 光 村 日 文 学 研 あか図 日 科	道徳1～18

<参考> 発行者一覧

発行者	発行者の略称	発行者	発行者の略称
東京書籍株式会社	東 書	株式会社新興出版社啓林館	啓林館
大日本図書株式会社	大日本	株式会社山川出版社	山 川
教育図書株式会社	教 図	数研出版株式会社	数 研
開隆堂出版株式会社	開隆堂	日本文教出版株式会社	日 文
学校図書株式会社	学 図	株式会社Gakken	学 研
株式会社三省堂	三省堂	株式会社自由社	自由社
教育出版株式会社	教 出	株式会社育鵬社	育鵬社
株式会社教育芸術社	教 芸	株式会社学び舎	学び舎
光村図書出版株式会社	光 村	あかつき教育図書株式会社	あか図
株式会社帝国書院	帝 国	日本教科書株式会社	日 科
株式会社大修館書店	大修館	令和書籍株式会社	令 書

＜本資料の見方＞

1 【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】について

(1) 【資料Ⅰ】

各教科・種目について、発行者ごとに、すべての観点の調査研究の結果の概要を一覧にした。

(2) 【資料Ⅱ】

【資料Ⅱ】は、観点ごとに、調査研究の結果を一覧にした。

2 【資料Ⅰ】の「2 かながわ教育ビジョンとの関連」における④～⑥の観点について

(1) ④の観点である「思いやる力」については、さらに具体的な項目としての（共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 等）から一つを取り上げて記載した。

(2) ⑤の観点である「たくましく生きる力」については、さらに具体的な項目としての（公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 等）から一つを取り上げて記載した。

(3) ⑥の観点である「社会とかかわる力」については、さらに具体的な項目としての（生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 等）から一つを取り上げて記載した。

3 本資料における括弧の記載について

(1) 学習指導要領等や、かながわ教育ビジョンの記載等については「 」を用いている。

(2) 教科書内に設定されている学習活動の記述については【 】を用いている。

(3) 教科書内に掲載されているコーナー名等の記述については『 』を用いている。

(4) 教科書内に掲載されている書名等の記述については“ ”を用いている。

※ 「令和 7 年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」より抜粋

令和 7 年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書調査研究の観点について

令和 7・8・9・10 年度使用中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程教科用図書が、学習指導要領に定められた各教科の目標や本県の生徒の学習等に鑑み、題材等の取扱いが適切なものであるか、工夫や配慮がなされているかという視点に基づき、以下に具体的な「観点」の項目を定める。

ア 教科・種目に共通な観点

(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

- 「教育基本法（第 1 条、第 2 条）及び学校教育法（第 49 条・第 30 条 2 項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の 3 つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮
 - ・ 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮
 - ・ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

(4) かながわ教育ビジョンとの関連

- 教育目標（めざすべき人間力像）に掲げた、次の内容に沿っているか。
 - ・ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。
 - ・ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。
 - ・ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

(7) 内容と構成

- 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮
 - ・ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮
- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。
 - ・ 言語能力の確実な育成
 - ・ 伝統や文化に関する教育の充実

- ・体験活動の充実
- ・学校段階間の円滑な接続
- ・情報活用能力の育成
- ・生徒の学習上の困難さに応じた工夫

○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。

(I) 分量・装丁・表記等

- 各内容の分量とその配分は適切であるか。
- 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。
- 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

イ 教科・種目別の観点

(7) 国 語

- ☐ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。

※ 国語に関しては、書写を除くものとする。

(4) 書 写

- ☐ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。

(7) 社 会

- ☐ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。

※ 社会に関しては、地図を除くものとする。

(I) 地 図

- ☐ 一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。
- ☐ 統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、生徒の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。
- ☐ 生徒が自主的に学習に取り組み、情報を読み取る技能及びまとめる技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。

(II) 数 学

- ☐ 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 不確定な事象を取り扱う中で、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。

(III) 理 科

- ☐ 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。

(IV) 音 楽

- ☐ 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、〔共通事項〕をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。
- ☐ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。

(ク) 美 術

- ☐ 生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、「共通事項」の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。

(ケ) 保 健 体 育

- ☐ イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。
- ☐ 生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。

(コ) 技 術 ・ 家 庭

- ☐ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。

(カ) 英 語

- ☐ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。
- ☐ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。

※ 英語に関しては、学習者用デジタル教科書（見本版）も調査の対象とする。

(シ) 特別の教科 道徳

- ☐ 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。
- ☐ 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。
- ☐ 発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字道場』や『文法の窓』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【「環境」の新聞 編集して伝えよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、世界を広げたり、未来を考えたりする複数分野の作品が『読書案内』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんかな』が掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の信頼性を確認することを扱った内容が『情報の信頼性の確かめ方』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、生態系の仕組みについて扱った『絶滅の意味』が掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習を読み深める活動、振り返りを行う学習活動が【てびき】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科の公民や家庭科などと関連した内容が『いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが『言葉の力』に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『伝統文化を受け継ぐ』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【案内や報告の文章】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、ノートの書き方や情報の調べ方など、中学校の学習を始める前に確認する内容が『学習の前に』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報を収集、整理、比較する学習活動が【情報の分類・比較】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の読み取りや登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が【広がる言葉】に設定されている。 ⑱ ☐ 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容が『読書への招待』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法解説』『漢字道場』などと、『資料編』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)」に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字のしくみ』や『文法の窓』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や心などに分類された作品が『読書の広場 小さな図書館』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が『情報を関係づける その口コミ信頼できる?』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、オゾン層破壊の問題について扱った『フロン規制の物語—(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで』が掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習を読み深める活動、学び振り返る学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、英語科と関連した内容が『日本語と英語の慣用表現』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが『言葉発見』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典に学ぶ』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【必要な情報をわかりやすく伝える】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、説明文の基本構造について確認する内容が『ペンギンの防寒着』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報を関係づける】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の比較や登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【二次元コード参照先コンテンツ一覧】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める】に設定されている。 ⑰ ☐ 語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。 ⑱ ☐ 読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内が『私の読書体験』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 『目次』『話す・聞く』『書く』『読む』『文法のまとめ』『漢字を身につけよう』などと、『資料編』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	教出	書名	伝え合う言葉 中学国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字の広場』や『文法の小窓』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【客観性や信頼性のある記事を書く】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを深める複数分野の作品が『広がる本の世界』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、平和への思いを受け継ぐことを扱った『ベンチ』が掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を確かめることを扱った内容が『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然破壊の問題について扱った『地球は死にかかっている』が掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えを伝え合う学習活動が【みちしるべ】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連した内容が『asyncー同期しないこと』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが『学びナビ』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典を伝える』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【中学校生活をまとめて作品集を作る】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を踏まえて言葉の力を養う学習の流れが『言葉の地図』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【広告の情報を考える】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、話すときの視点や筆者が伝えたいことを考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【意見を共有しながら話し合う】に設定されている。 ⑰ ☐ 語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が【言葉の小窓】に掲載されている。 ⑱ ☐ 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍が『読書への招待』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉と文法 解説編』『漢字の広場』などと、『言葉の自習室』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	光村	書名	国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字』や『文法への扉』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【論理の展開を意識して書こう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、本の世界を広げる複数分野の作品が『読書案内 本の世界を広げよう』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、戦時下の様子や平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに……』が掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が『情報の信用性』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、野生動物の行動を理解することについて扱った『作られた「物語」を超えて』が掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、内容を読み深める活動、学びを振り返る学習活動が【学びへの扉】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科や家庭科と関連した内容が『実用的な文章を読もう』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが『思考のレッスン』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『いにしへの心を受け継ぐ』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、中学校での学習の心がけが『言葉に出会うために』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報整理のレッスン】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、筆者が伝えたい内容や登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ICT活用のヒント】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く】に設定されている。 ⑰ ☐ 語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。 ⑱ ☐ 読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内が『コラム』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法への扉』『漢字に親しもう』などと、『資料編』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『生徒の学習負担を軽減できるよう、書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(国語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、活字と書き文字、画数、筆順、第2学年では、紛らわしい漢字、第3学年では、他教科で学ぶ漢字などが『漢字道場』や『文法の窓』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、成り立ちと部首、第2学年では、熟語の構成・熟字訓、第3学年では、四字熟語などが『漢字しくみ』や『文法の窓』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、漢字の部首、第2学年では、漢字の多義性、第3学年では、異字同訓などが『漢字の広場』や『文法の小窓』に掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、漢字の組み立てと部首、第2学年では、熟語の構成、第3学年では、熟語の読み方などが『漢字』や『文法への扉』に掲載されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【「写真」の意見文 根拠を明確にして書こう】に、第2学年では【「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう】に、第3学年では【「環境」の新聞 編集して伝えよう】などに設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【意見文 根拠を明確にして考えを述べる】に、第2学年では【論説文 構成を工夫して考えを伝える】に、第3学年では【課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く】などに設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【根拠を明確にして意見文を書く】に、第2学年では【「連作ショートショート」を書く】に、第3学年では【客観性や信頼性のある記事を書く】などに設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【根拠を明確にして書こう】に、第2学年では【適切な根拠を選んで書こう】に、第3学年では【論理の展開を意識して書こう】などに設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、世界を広げたり、未来を考えたりする複数分野の作品が、第1学年では、戦争・平和について“ぼくは満員電車で原爆を浴びた”が、第2学年では、日本文化の理解について“日本の食を考える”が、第3学年では、働き方・生き方について“働くってどんなこと？人はなぜ仕事をするの？”などが『読書案内』に掲載されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や心などに分類された作品が、第1学年では、生き方について“才能とは続けられること”が、第2学年では、心について“考える練習をしよう 普及版”が、第3学年では、生き方について“世界をこんなふうに見てごらん”などが『読書の広場 小さな図書館』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを深める複数分野の作品が、第1学年では、表現・対話・思想について“こだまでしょうか、いいえ、誰でも”が、第2学年では、自己・他者・物語について“エイジ”が、第3学年では、自己・他者・物語について“あるような、ないような”などが『広がる本の世界』に掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、本の世界を広げる複数分野の作品が、第1学年では、中学校生活について“数の悪魔”が、第2学年では、外国文学の“赤毛のアン”が、第3学年では、スポーツを題材とした“一瞬の風になれ”などが『読書案内 本の世界を広げよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)

東書	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、次世代と描く原爆の絵を扱った『平和のバトン』が、第2学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第3学年では、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんかな』などが掲載されている。
三省堂	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第2学年では、被爆者の伝言や後世の人々の思いを扱った『壁に残された伝言』が、第3学年では、難民として暮らす人々について扱った『海を越えた故郷の味』などが掲載されている。
教出	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、平和への思いを受け継ぐことを扱った『ベンチ』が、第2学年では、生きることの意義や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『夏の葬列』が、第3学年では、平和への思いを受け継ぐことを扱った『薔薇のボタン』などが掲載されている。
光村	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、戦時下の様子や平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに……』が、第2学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第3学年では、隣り合わせにある平和と戦争について述べた『挨拶ー原爆の写真によせて』などが掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)

東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の信頼性を確認することを扱った内容が、第1学年では『ニュースの見方を考えよう』に、第2学年では『「正しい」言葉は信じられるか』に、第3学年では『情報の信頼性の確かめ方』などに掲載されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が、第1学年では『情報を関係づける 二つのデータ、どう関係づける?』に、第2学年では『情報を関係づける 飲み水は不足しているか』に、第3学年では『情報を関係づける その口コミ信頼できる?』などに掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を確かめることを扱った内容が、第1学年では『全ては編集されている』に、第2学年では『SNSから自由になるために』に、第3学年では『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』などに掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が、第1学年では『情報収集の達人になろう』に、第2学年では『デジタル市民として生きる』に、第3学年では『情報の信用性』などに掲載されている。

⑥ [社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)

東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、植物の分布について扱った『私のタンポポ研究』が、第2学年では、持続可能な地球環境について扱った『地球環境と人間社会』が、第3学年では、生態系の仕組みについて扱った『絶滅の意味』などが掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、クジラの生態について扱った『クジラの飲み水』が、第2学年では、水問題について扱った『飲み水は不足しているか』が、第3学年では、オゾン層破壊の問題について扱った『フロン規制の物語ー〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで』などが掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、SDGsについて扱った『「エシカル」に生きよう』が、第2学年では、地下水について扱った『水の山 富士山』が、第3学年では、自然破壊の問題について扱った『地球は死にかかっている』などが掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、鳥の行動や生態について扱った『「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ』が、第2学年では、イースター島の森の消滅について扱った『モアイは語るー地球の未来』が、第3学年では、野生動物の行動を理解することについて扱った『作られた「物語」を超えて』などが掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習過程をつかむための見通し、学習を読み深める活動、考え話し合う活動、振り返りを行う学習活動が【てびき】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習の流れをつかむための見通し、学習を読み深める活動、自らの考えを深める活動、学び振り返る学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えを伝え合う活動、言葉と表現について考える活動、振り返る学習活動が【みちしるべ】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、文章の内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えをもち伝え合う活動、学びを振り返る学習活動が【学びへの扉】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科と関連した内容が『私のタンポポ研究』に、第2学年では、社会科の歴史と関連した内容が『枕草子・徒然草』に、第3学年では、社会科の公民、理科、保健体育科、家庭科と関連した内容が『いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災』に掲載されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科と関連した内容が『クジラの飲み水』に、第2学年では、理科と関連した内容が『宇宙に行くための素材』に、第3学年では、英語科と関連した内容が『日本語と英語の慣用表現』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科や社会科と関連した内容が『資料をもとに紹介文を書く』に、第2学年では、理科と関連した内容が『確かな根拠をもとに意見文を書く』に、第3学年では、音楽科と関連した内容が『async-同期しないこと』に掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科や家庭科と関連した内容が『ダイコンは大きな根?』に、第2学年では、美術科と関連した内容が『君は「最後の晩餐」を知っているか?』に、第3学年では、社会科や家庭科と関連した内容が『実用的な文章を読もう』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが、第1学年では『言葉の力 描写』に、第2学年では『言葉の力 話し手の考えとの比較』に、第3学年では『言葉の力 説得力のある文章』などに掲載されている。
三省堂	言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが、第1学年では『言葉発見 比喩・倒置・反復・対句・体言止め』に、第2学年では『言葉発見 言葉のはたらきとコミュニケーション』に、第3学年では『言葉発見 言葉の現在・過去・未来』などに掲載されている。
教出	言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが、第1学年では『学びナビ 予想する』に、第2学年では『学びナビ 構成を明確にする』に、第3学年では『学びナビ 説得力を高める』などに掲載されている。
光村	言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが、第1学年では『思考のレッスン 意見と根拠』に、第2学年では『思考のレッスン 根拠の吟味』に、第3学年では『思考のレッスン 具体化・抽象化』などに掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”が『伝統文化に親しむ』に、第2学年では“平家物語”が『伝統文化を味わう』に、第3学年では“おくのほそ道”が『伝統文化を受け継ぐ』に掲載されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”や故事成語、第2学年では“枕草子”“徒然草”“平家物語”、第3学年では和歌や“おくのほそ道”などの教材が『古典に学ぶ』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では昔話が『古典にふれる』に、第2学年では“平家物語”が『古典を楽しむ』に、第3学年では“万葉集”“古今和歌集”“新古今和歌集”が『古典を伝える』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”が『いにしへの心にもふれる』に、第2学年では“平家物語”が『いにしへの心を訪ねる』に、第3学年では和歌が『いにしへの心を受け継ぐ』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【案内や報告の文章】に、第2学年では【依頼状とお礼状】に、第3学年では【俳句の創作と句会】などに設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【必要な情報をわかりやすく伝える】に、第2学年では【情報誌 地域の魅力を振り返って】に、第3学年では【漢字一字 自分自身や社会を見つめる】などに設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【材料を整理して案内文を書く】に、第2学年では【手紙・メールを整える】に、第3学年では【中学校生活をまとめて作品集を作る】などに設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【項目を立てて書こう 案内文を書く】に、第2学年では【表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く】に、第3学年では【三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする】などに設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、ノートの書き方や情報の調べ方など、中学校の学習を始める前に確認する内容が『学習の前に』に、高等学校との接続として、第3学年では、発展的な内容が『〔発展〕古典の文法』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、説明文の基本構造について確認する内容が『ペンギンの防寒着』に、高等学校との接続として、第3学年では、自己を振り返り、自分のこれからの生活のあり方に考える内容が『私とは何か』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を踏まえて、第1学年では、言葉の力を養う学習の流れが『言葉の地図』に、高等学校との接続として、第3学年では、二十歳の主人公の生き方や心情について扱う内容が『パースデイ・ガール』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、中学校の学習の心がけが『言葉に出会うために』に、高等学校との接続として、第3学年では、発展的な内容が『〔発展〕文語の活用』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報の分類・比較】に、第2学年では【情報の関係の表し方】に、第3学年では【具体例、根拠、反対の関係】などに設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報を関係づける】に、第2学年では【複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す】に、第3学年では【条件に応じて説得力のある文章を書く】などに設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【広告の情報を考える】に、第2学年では【相違点を明確にして聞く】に、第3学年では【社説を比較する】などに設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報整理のレッスン 比較・分類】に、第2学年では【情報整理のレッスン 思考の視覚化】に、第3学年では【情報整理のレッスン 具体化・抽象化】などに設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の読み取りや登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『朗読の世界 てびき』に、第2学年では『漢詩 てびき』に、第3学年では『故郷 てびき』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の比較や登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『トロッコ 学びの道しるべ』に、第2学年では『人間は他の星に住むことができるのか 学びの道しるべ』に、第3学年では『海を越えた故郷の味 学びの道しるべ』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、話すときの視点や筆者が伝えたいことを考える手立てが、第1学年では『学びナビ 構成を考える』に、第2学年では『学びナビ 事例と論の展開』に、第3学年では『学びナビ 自己PR』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、筆者が伝えたい内容や登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『学びへの扉 空の詩3編』に、第2学年では『学びへの扉 ヒューマノイド』に、第3学年では『学びへの扉 握手』などにキャラクターの台詞として掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【言葉を広げよう】、第2学年では【文法ゲーム】、第3学年では【練習問題】などが、【デジタルコンテンツの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【思考の方法】、第2学年では【グループディスカッション】、第3学年では【三年間の文法の総まとめ】などが、【二次元コード参照先コンテンツ一覧】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【さまざまな「奇妙な脳の癖」の例】、第2学年では【分かり合うための言語コミュニケーション】、第3学年では【敬語おもしろ相談室】などが、【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【文法ワーク】、第2学年では【「推敲」表現の効果を考える】、第3学年では【国語の力試し】などが、【ICT活用のヒント】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【グループディスカッション 互いの発言を結び付けて話し合おう】に、第2学年では【リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう】に、第3学年では【合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう】などに設定されている。
三省堂	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる】に、第2学年では【グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める】に、第3学年では【グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める】などに設定されている。
教出	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【発言を結びつけて話し合う】に、第2学年では【さまざまな考えを踏まえ討論をする】に、第3学年では【意見を共有しながら話し合う】などに設定されている。
光村	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【聞き上手になろう 質問で話を引き出す】に、第2学年では【立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる】に、第3学年では【合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く】などに設定されている。
⑰ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が、第1学年では【広がる言葉 擬音語・擬態語・様子を表す言葉】に、第2学年では【広がる言葉 程度を表す言葉】に、第3学年では【広がる言葉 慣用語やことわざ】に設定されている。
三省堂	語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 似ていることを表す表現】に、第2学年では【語彙を豊かに 近い意味の言葉の微妙な違い】に、第3学年では【語彙を豊かに 「間」を含んだ表現】に設定されている。
教出	語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が、第1学年では【言葉の小窓 日本語の音声】に、第2学年では【言葉の小窓 話し言葉と書き言葉】に、第3学年では【言葉の小窓 和語・漢語・外来語】などに設定されている。
光村	語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 心情を表す言葉】に、第2学年では【語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉】に、第3学年では【語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化】などに設定されている。
⑱ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容として、第1学年では『お試し読書のすすめ』で“たまごを持つように”が、第2学年では『メディアの垣根を越えて』で“時をかける少女”が、第3学年では『本との付き合い方』で“何のために「学ぶ」のか”が『読書への招待』に掲載されている。
三省堂	読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内として、第1学年では『本を読むことのおもしろさ』が、第2学年では『生涯の友と出会う』が、第3学年では『言葉は傘』などが『私の読書体験』に掲載されている。
教出	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍として、第1学年では『蜘蛛の糸』が、第2学年では『坊ちゃん』が、第3学年では“最後の一句”などが『読書への招待』や『作品解説』に掲載されている。
光村	読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内として、第1学年ではアニメーション映画監督による『本との出会い』が、第2学年では翻訳家による『「わからない」は人生の宝物』が、第3学年では作家による『ためになるってどんなこと?』などが『コラム』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑮ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法解説』『漢字道場』などと、『資料編』で構成されている。
三省堂	『目次』『話す・聞く』『書く』『読む』『文法のまとめ』『漢字を身につけよう』などと、『資料編』で構成されている。
教出	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉と文法 解説編』『漢字の広場』などと、『言葉の自習室』で構成されている。
光村	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法への扉』『漢字に親しもう』などと、『資料編』で構成されている。
⑯ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB 5判が採用されている。
三省堂	判型はB 5判が採用されている。
教出	判型はB 5判が採用されている。
光村	判型はB 5判が採用されている。
⑰ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
光村	『生徒の学習負担を軽減できるよう、書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第1学年 264ページ 第1学年 172ページ 第2学年 135ページ 第3学年 133ページ 第3学年 271ページ	『「常識」は変化する』古田ゆかり（神奈川県出身） 『トロッコ』（小田原市） 『源平の合戦』『石橋山の戦い』（小田原市）（鎌倉市） 『万葉集』脚注「多摩川」（神奈川県） 『「奥のほそ道」の旅』深沢了子（神奈川県出身）
三省堂	第1学年 172ページ 第1学年 266ページ 第2学年 120ページ 第3学年 31ページ 第3学年 88ページ 第3学年 100ページ 第3学年 120ページ	『トロッコ』（小田原市） 『玄関扉』渡辺武信（神奈川県出身） 『平家物語』『源家』『石橋山の戦い』（鎌倉市） 『握手』（横浜市） 『海を越えた故郷の味』安田菜津紀（神奈川県出身） 『フロン規制の物語ー〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで』神里達博（神奈川県出身） 『万葉集』『多摩川にー』和歌記載（神奈川県）
教出	第1学年 84ページ 第1学年 129ページ 第3学年 173ページ 第3学年 裏表紙の裏	『エシカルに生きよう』『かながわブラごみゼロ宣言』（神奈川県） 『敦盛の最後ー平家物語ー』『平家物語合戦地図』（鎌倉市） 『俳句十五句』『よし分かったー』池田澄子（神奈川県出身） 『「ふるさと」を巡る』神奈川県「中島敦」（横浜市 元町 汐汲坂）
光村	第1学年 27ページ 第2学年 146ページ 第3学年 18ページ 第3学年 215ページ 第3学年 299ページ	『はじまりの風』蜂飼耳（神奈川県出身） 『扇の的ー「平家物語」から』（鎌倉市） 『握手』（横浜市） 『律儀な桜』角田光代（神奈川県出身） 『郷土ゆかりの作家・作品』『神奈川県 吉川栄治「宮本武蔵」より』（神奈川県）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	1年	2年	3年
東書	3	530	532	552
三省堂	3	584	582	584
教出	3	586	608	584
光村	3	582	594	582

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『書写のかぎ』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、職場訪問をするときの依頼状作成や学習レポートの作成をする際、書写で学んだことを生かす学習活動が【職場訪問をしよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書写の学習の進め方】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、他者とかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【さまざまな書式】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、手紙の前文、主文、末文、後付けにどのような内容を書くか考えながらお礼状を書く学習活動が【手紙を書こう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『伝統的な用具・用材』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見つけよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『書写の学習の進め方』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、地域の行事に参加したことをパンフレットにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【地域の活動に参加しよう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、自分の思いを文字で表現する学習活動が【思いを文字で表そう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校での学習内容が『はじめに』に、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる内容が『書の古典』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【本のポップを書こう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で示した文字に、青い点線や矢印、イラストを用いた筆の流れが『基本の点画の書き方』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【読みやすく速く書くための動き】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の書き方と字形の整え方】に設定されている。 ⑰ ☐ 正しい運筆の能力の育成について、墨やイラストを使って示した基本点画や字形の整え方が『基本の点画の書き方』に掲載されている。 ⑱ ☐ 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、手紙や新聞、レポートなどの書き方が例示された『書写活用ブック』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『書き方を学ぼう』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、編集会議を開き、レイアウトを決めて新聞を作成する際、書写で学んだことを生かす学習活動が【グループ新聞を作ろう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書いて身につけよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、他者とかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常の書式】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、地域の魅力についてインタビューしたことをまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事に就いている人が大切にしている文字の魅力が『身のまわりの文字』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、書き方を学ぼう、書いて身に付けるという流れの学習の見通しが『この教科書の使い方』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、1年間のできごとをまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【グループ新聞を作ろう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、編集方針を立て、編集会議を開いて記事を書く学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方が『学習のはじめに』に、高等学校の学習につながる内容が資料編の『書の古典』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で書かれた折れや払いなどに、筆圧や運筆の方向を示した白い点線が『点画の種類と筆使い』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【点画の種類と筆使い】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の省略】に設定されている。 ⑰ ☐ 正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡で示された穂先の動きや、イラストや矢印で示された筆圧や筆脈が『字形の整え方と筆使い』に掲載されている。 ⑱ ☐ 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と、はがきの書き方などが例示された『日本の書式』などの『資料編』とで構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語（書写）》

※詳細については、資料Ⅱ（書写-5～書写-10）を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『目標』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、お薦めの本や心に残った言葉を紹介する際、書写で学んだことを生かす学習活動が【お薦めの本の帯やポップを作る】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標（めざすべき人間力像）に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、他者とかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【書式の教室】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、地域の方々に向けて清掃活動実施のお知らせを書く学習活動が【掲示物（ポスター）に案内を書く】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『筆、墨、硯、紙について知ろう』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、校庭の植物の観察をレポートにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【学校生活に生かして書く】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、名言や感謝の気持ちを伝える学習活動が【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容が『姿勢と用具の使い方』や『筆使い』に、高等学校の学習につながる内容が『書の古典の鑑賞』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【新聞を書く】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の朱墨で示された文字に黒い矢印や筆圧などを示した文字、イラストが『筆使い』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【筆使いー基本点画ー】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》（それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照） ⑯ ☐ 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【筆使いと字形】に設定されている。 ⑰ ☐ 正しい運筆の能力の育成について、イラストを使って示した筆使いや穂先の通ridor、筆圧が『筆使い』に掲載されている。 ⑱ ☐ 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(書写)》

※詳細については、資料Ⅱ(書写-5～書写-10)を参照。

発行者の略称	光村	書名	中学書写
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □ 「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点が『学びのカギ』に掲載されている。 ② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調べるテーマを決め、情報を集めてノートにまとめる際、書写で学んだことを生かす学習活動が【情報収集の達人になろう】に設定されている。 ③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □ [思いやる力]の「共生」について、他者とかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常に役立つ書式】に設定されている。 ⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、話し合いでテーマを決め、地域の防災に取り組む学習活動が【防災フェスタを開こう】に設定されている。 ⑥ □ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、フォントデザイナーが大切にしている文字の魅力や表現が『全国フォント見つけ隊』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、考えよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、興味のある職業の魅力について情報を集めて整理し表現するといった他教科等と関連する学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史を取り上げた教材が『文字の歴史を探る』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、集めた情報を整理し表現する学習活動が【冊子にまとめよう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が『中学書写スタートブック』に、巻末に高等学校で学ぶ芸術としての書道に触れる内容が『なりきり、書聖・王羲之』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、2色の濃淡の墨で示された文字に赤い矢印や点線、筆順などを示した文字や、イラストが『確かめよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【漢字の筆使い】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が【点画の変化】に設定されている。 ⑰ □ 正しい運筆の能力の育成について、2色の濃淡の墨と筆の写真やイラストを用いた始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧、点画のつながりが『楷書に調和する仮名』に掲載されている。 ⑱ □ 生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 学年ごとの学習内容やレポートの書き方などの書式が掲載された『教科書(本編)』と、硬筆学習のための『書写ブック』で構成されている。 ⑳ □ 判型はB5変型判が採用されている。 ㉑ □ 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『目次や単元名には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(書写)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『書写のかぎ』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『目標』や『書き方を学ぼう』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続と変化、第2学年では筆順の変化が『目標』に掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各単元で身に付ける知識・技能の留意点である字の形の特徴や書くときの動き、行書の特徴として、第1学年では点画の連続、第2学年では筆順の変化が『学びのかぎ』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、職場訪問をするときの依頼状や礼状作成、学習をしたことをポスターやレポートで報告する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【職場訪問をしよう】に、第3学年では、情報をノートに整理する学習活動が【自分のノートを見直す】に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、編集会議を開き、レイアウトを決めて新聞を作成する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【グループ新聞を作ろう】に、第3学年では編集方針を立て、言葉を集めて名言集を作る学習活動が【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、お薦めの本や心に残った言葉を紹介する際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【お薦めの本の帯やポップを作る】に、第3学年では、中学校の魅力を伝えるリーフレットを作成する学習活動が【新入生に自分の中学校の魅力を、書いて伝えよう】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、調べるテーマを決め、情報を集めてノートにまとめる際、書写で学んだことを生かす学習活動が、第1学年では【情報収集の達人になろう】に、第3学年では伝えたい内容を整理し、構成を考えて冊子にまとめる学習活動が【冊子にまとめよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書写の学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、自分の思いを表現する学習活動が【思いを文字で表そう】に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【書いて身につけよう】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、中学校生活の中で出合った言葉をまとめる学習活動が【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、日常生活で活用する学習活動が【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを日常生活で活用する学習活動が【学習の進め方】に、第3学年では、書写で身に付けた力を生かして、未来の自分をイメージして文字を書く学習活動が【自分らしい文字】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【さまざまな書式】に、第2学年では、書体を選択して手紙を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。
三省堂	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常の書式】に、第2学年では、書体を選択してお礼状を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に設定されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【書式の教室】に、第2学年では、感謝の気持ちを色紙に書く学習活動が【生活に生かそう】に設定されている。
光村	[思いやる力]の「共生」について、他者とのかかわりや状況を意識してはがきを書く学習活動が【日常に役立つ書式】に、感謝の気持ちを手書きで伝える学習活動が【手書きで伝えよう】に設定されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【書写活用ブック】に、第1学年では、手紙の前文、主文、末文、後付けにどのような内容を書くか考えながらお礼状を書く学習活動が【手紙を書こう】に設定されている。
三省堂	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【日常の書式】に、第2学年では、地域の魅力についてインタビューしたことをまとめる学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。
教出	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【書式の教室】に、第2学年では、地域の方々に向けて清掃活動実施のお知らせを書く学習活動が【掲示物（ポスター）に案内を書く】に設定されている。
光村	[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、お礼の手紙を書くといった学校内外の人々との交流を図る学習活動が【日常に役立つ書式】に、第3学年では、話し合いでテーマを決め、地域の防災に取り組む学習活動が【防災フェスタを開こう】に設定されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『伝統的な用具・用材』に、資料館でインタビューした職員へのお礼状が『書写活用ブック』に掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、文字に関わる仕事に就いている人が大切にしている文字の魅力が『身のまわりの文字』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『日常の書式』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、文字を書くための用具や用材を職人が作り上げる工程が『筆、墨、硯、紙について知ろう』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『書式の教室』に掲載されている。
光村	[社会とかかわる力] の「働くことの大切さ」について、フォントデザイナーが大切にしている文字の魅力や表現が『全国フォント見つけ隊』に、職場体験でお世話になった方々へのお礼状が『日常に役立つ書式』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、見つけよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『書写の学習の進め方』に掲載されている。また、学習を振り返り、目標を達成できたか自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、書き方を学ぼう、書いて身に付けるという流れの学習の見通しが『この教科書の使い方』に掲載されている。また、単元を通して学んだことを自分の言葉でまとめる学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。また、課題が解決できたかどうかを自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、考えよう、確かめよう、生かそうという流れの学習の見通しが『学習の進め方』に掲載されている。また、学習したことを生かして書いた後に、目標が達成できたか自己評価する学習活動が【振り返ろう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、地域の行事に参加したことをパンフレットにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【地域の活動に参加しよう】に、ポスターや・リーフレットを書くなど他教科等と関連する学習活動が【さまざまな書式】に設定されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、1年間のできごとをまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【グループ新聞を作ろう】に、行書で書かれた都道府県名を鉛筆でなぞり書きするなど他教科等と関連する学習活動が【筆順の変化】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、校庭の植物の観察をレポートにまとめるといった他教科等と関連する学習活動が【学校生活に生かして書く】に、新聞やポスターを書くなど他教科等と関連する学習活動が【学習を生かして書く】に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、興味のある職業の魅力などについて情報を集めて整理し表現するといった他教科等と関連する学習活動が【職業ガイドを作ろう】に、都道府県名を行書で書くなど他教科等と関連する学習活動が【日常に役立つ書式 【都道府県行書一覧】】に設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦！】に設定されている。
三省堂	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第2学年では、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【学力テスト問題】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【さまざまな書く場面】に、行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストで確認】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、楷書と行書を相手や目的、状況に応じて使い分けて文章を書く学習活動が【楷書と行書の使い分け】に、第3学年では、書写ブックに行書の書き方の理解の確認や、楷書と行書の特徴を理解したか確認する学習活動が【書写テストに挑戦しよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などを取り上げた教材が『文字の移り変わり』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【書いて味わおう】に設定されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”や“平家物語”の冒頭を硬筆で書く学習活動が【行書に調和する仮名】に設定されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の変遷』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を硬筆で書く学習活動が【学習を生かして書く一行書と仮名の調和と配列】に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、漢字の成り立ちや仮名の歴史などについて取り上げた教材が『文字の歴史を探索』に掲載されている。また、第2学年では、“枕草子”を行書で書く学習活動が【季節のしおり②】に設定されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、自分の思いを文字で表現する学習活動が、第1学年では【手紙を書こうーお礼状】に、第2学年では【地域の活動に参加しようー防災訓練】に、第3学年では【思いを文字で表そう】に設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、編集方針を立て、編集会議を開いて記事を書く学習活動が、第1学年では【グループ新聞を作ろう】に、第2学年では【情報誌を作ろう】に、第3学年では【名言集を作ろう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、名言や感謝の気持ちを伝える学習活動が、第1学年では【お薦めの本の帯やポップを作る】に、第2学年では【生活に生かそう】に、第3学年では【三年間の学習の成果を生かそう】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことや学習したことを生かして、集めた情報を整理し表現する学習活動が、第1学年では【情報収集の達人になろう】に、第2学年では【行書を活用しよう】に、第3学年では【冊子にまとめよう】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、最初の単元に小学校での学習内容が『はじめに』に、最後の単元に高等学校の芸術としての書道につながる内容が『書の古典』に掲載されている。冒頭に小学校での学習内容が『これまで学んできたこと』に掲載されている。第3学年では、中国や日本の古典作品、書体や書風についての内容が『書の古典』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、冒頭に姿勢や筆の持ち方が『学習のはじめに』に、高等学校の学習につながる内容が資料編の『書の古典』に掲載されている。冒頭には、書写学習時の基本姿勢と構え方、筆記具の持ち方、筆の運び方、用具の扱い方などが掲載されている。資料編では、王羲之の“楽毅論”を取り上げ、古典作品をみて書の表現を味わう内容が『書の古典』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容が『姿勢と用具の使い方』や『筆使い』に、高等学校の学習につながる内容が『書の古典の鑑賞』に掲載されている。第2学年では、唐の四大家の作品が取り上げられ、書風の違いを鑑賞する学習活動が【書の古典の鑑賞】に設定されている。また、巻末には平安時代の仮名の写本が『芸術としての書道』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、巻頭に小学校の学習内容が『中学書写スタートブック』に、巻末に高等学校で学ぶ芸術としての書道に触れる内容が『なりきり、書聖・王羲之』に掲載されている。巻頭には、小学校の学習内容が『姿勢・筆記具の持ち方』などに掲載され、巻末には、王羲之の書が取り上げられ、“蘭亭序”の冒頭部分をなぞる学習活動が【なりきり、書聖・王羲之】に設定されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、職場訪問をする際の依頼から学習の報告までの学習活動が【職場訪問をしよう】に、第2学年では、好きな本を紹介するポップを作る学習活動が【本のポップを書こう】に設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、1年間の出来事をまとめたグループ新聞を作る学習活動が【グループ新聞を作ろう】に、第2学年では、地域の情報をまとめた情報誌を作る学習活動が【情報誌を作ろう】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では情報を整理してポスターなどを書く学習活動が【ポスターを書く】に、第2学年では、情報を伝える工夫について考え、新聞などを書く学習活動が【新聞を書く】に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、書写で学習した内容を用いて、情報を収集しまとめる学習活動として、第1学年では、集めた情報をノートにまとめる学習活動が【情報収集の達人になろう】に、第2学年では、興味のある職業の魅力について調べ、新聞にまとめる学習活動が【職業ガイドを作ろう】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で示した文字に、青い点線や矢印、イラストを用いた筆の流れが『基本の点画の書き方』に掲載されている。また、第2学年では、教材ごとに文字を正しく書くためのポイントが『書写のかぎ』に掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の墨で書かれた折れや払いなどに、筆圧や運筆の方向を示した白い点線が『点画の種類と筆使い』に掲載されている。また、第2学年では、楷書と行書の筆順を比べる学習活動が【書き方を学ぼう】に設定されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、濃淡の朱墨で示された文字に黒い矢印や筆圧などを示した文字、イラストが『筆使い』に掲載されている。また、第1学年では、筆の動かし方を確かめる学習活動が【行書の筆使い】に設定されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、2色の濃淡の墨で示された文字に赤い矢印や点線、筆順などを示した文字や、イラストが『確かめよう』に掲載されている。また、第1学年では、基本の点画の書き方を筆の形と赤い点線、数字を使って筆圧や穂先の向きなどの表現が『点画の種類』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【読みやすく速く書くための動き】に、第2学年では【伝統的な用具・用材】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【点画の種類と筆使い】に、第2学年では【行書に調和する仮名】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【筆使い-基本点画-】に、第2学年では【行書と仮名の調和】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【漢字の筆使い】に、第2学年では【点画の省略】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 毛筆と硬筆との関連をもたせるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【点画の書き方と字形の整え方】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。
三省堂	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【書いて身につけよう】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。
教出	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【筆使いと字形】に、第2学年では【筆順の変化】に設定されている。
光村	毛筆と硬筆との関連について、毛筆で書き方を確かめたのち、硬筆で書く学習活動が、第1学年では【点画の変化】に、第2学年では【点画の省略】に設定されている。

⑪ 文字を正しく整えて速く書く能力を育成するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	正しい運筆の能力の育成について、墨やイラストを使って示した基本点画や字形の整え方として、第1学年では、朱墨やキャラクターによって示された穂先の通り道や穂先の向きが『基本の点画の書き方』に、第2学年では、濃淡の朱墨、吹き出しやイラストで表された行書特有の4つの筆の動きが『見つけよう』に掲載されている。
三省堂	正しい運筆の能力の育成について、朱墨の濃淡で示された穂先の動きや、イラストや矢印で示された筆圧や筆脈として、第1学年では、毛筆の穂先の動かし方を表したイラストが『字形の整え方と筆使い』に、第2学年では、キャラクターの吹き出しやイラストで書かれた仮名の筆脈が『行書に調和する仮名』に掲載されている。
教出	正しい運筆の能力の育成について、イラストを使って示した筆使いや穂先の通り道、筆圧として、第1学年では、筆を止めるところを黒丸で表現し、穂先の向きや筆圧を3段階の数字で示した筆のイラストが『筆使い』に、第2学年では、筆使いを拡大したイラストが『筆順の変化』に掲載されている。
光村	正しい運筆の能力の育成について、2色の濃淡の墨と筆の写真やイラストを用いた始筆・送筆・終筆のリズムや筆圧、点画のつながりとして、第1学年では、平仮名の字源が『楷書に調和する仮名』に、第2学年では、赤い点と点線で示された行書の点画の変化や連続の筆脈が『行書に調和する仮名』に掲載されている。
⑫ 日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身の回りの文字の目的と工夫】に設定されている。また、のし袋や複写式の用紙の書き方などが『さまざまな書式』に掲載されている。
三省堂	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【身のまわりの文字】に設定されている。また、送り状やのし袋の書き方などが『日常の書式』に掲載されている。
教出	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【多様な表現による文字】に設定されている。また、小包伝票や包み紙の書き方などが『書式の教室』に掲載されている。
光村	生活に役立てる態度を育てることについて、身の回りの文字について考える学習活動が【全国文字マップ】に設定されている。また、送り状やレポートの書き方などが『日常に役立つ書式』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、手紙や新聞、レポートなどの書き方が例示された『書写活用ブック』で構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
三省堂	学年ごとの学習内容が掲載された『本編』と、はがきの書き方などが例示された『日常の書式』、毛筆補充教材などが掲載された『書写の広場』などの『資料編』とで構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
教出	学年ごとの学習内容が掲載されたページと、日常生活で用いる手紙の書き方などが示された『書式の教室』などの資料ページで構成されている。また、楷書体と行書体で示した小学校・中学校で学習する漢字一覧表が掲載されている。
光村	学年ごとの学習内容やレポートの書き方などの書式が掲載された『教科書(本編)』と、硬筆学習のための『書写ブック』で構成されている。また、楷書体と行書体で示した常用漢字表が掲載されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB5変型判が採用されている。
三省堂	判型はB5判が採用されている。
教出	判型はA4判が採用されている。
光村	判型はB5変型判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン(後略)』『目次や単元名には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	『書写活用ブック』 5ページ 『神奈川』
三省堂	52ページ 『四十七都道府県名』に『神奈川』 68ページ 横浜毎日新聞
教出	89ページ 常盤山文庫蔵（神奈川県） 91ページ 『学習を生かして書く』に『横浜みなとみらい新聞』 102ページ 神奈川県 小机城 111ページ 『都道府県名一覧表』に『神奈川』
光村	82ページ 『全国フォント見つけ隊』に『神奈川県横浜市・濱明朝』 90ページ 『全国文字マップ』に『中華街』（神奈川県横浜市） 112ページ 『はがきの書き方』に『横浜市青葉区』 113ページ 『都道府県行書一覧』に『神奈川』 『書写ブック』 24ページ 『都道府県名を練習しよう』に『神奈川』 『書写ブック』 26ページ 『年賀状を書こう』に『横浜市青葉区』

② 一冊ごとの重量（g）		
	冊数	重量（g）
東書	1	284
三省堂	1	228
教出	1	302
光村	1	330

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪ 社会(地理的分野) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会 地理
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □ 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に掲載されている。 ② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。 ③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい!】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『防災・減災に向けた取り組みと課題』に掲載されている。 ⑤ □ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信網の普及を扱った内容が『通信網の発達と生活の変化』に掲載されている。 ⑥ □ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【持続可能な地域の在り方】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、大気の動きと日本の天気といった理科との関連が『他分野・他教科との関連を図った学習』のマークに掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、日本のイメージを伝える手紙を書く学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な生活・文化はどのように現代に生かされているかを考える学習活動が【伝統行事と生活・文化】に設定されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調査するための準備を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校で学んだ学習内容が『小学校の社会で習ったことば』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【資料から発見!】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習過程における動機づけや考える道すじがキャラクターによるつぶやきに掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【チェック&トライ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界各地の人々の生活に関する内容をもとに考える学習活動が【世界旅行を企画しよう】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカ州の開発と環境保全を考える学習活動が【探究課題】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、日本の地域的な特色を考える学習活動が【探究のステップ】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(地理的分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 地理 地域にまなぶ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災の経験を未来に生かす』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信技術(ICT)の発達を扱った内容が『交通・通信による結びつき』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。
3 内容と構成			≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、地球環境問題といった理科にかかわる内容が『関連』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、中国・四国地方の学習をバタフライチャートにまとめる学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の祭りにはどのような背景があるのかを考える学習活動が【現代に生きる地域文化】に設定されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調べ解決方法を考える学習活動が【地域調査の方法を学ぼう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『地理にアプローチ』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK!】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学びの道すがりが学習のまとめりにキャラクターのつぶやきに掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界の諸地域の結びつきや特徴をもとに考える学習活動が【見方・考え方をはたらかそう】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカで自然破壊や都市の人口増加が進むことによる課題を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、関東地方の特色を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地理的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方を考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『自然災害から命を守ろう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、高速通信網の整備を扱った内容が『日本の交通網・通信網』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野、数学科で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、アフリカ州の課題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な祭りや行事と人々の生活との関連を考える学習活動が【伝統行事と生活や文化の変化】に設定されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、学校周辺の地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査のしかた】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校の社会科で学んだ事柄と3分野との関連が『地理的分野の学習の全体像』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、社会への興味・関心を広げ、学習の道すじを示す内容が『とびら』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図解アニメーション】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、地域に適した再生可能エネルギーについて考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域のあり方』の全4部で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地理的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 地理的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □「思いやる力」の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災からの復興と災害に強い地域づくり』に掲載されている。 ⑤ □「たくましく生きる力」の「情報化」について、通信情報技術(ICT)の進歩を扱った内容が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』に掲載されている。 ⑥ □「社会とかかわる力」の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域の在り方】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野で学ぶ内容が『小学校の学習や歴史や公民の学習とのつながり』のマークに掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、関東地方における一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統文化や伝統産業がどのように変化しているかを考える学習活動が【伝統文化の維持と革新】に設定されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校での既習事項が『小学校で学習した内容』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習課題をつかむための内容が『キャラクターのつぶやき』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ポートフォリオ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地域の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫や変化をもとに考える学習活動が【見方・考え方】に設定されている。 ⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。 ⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、世界各地の人々の生活が場所によって異なる理由を考える学習活動が【章の問いに答えよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □ 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(地理的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に、資料活用の仕方が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『地理の技』に掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に、資料活用の仕方が『技能をみがく』に掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『スキルUP』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に、世界はどのような姿をしているのかを話し合う学習活動が【探究課題】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に、アマゾン川の開発の様子を振り返りながら変化を説明する学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方を考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、考えを整理する方法が『思考ツールを活用しよう』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に、世界や日本の姿を説明するポスターを作る学習活動が【編の問いに答えよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい!】に設定されている。また、学習した用語を解説した内容が『もっと解説』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。また、地理で学習したことが生活で活用されている内容が『地理の窓』に掲載されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。また、緯度や経度に関連した事例を紹介する内容が『地理プラス』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。また、章で学習した内容をもとに地域的課題を議論する内容が『議論してみよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『防災・減災に向けた取り組みと課題』や『記憶の継承と地域づくり』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災の経験を未来に生かす』や『災害から身を守るために』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『自然災害から命を守ろう』や『自然災害に対する備え』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災からの復興と災害に強い地域づくり』や『災害にそなえるために』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「情報化」について、情報通信網の普及を扱った内容が『通信網の発達と生活の変化』や『人・物・情報で結ばれる地域と世界』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力] の「情報化」について、情報通信技術 (ICT) の発達を扱った内容が『交通・通信による結びつき』や『地域おこしの知恵』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力] の「情報化」について、高速通信網の整備を扱った内容が『日本の交通網・通信網』や『通信網を生かした地域おこしの取り組み』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力] の「情報化」について、通信情報技術 (ICT) の進歩を扱った内容が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』や『交通・通信を生かした農業・漁業』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【持続可能な地域の在り方】に設定されている。また、他国で生活し、日本の文化を現地に広める日系人の様子が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力] の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、過疎や高齢化の課題への取組が『住み続けられる」地域づくり』に掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力] の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、JICAから派遣された技術者がアフリカで農業技術の指導を行う様子が『発展に向けた取り組み』に掲載されている。
日文	[社会とかかわる力] の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域の在り方】に設定されている。また、JICAから派遣された技術者がアフリカで栽培指導を行う様子が『さまざまな国際協力の試み』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領 (平成29年告示) の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。また、小学校での学習をもとにクイズカードを作る学習活動が【導入の活動】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。また、問題を解決するために必要なことをグループで話し合う学習活動が【学習したことを活用してまとめよう】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。また、産業の発達と地域への影響を表す写真を選びその理由をグループで話し合う学習活動が【節の問いについて、考えを深めよう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。また、経済発展の地域格差や都市問題の課題を整理し解決策をグループで話し合う学習活動が【議論してみよう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、大気の動きと日本の天気といった理科との関連が『他分野・他教科との関連を図った学習』のマークに、世界地図について他分野との関連が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、地球環境問題といった理科にかかわる内容が『関連』に、衣服のリユース・リサイクルといった家庭科に関連する内容が『地理の窓』に掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野、数学科で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』『正の数・負の数(数学)』『防災(小・歴・公)』に掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野で学ぶ内容が『小学校の学習や歴史や公民の学習とのつながり』のマークに、道徳科と関連した内容が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、日本のイメージを伝える手紙を書く学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。また、魅力的な地域の将来像を広く発信するための手順が『地域のこれからを提案し、発信しよう』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、中国・四国地方の学習をバタフライチャートにまとめる学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。また、地域のあり方について調べたことがらを発表する手順が『調査結果を地域に伝えよう』に掲載されている。
帝国	言語能力の育成について、アフリカ州の課題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、地域の課題解決を図り、社会に向けて発信する手順が『解決策と魅力を高める提案をしよう』に掲載されている。
日文	言語能力の育成について、関東地方における一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。また、よりよい地域の将来像を発信し、社会に参画する手順が『構想した内容を発信しよう』に掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な生活・文化はどのように現代に生かされているかを考える学習活動が【伝統行事と生活・文化】に設定されている。また、アイヌ文化と北海道各地の地名との関わりが『未来にアクセス』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の祭りにはどのような背景があるのかを考える学習活動が【現代に生きる地域文化】に設定されている。また、京都の歴史的街並みの変化が『京都の街並みと伝統文化』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な祭りや行事と人々の生活との関連を考える学習活動が【伝統行事と生活や文化の変化】に設定されている。また多様な文化を大切にする取組が『自然と共に生きるアイヌ民族を例に』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統文化や伝統産業がどのように変化しているかを考える学習活動が【伝統文化の維持と革新】に設定されている。また、アイヌ民族の文化を未来に継承する運動が『自然環境との共生をはかるために』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調査するための準備を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調べ解決方法を考える学習活動が【地域調査の方法を学ぼう】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『地域調査の手引き』に掲載されている。
帝国	体験活動の充実について、学校周辺の地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査のしかた】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『技能をみがく』に掲載されている。
日文	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外観察の際に必要な技能が『スキルUP』に掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校で学んだ学習内容が『小学校の社会で習ったことば』に、GIS（地理情報システム）を取り上げた高等学校の地理総合につながる学習が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『地理にアプローチ』に、3分野の学習のあらましとそれらの関係を示した図が『地理の学習を始めるにあたって…』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、小学校の社会科で学んだ事柄と3分野との関連が『地理的分野の学習の全体像』に、学習内容に関連した小学校で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校での既習事項が『小学校で学習した内容』に、ページ下部に学習内容と関連した小学校で学ぶ事項が『マーク』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【資料から発見！】に設定されている。また、写真の読み取り方といった基礎的・基本的な技能の習得が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK！】に設定されている。また、新旧の地形図を比べるとといった資料の扱い方が『地理の技』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習過程における動機づけや考える道すじがキャラクターによるつぶやきに、1時間の学習の流れを可視化する取組が『本文ページの構成と学び方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、学びの道すじが、学習のまとまりごとにキャラクターのつぶやきに、資料と本文の関連が『資料ナンバー』に掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、社会への興味・関心を広げ、学習の道すじを示す内容が『とびら』に、学習課題をつかむための内容が各キャラクターのつぶやきに掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習課題をつかむための内容が『キャラクターのつぶやき』に、見方・考え方を視覚的に解説したイラストが『地理的な見方・考え方を働かせてみよう！』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【チェック&トライ】や【D-MOVE】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】や【中学社会クイズ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図解アニメーション】や【見通しスライド】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ポートフォリオ】や【イントロダクションムービー】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界各地の人々の生活に関する内容をもとに考える学習活動が【世界旅行を企画しよう】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理のミカタ』に掲載されている。
教出	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界の諸地域の結びつきや特徴をもとに考える学習活動が【見方・考え方をはたらかせよう】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理の学習を始めるにあたって…』に掲載されている。
帝国	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、地域の学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方』に掲載されている。
日文	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地域の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫や変化をもとに考える学習活動が【見方・考え方】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方って？』に掲載されている。

⑪ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカ州の開発と環境保全を考える学習活動が【探究課題】に設定されている。また、複数の視点での資料活用が『資料から発見！』に掲載されている。
教出	多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカで自然破壊や都市の人口増加が進むことによる課題を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、視点を変えて捉えなおす資料が『クロスロード』に掲載されている。
帝国	多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、複数の視点から課題を捉えなおすヒントが『アクティブ地理AL』に掲載されている。
日文	多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。また、課題を捉えなおす複数の資料が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。
⑫ 課題を追宷・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追宷・解決する活動の充実を図ることについて、日本の地域的な特色を考える学習活動が【探究のステップ】に設定されている。また、単元のはじめに探究課題の見通しを持つための観点が『探究課題は？』に掲載されている。
教出	課題を追宷・解決する活動の充実を図ることについて、関東地方の特色を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、地球的課題の解決に向けた問いが『クロスロード』に掲載されている。
帝国	課題を追宷・解決する活動の充実を図ることについて、地域に適した再生可能エネルギーを考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、単元のはじめに立てた学習課題を振り返る手立てが『節の問い』に掲載されている。
日文	課題を追宷・解決する活動の充実を図ることについて、世界各地の人々の生活が場所によって異なる理由を考える学習活動が【章の問いに答えよう】に設定されている。また、単元のはじめに自ら問いを立てる手順が『節の問いを立てよう』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域のあり方』の全4部で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD）の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載		
東書	31ページ『日本の都道府県と県庁所在地』（多摩川を境にした神奈川県と東京都の写真） 175ページ『産業から見た日本の特色』（第三次就業者数の県別割合に「神奈川県」） 182ページ『日本の発電所を見てみよう』（横浜火力発電所の写真） 232ページ『関東地方』（神奈川県の県章） 233ページ『関東地方をながめて』（うめ立て地が広がる臨海部として横浜市の写真） 234ページ『関東地方をながめて』（横浜港の写真） 237ページ『世界や日本と結びつく東京』（都道府県別の在留外国人数の割合に「神奈川」） 238ページ『通勤・通学で結びつく東京大都市圏』（東京23区への通勤・通学者の資料に「神奈川県」） 239ページ『通勤・通学で結びつく東京大都市圏』（東京周辺の地価と鉄道網の資料に「横浜みなとみらい21」） 240ページ『人や物が集まる大消費地の関東地方』（インターネット通販販売会社の配送センターとして川崎市の写真） 241ページ『人や物が集まる大消費地の関東地方』（関東地方の野菜産地の広がりの資料に「三浦半島」） 270ページ『課題をとらえ、問いを立てよう』（インターネット通販販売会社の配送センターとして川崎市の写真）	
教出	162ページ『日本の人口密度の分布』（地図上に川崎市、横浜市、相模原市） 167ページ『日本の工業地帯・工業地域と出荷額の割合』（京浜工業地帯の中に神奈川県） 227ページ『日本の主な地場産業と伝統的工芸品産地の分布』（地図上に箱根寄木細工） 231ページ『日本の主なブランド茶』（地図上に足柄茶） 238ページ『東京大都市圏にみる地価の比較』（図中に横浜市港北区、川崎市宮前区、相模原市） 239ページ『長距離通勤をする、横須賀市に住む中野さん』（横須賀市の説明） 240ページ『臨海部に広がる工業地域と内陸部に広がる工業地域』（臨海部に広がる工業地帯として横浜市の図） 241ページ『関東地方の周辺の主な都市で消費される野菜の生産地』（キャベツとだいこんのグラフに神奈川県） 242ページ『日本の主な港の貿易額』（地図上に川崎港と横浜港）	
帝国	22ページ『都道府県』（地図上に神奈川県） 140ページ『山がちな日本の地形』（写真「箱根町」） 144ページ『日本の気候』（写真「鎌倉市」） 151ページ『ハザードマップを使って避難先を考えよう』（ハザードマップ、写真「鎌倉市」） 152ページ『日本の人口』（地図上に神奈川県と県内の地名） 159ページ『日本の産業』（地図上に神奈川県） 161ページ『電子商取引の急増と買い物の変化』（写真「川崎市」） 233、234ページ『関東地方』（地図上、写真、イラストに神奈川県と県内の地名） 236ページ『関東地方の自然環境』（箱根山、三浦半島の表記） 240、241ページ『東京大都市圏の課題と対策』（地図上に神奈川県と県内の地名、写真「横浜市」） 242ページ『工業地域の変化と第3次産業の発達』（地図上に神奈川県と県内の地名） 245ページ『大都市周辺の農業と山間部の過疎問題』（地図上に神奈川県と県内の地名）	
日文	145ページ『日本の人口密度と主な都市の分布』（地図上に県内の都市名） 152ページ『避難所のようす』（厚木市） 156ページ『日本の人口密度と主な都市の分布』（地図上に県内の都市名） 159ページ『電気自動車を充電しているようす』（横浜市） 161ページ『第3次産業人口の県別割合』（地図上に神奈川県） 223ページ『輸送機械工業の出荷額の多い県』（グラフに神奈川県） 227ページ『軽井沢町への地方別転入者数』（グラフに神奈川県） 235ページ『世界最大級の規模の中華街である横浜中華街』 241ページ『新しい線路を走る電車の開業初日のようす』（横浜市港北区） 244ページ『京浜工業地帯』（川崎市・横浜市） 288ページ『移住者が感じる宮崎市の「魅力」』（表に神奈川県） 296ページ『日本の県別資料』	

② 一冊ごとの重量（g）		
	冊数	重量（g）
東書	1	550
教出	1	598
帝国	1	588
日文	1	596

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会 歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキル・アップ】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『もっと知りたい!』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、差別を受けていた人々の人権を保障する動きに関する内容が『「解放令」から水平社へ』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、台湾の農業開発に携わった八田與一に関する内容が『日清戦争』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、被災地でボランティアを行う中学生に関する内容が『自分たちでできることを考えよう』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の探究課題や探究のステップにある問いを考える学習活動が【第〇章で探究する問いは?】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する古事記や万葉集に関する内容が『天平文化』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、時代の特色や社会的事象について説明する学習活動が【TRY】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、時代の特色に関する絵画が『資料から発見!』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、人物や文化財に着目して、地域の歴史を調べる学習活動が【身近な地域の歴史】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容を振り返り話し合う学習活動が【歴史へのとびら】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、単元を通して得た情報を思考ツールを用いて整理しまとめる学習活動が【まとめの活動】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『導入の活動』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ヨーロッパ世界の変化】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や年代の表し方や時代の特色を捉える学習活動が【歴史をとらえる見方・考え方】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、よりよい社会をめざして未来について考える学習活動が【歴史に学び、未来へと生かそう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【歴史の技】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『歴史を探ろう』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、子どもや女性の労働や人権に関する絵画資料や説明文が『働く女性と子どもたち』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、飢饉対策として甘藷の栽培に携わった野國總管と青木昆陽に関する内容が『歴史の窓』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、平和な社会の実現に関する内容が『未来をひらくために』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の問いを考える学習活動が【第○章の学習のはじめに】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連する蒸気機関に関する内容が『教科を横断した見方・考え方で歴史の学習を深めよう』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、旧石器時代と新石器時代の暮らしを例に、時代ごとの違いや共通点を説明する学習活動が【表現！】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、現代につながる伝統や文化に関する資料が『私たちにつながる歴史』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、地域の歴史を調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容から歴史カードを作りクイズやペア探しをする学習活動が【歴史ゲームで遊ぼう】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り時代の特色を考える学習活動が【資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『城と茶の湯』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【歴史の技】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や推移、比較という視点で考える学習活動が【JUMP!】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、幕府の開国に対する大名の意見が『たった四はいで夜も眠れず』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の課題を解決する方法を考える学習活動が【歴史学習の終わりに】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の歴史日本の歩みと世界の動き
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【技能をみがく】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【タイムトラベル】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『SDGsとのつながりを考えよう』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、女性をめぐる環境や女性運動家の活動に関する内容が『母性保護論争』を考察する』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、複数の企業の創設に携わった渋沢栄一に関する内容が『歴史を探ろう』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、アイヌ文化の復興をめざす取組が『未来に向けて』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習する時代の特色を予想し話し合う学習活動が【「学習する時代の見通し」をもとに】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連するベートーヴェンの楽曲に関する内容が『祖国の音楽を紹介したドイツ兵』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、時代区分の基準を例に、語句や概念について説明する学習活動が【説明しよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、琉球やアイヌの文化に関する内容が『琉球とアイヌ民族がつながる交易』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、地図に載っている場所に行き実際の景観や歴史を調べる学習活動が【歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容を振り返る学習活動が【歴史のとらえ方と調べ方】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り人物の関係性を考える学習活動が【資料活用】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『江戸時代を眺めてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【世界とのつながりを考えよう】に示され、拡大できるイラストなどにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、推移や比較という視点で資料を読み取る学習活動が【見方・考え方】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、異なる意見の人物が議論する様子が『アクティブ歴史AL』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現在と未来の日本や世界のあり方について考える学習活動が【これからの社会を構想しよう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	山川	書名	中学歴史 日本と世界 改訂版
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【調査のスキル】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【ステップアップ】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『現在の世界はどこへ向かっているのだろう』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、北海道の開拓の歴史とアイヌ民族に関する内容が『地域からのアプローチ⑤札幌』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、足尾鋇毒事件に対する反対運動を行った田中正造に関する内容が『人物』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、沖縄の歴史と現代とのつながりに関する内容が『地域からのアプローチ』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、地図やイラストからローマ帝国と漢が栄えた時代の特色をつかむ学習活動が【2世紀の世界】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連する蛍の光に関する内容が『日露戦争と東アジア』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、平安時代の社会の変化を例に、時代の特色を説明する学習課題が【まとめ】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本にある世界遺産の所在地を示した地図や写真、説明が『日本の世界遺産』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、図書館や博物館で文献や展示物を調べる学習活動が【身近な地域を調べよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物を調べて人物カードを作成する学習活動が【歴史を大きく変えた人物】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、イラストやグラフ、文献から得られる情報を読み取り、問いについて考える学習活動が【Q】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、時代の特色に関連する社会的事象のイラストが『18世紀の世界』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【武士と民衆の生活】に示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、歴史的事象を背景や比較という視点で考える学習活動が【ステップアップ】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、産業革命による社会と人々の暮らしの変化に関する内容が『産業革命と社会の変化』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、平和で誰もが暮らしやすい社会について考える学習活動が【現在の世界はどこに向かっているのだろう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『この教科書は、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。また、本文には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 歴史的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキルUP】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色を議論する学習活動が【まとめとふり返し】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『歴史+α』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、差別の撤回を求めた人々に関する内容が『新しい世の中をめざした人々』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、東大寺の再興に携わった重源に関する内容が『先人に学ぶ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、主権者としての役割に関する内容が『政治参加の歴史に学ぶ』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する論語に関する内容が『中国の文明と東アジア世界』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、人類の変化を例に、学習した語句や概念を用いて時代の特色を説明する学習活動が【表現】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統や文化を継承している様子や琉球・アイヌ文化に関する内容が『歴史を掘り下げる』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、地域の歴史を博物館などで調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物や資料から印象に残っているものを発表し合う学習活動が【トライ】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査、考察、まとめを行う学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『東アジアとの交流』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【人類の始まりと文明】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、比較や推移という視点で時代の特色を考える学習活動が【中世ってどんな時代?】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、足尾鉾毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の諸課題の解決方法を考える学習活動が【「歴史との対話」を未来に活かす】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全6編で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	自由社	書名	新しい歴史教科書
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【復習問題のページ】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【意見交換会】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『エコロジー都市 江戸』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、琉球処分やアイヌの人々の文化・生活に関する内容が『もっと知りたいコラム』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、新田開発や荒地の再生に取り組んだ二宮尊徳に関する内容が『人物クローズアップ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、震災における日本人の行動が『人物クローズアップ』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、人物からその時代の概要をつかむ学習活動が【登場人物紹介コーナー】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連するゴッホの絵画が『近世の日本』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、ヨーロッパの市民革命を例に、時代が変化する様子を学習した語句を用いて説明する学習活動が【チャレンジ】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、源氏物語や仮名文字に関する資料が『もっと知りたいコラム 世界にほこる女流文学』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、班ごとに調査する場所を分けて調べる学習活動が【地域の歴史を調べる】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物をカードにまとめる学習活動が【人物を通して時代をとらえる】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、学習した知識や情報を活用しまとめる学習活動が【「歴史用語ミニ辞典」の作成】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『近世の日本』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、学習内容を振り返るキャラクター同士の対話文が『対話とまとめ図のページ』に掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時代や人物を比較して考える学習活動が【時代の特徴を考えるページ】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争や裁判をめぐる異なる立場の意見が『占領下の検閲と東京裁判』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、対話文をとおして時代の特色や課題の解決方法について考える学習活動が【対話とまとめ図のページ】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、序章と第1～6章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 本文の文体が、です・ます体で記載されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	育鵬社	書名	新しい日本の歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【確認】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を考え議論する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『感染症の歴史』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、差別を受けながら芸能や文化を担った人々に関する内容が『歴史ビュー』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、全国を測量し大日本沿海輿地全図を作成した伊能忠敬に関する内容が『人物クローズアップ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、震災の記憶を次世代に語り継ぐ取組が『震災の日本史』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、資料から時代の特色を考える学習活動が【虫の目で見ると】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する松尾芭蕉の奥の細道に関する資料が『江戸時代探検！』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、歴史的事象の共通点や異なる点を説明する学習活動が【探究】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、各時代で学習する日本の文化財の写真や説明が『日本の美の形』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、地域についてテーマを決めて調査し、まとめる学習活動が【ワクワク調査隊】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物になり、カードを作成する学習活動が【「歴史人物Q&Aカード」を作ってみよう】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査や資料の分類・分析、発表をする学習活動が【身近な地域の歴史の調べ方】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『世界恐慌と国際協調の行きづまり』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【原始と古代の日本】に示され、ウェブサイト集につながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、変化の視点で社会的事象を考える学習活動が【日本のあけぼのと世界の文明】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、黒船来航をめぐる異なる立場に関する資料が『黒船来航の衝撃』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、学んだことを将来に生かす方法を考える学習活動が【日本の歴史を大観する】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、序章と第1～6章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『特別支援教育やユニバーサルデザインを採用しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	学び舎	書名	ともに学ぶ人間の歴史
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【第〇章をふりかえる】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や変化をまとめ発表する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『パンデミックのなかの難民』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、女性の立場や人権の移り変わりに関する写真やイラストが『変わる世界の女性たち』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、環境問題について訴える世界の子どもの取組が『今、世界の子どもたちは』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、高校生による核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざした取組が『微力だけど無力じゃない』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、農耕や牧畜が開始した時代の特色を調べる学習活動が【原始・古代の学習課題】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する標準語と方言に関する内容が『国語をつくる』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、江戸時代を例に、時代の特色や他の時代との違いを説明する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承していった人々の営みが『禅の文化、民衆の文化』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、火おこしや糸紡ぎなどを体験する学習活動が【歴史を体験する】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物を調べまとめる学習活動が【歴史を楽しく学ぼう】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、各単元で得られた情報を活用し整理する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、時代の特色や国同士の結びつきに関連する写真やイラストが『海でつながる世界』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、インターネットで資料を調べる学習活動が【インターネットで「洛中洛外図屏風」を見る】に示され、資料につながる検索の方法などが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、その時代の特色を前の時代と比較して考える学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、パレスチナ問題をめぐる情勢や世界への影響に関する内容が『パレスチナの平和—中東戦争と石油危機—』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代と関連付けて課題を解決する方法を考える学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全10章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。 ㉑ ☐ 『より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(歴史的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(歴史的分野-10～歴史的分野-23)を参照。

発行者の略称	令書	書名	国史教科書 第7版
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【○○のまとめ】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、社会的事象をグループに分かれて議論する学習活動が【ディベートをしてみよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『国際協調と日本の役割』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、樋口季一郎や杉原千畝の活動に関する内容が『ユダヤ難民を救った二人の日本人』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「公共心」について、エルトゥールル号の沈没事件に関する内容が『トルコと日本の意外なつながり』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、日本人抑留者がウズベキスタンの劇場建設に携わった内容が『ウズベキスタンにおける日本人の活躍』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、年表を用いて時代の流れや特色を捉える学習活動が【第一章 原始】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連する時代ごとの美術作品が『日本美術図鑑』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、土器の使用による生活の変化を例に、時代の変化とその要因を説明する学習活動が【考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、各時代の伝統や文化に関する仏像や彫刻、障壁画、浮世絵が『日本美術図鑑』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、展覧会に行ってその時代や文化に関連する品物を調べる学習活動が【展覧会に行こう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物や文化をカードにまとめる学習活動が【小学校で学んだ人物と文化】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地域の歴史的建造物について、図書館やインターネットを使って調べる学習活動が【身近な歴史を年表にまとめよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容に関連して現代語訳された史料が『文献史料』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『歴史小説・歴史漫画を読むときの注意』に示され、漫画につながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や比較の視点で時代の特色をまとめる学習活動が【時代ごとの特色をとらえよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、歴史的事象を賛成・反対の立場に分かれて議論する内容が『歴史について議論しよう』に掲載されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、日本が古代から国家を継続している理由について考える学習活動が【平成から令和へ】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが1ページ2段でまとめられ、序と第一～六章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA5判が採用されている。 ㉑ ☐ 人物や歴史的事象に関する語句は、フォントを変えて記載されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(歴史的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキル・アップ】に、語句の意味を調べ学習内容をまとめる学習活動が【まとめの活動】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【歴史の技】に、章で学んだ内容を振り返りまとめる学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【技能をみがく】に、章の学習内容を年表で振り返る学習活動が【学習事項の確認】に設定されている。
山川	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【調査のスキル】に、章の学習内容を表や文章にまとめる学習活動が【まとめ】に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的・基本的な知識・技能を活用する学習活動が【スキルUP】に、編の学習を振り返り時代の特色をまとめる学習活動が【まとめと振り返り】に設定されている。
自由社	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【復習問題のページ】に、学習内容を振り返り問いを考える学習活動が【チャレンジ】に設定されている。
育鵬社	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【確認】に、章ごとに時代を振り返り考える学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学び舎	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【第〇章をふりかえる】に、章の学習内容を表にまとめる学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
令書	「知識・技能」の習得について、歴史の学習に必要な基礎的な語句や知識・技能を活用する学習活動が【〇〇のまとめ】に、歴史的事象が起こった理由や変化について考える学習活動が【考えよう】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【みんなでチャレンジ】に、思考ツールを用いて各時代の特色について考える学習活動が【深めよう】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【学習のまとめと表現】に、資料を用いて時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を議論する学習活動が【タイムトラベル】に、章の問いに対する自分の考えを表現する学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。
山川	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【ステップアップ】に、資料を用いて社会的事象の意義や変化を考える学習活動が【歴史を考えよう】に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色を議論する学習活動が【まとめとふり振り返り】に、資料を用いて社会的事象について議論する学習活動が【資料活用】に設定されている。
自由社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色や社会的事象を議論する学習活動が【意見交換会】に、資料を基に疑問を話し合う学習活動が【古代までの日本】に設定されている。
育鵬社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、時代の特色を考え議論する学習活動が【学習のまとめ】に、絵画資料を用いてその時代の社会的事象を議論する学習活動が【虫の目で見ると】に設定されている。
学び舎	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、各時代の特色や変化をまとめ発表する学習活動が【学習のまとめ】に、地図や年表を用いて社会的事象を議論する学習活動が【第〇章をふりかえる】に設定されている。
令書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、社会的事象をグループに分かれて議論する学習活動が【ディベートをしてみよう】に、協力して結論を導く学習活動が【ディスカッションしよう】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、エネルギーに関する問題を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、オリンピック・パラリンピックを例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『歴史を探ろう』に掲載されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、戦国時代における川の氾濫への対策を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『SDGsとのつながりを考えよう』に掲載されている。
山川	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、当事者双方の主張の対立を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『現在の世界はどこへ向かっているのだろう』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、原水爆禁止運動を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『歴史+α』に掲載されている。
自由社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、江戸時代のエコの取組を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『エコロジー都市 江戸』に掲載されている。
育鵬社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、天然痘などの感染症を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『感染症の歴史』に掲載されている。
学び舎	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、コロナ禍における難民への支援を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『パンデミックのなかの難民』に掲載されている。
令書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、国際社会における日本の役割を例に、持続可能な社会の実現のために解決する課題に関する内容が『国際協調と日本の役割』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、差別を受けていた人々の人権を保障する動きに関する内容が『「解放令」から水平社へ』に、女性の選挙権獲得や社会参画に向けた取組の歴史が『未来にアクセス』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、子どもや女性の労働や人権に関する絵画資料や説明文が『働く女性と子どもたち』に、平塚らいてうが書いた青鞥や水平社宣言に関する内容が『THINK!』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「人権教育」について、女性をめぐる環境や女性運動家の活動に関する内容が『「母性保護論争」を考察する』に、差別を受けていた人々の仕事を紹介する内容が『庭園づくりで活躍した河原者』に掲載されている。
山川	[思いやる力]の「人権教育」について、北海道の開拓の歴史とアイヌ民族に関する内容が『地域からのアプローチ⑤札幌』に、男女平等の実現を主張したオランプ＝ド＝グージュに関する内容が『人物』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「人権教育」について、差別の撤回を求めた人々に関する内容が『新しい世の中をめざした人々』に、在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウンに関する内容が『地域に学ぶ』に掲載されている。
自由社	[思いやる力]の「人権教育」について、琉球処分の背景やアイヌの人々の文化・生活に関する内容が『もっと知りたいコラム』に、全国水平社創立大会宣言に関する資料が『政党政治の展開と社会運動』に掲載されている。
育鵬社	[思いやる力]の「人権教育」について、差別を受けながら芸能や文化を担った人々に関する内容が『歴史ビュー』に、女性解放運動に携わった平塚らいてうに関する内容が『人物クローズアップ』に掲載されている。
学び舎	[思いやる力]の「人権教育」について、女性の立場や人権の移り変わりに関する写真やイラストが『変わる世界の女性たち』に、中世の子どもの扱われ方に関する内容が『働く子ども、売られる子ども』に掲載されている。
令書	[思いやる力]の「人権教育」について、樋口季一郎や杉原千畝の活動に関する内容が『ユダヤ難民を救った二人の日本人』に、現職として広島を訪問した米国大統領に関する内容が『オバマ大統領の広島訪問』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力] の「公共心」について、台湾の農業開発に携わった八田與一に関する内容が『日清戦争』に、メディアの普及に携わった梅屋庄吉に関する内容が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力] の「公共心」について、飢饉対策として甘藷の栽培に携わった野國總管と青木昆陽や、台湾のダム建設に携わった八田與一に関する内容が『歴史の窓』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力] の「公共心」について、日本郵船や秩父鉄道など複数の企業の創設に携わった渋沢栄一や、札幌の都市建設を計画した島義勇に関する内容が『歴史を探ろう』に掲載されている。
山川	[たくましく生きる力] の「公共心」について、足尾銅毒事件に対する反対運動を行った田中正造や、衣食住をテーマに実践に基づいた情報を提供した大橋鎮子に関する内容が『人物』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力] の「公共心」について、東大寺の再興に携わった重源や、看護師の育成の必要性和地位の向上をとねえたフローレンス＝ナイチンゲールに関する内容が『先人に学ぶ』に掲載されている。
自由社	[たくましく生きる力] の「公共心」について、新田開発や荒地地の再生に取り組んだ二宮尊徳や、国際連盟の事務局次長を務めた新渡戸稲造に関する内容が『人物クローズアップ』に掲載されている。
育鵬社	[たくましく生きる力] の「公共心」について、全国を測量し大日本沿海輿地全図を作成した伊能忠敬や、松下村塾を開き複数の人材を輩出した吉田松陰に関する内容が『人物クローズアップ』に掲載されている。
学び舎	[たくましく生きる力] の「公共心」について、環境問題について訴える世界の子どもの取組が『今、世界の子どもたちは』に、核兵器廃絶をめざし署名活動を行った長崎県の高校生を紹介する内容が『微力だけど無力じゃないー被爆者の心を世界に伝える高校生ー』に掲載されている。
令書	[たくましく生きる力] の「公共心」について、エルトゥール号の沈没事件に関する内容が『トルコと日本の意外なつながり』に、東日本大震災で避難を呼びかけた職員に関する内容が『最期まで途切れなかった避難の呼びかけ』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力] の「生きること」について、被災地でボランティアを行う中学生に関する内容が『自分たちにできることを考えよう』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力] の「生きること」について、平和な社会の実現に関する内容が『未来をひらくために』に掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力] の「生きること」について、アイヌ文化の復興をめざす取組が『未来に向けて』に掲載されている。
山川	[社会とかかわる力] の「生きること」について、沖縄の歴史と現代とのつながりに関する内容が『地域からのアプローチ』に掲載されている。
日文	[社会とかかわる力] の「生きること」について、主権者としての役割に関する内容が『政治参加の歴史に学ぶ』に掲載されている。
自由社	[社会とかかわる力] の「生きること」について、震災における日本人の行動が『人物クローズアップ』に掲載されている。
育鵬社	[社会とかかわる力] の「生きること」について、震災の記憶を次世代に語り継ぐ取組が『震災の日本史』に掲載されている。
学び舎	[社会とかかわる力] の「生きること」について、高校生による核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざした取組が『微力だけど無力じゃない』に掲載されている。
令書	[社会とかかわる力] の「生きること」について、日本人抑留者がウズベキスタンの劇場建設に携わった内容が『ウズベキスタンにおける日本人の活躍』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、各章の探究課題や探究のステップにある問いを考える学習活動が【第〇章で探究する問いは？】に、探究課題を解決するために学んだ内容について話し合う学習活動が【深めよう】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各章の問いを考える学習活動が【第〇章の学習のはじめに】に、各節の学習内容を捉える学習活動が【学習の見通し】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、学習する時代の特色を予想し話し合う学習活動が【「学習する時代の見通し」をもとう】に、各節の学習内容を捉える学習活動が【この章で学習する節の問い】に設定されている。
山川	主体的・対話的で深い学びについて、地図やイラストからローマ帝国と漢が栄えた時代の特色をつかむ学習活動が【2世紀の世界】に、イスラム帝国や唐が栄えた時代の特色をつかむ学習活動が【8世紀の世界】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、異なる時代の資料から時代の変化について考える学習活動が【学習のはじめに】に、各編の学習課題を考える学習活動が【第〇編の問いを立てよう】に設定されている。
自由社	主体的・対話的で深い学びについて、人物からその時代の概要をつかむ学習活動が【登場人物紹介コーナー】に、時代の特色を振り返る学習活動が【対話とまとめ図のページ】に設定されている。
育鵬社	主体的・対話的で深い学びについて、資料から時代の特色を考える学習活動が【虫の目で見える】に、時代の流れを捉える学習活動が【鳥の目で見える】に設定されている。
学び舎	主体的・対話的で深い学びについて、農耕や牧畜が開始した時代の特色を調べる学習活動が【原始・古代の学習課題】に、地域間交流が活性化する時代の特色を捉え疑問点を共有する学習活動が【中世の学習課題】に設定されている。
令書	主体的・対話的で深い学びについて、年表を用いて原始から古代の政治・外交・文化・産業の特色を捉える学習活動が【第一章 原始】に、中世の政治・外交・文化・産業の特色を捉える学習活動が【第三章 中世】に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する古事記や万葉集に関する内容が『天平文化』に、道徳科に関連する正義・公正・公平に関する内容が『原水爆禁止運動』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連する蒸気機関に関する内容や、外国語科と関連する英字新聞に関する内容が『教科を横断した見方・考え方で歴史の学習を深めよう』に掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連するベートーヴェンの楽曲に関する内容が『祖国の音楽を紹介したドイツ兵』に、理科と関連する環境保全・エネルギーに関する内容が『国際社会におけるこれからの日本』に掲載されている。
山川	カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連する蛍の光に関する内容が『日露戦争と東アジア』に、国語科と関連する外来語に関する内容が『桃山文化』に掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する論語に関する内容が『中国の文明と東アジア世界』に、道徳科と関連する雨森芳洲に関する内容が『先人に学ぶ』に掲載されている。
自由社	カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連するゴッホの絵画が『近世の日本』に、国語科と関連する万葉集が『飛鳥文化と天平文化』に掲載されている。
育鵬社	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する松尾芭蕉の奥の細道に関する資料が『江戸時代探検！』に、美術科と関連する浮世絵やジャポニズムに関する資料が『歴史ズームイン』に掲載されている。
学び舎	カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連する標準語と方言に関する内容が『国語をつくる』に、保健体育科と関連するオリンピックに関する内容が『フォーカス』に掲載されている。
令書	カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連する時代ごとの美術作品が『日本美術図鑑』に、国語科と関連するディベートの活動例が『ディベートをしてみよう』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、国風文化と天平文化との違いを例に、時代の特色や社会的事象について説明する学習活動が【TRY】に、前の時代からどのように変化したかを説明する学習活動が【深めよう】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、旧石器時代と新石器時代の暮らしを例に、時代ごとの違いや共通点を説明する学習活動が【表現！】に、各時代の特色を説明する学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。
帝国	言語能力の育成について、時代区分の基準を例に、語句や概念について説明する学習活動が【説明しよう】に、時代の特色をまとめる学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。
山川	言語能力の育成について、平安時代の社会の変化を例に、時代の特色を説明する学習課題が【まとめ】に、語句や概念について整理しまとめる学習活動が【ステップアップ】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、人類の変化を例に、学習した語句や概念を用いて時代の特色を説明する学習活動が【表現】に、時代の特色について文章にまとめて発表し合う学習活動が【まとめとふり返り】に設定されている。
自由社	言語能力の育成について、ヨーロッパの市民革命を例に、時代が変化する様子を学習した語句を用いて説明する学習活動が【チャレンジ】に、時代の特色に関する作文を書く学習活動が【「ひとこと」作文】に設定されている。
育鵬社	言語能力の育成について、古代文明を例に、歴史的事象の共通点や異なる点を説明する学習活動が【探究】に、学習内容を振り返り時代の特色やその理由を説明する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学び舎	言語能力の育成について、江戸時代を例に、時代の特色や他の時代との違いを説明する学習活動が【学習のまとめ】に、社会的事象の違いや変化をまとめる学習活動が【第〇章をふりかえる】に設定されている。
令書	言語能力の育成について、土器の使用による生活の変化を例に、時代の変化とその要因を説明する学習活動が【考えよう】に、時代ごとの特色や違いを表にまとめて考える学習活動が【時代ごとの特色をとらえよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、時代の特色に関する絵画が『資料から発見！』に、琉球文化やアイヌ文化に関する写真や絵画が『もっと知りたい！』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、現代につながる伝統や文化に関する資料が『私たちにつながる歴史』に、神話や古代の人々の信仰に関する資料が『歴史を探ろう』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、琉球やアイヌの文化に関する内容が『琉球とアイヌ民族がつなぐ交易』に、人々の暮らしに関する内容が『琉球とアイヌ民族の暮らし』に掲載されている。
山川	伝統や文化に関する教育の充実について、日本にある世界遺産の所在地を示した地図や写真、説明が『日本の世界遺産』に、時代の特色に関する美術作品や写真が『歴史を考えよう』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統や文化を継承している様子や琉球・アイヌ文化に関する内容が『歴史を掘り下げる』に、日本の文化財保存に携わったフェノロサに関する資料が『先人に学ぶ』に掲載されている。
自由社	伝統や文化に関する教育の充実について、源氏物語や仮名文字に関する資料が『もっと知りたいコラム 世界にはこる女流文学』に、国宝や世界遺産を示すマークが『飛鳥文化と天平文化』に掲載されている。
育鵬社	伝統や文化に関する教育の充実について、各時代で学習する日本の文化財の写真や説明が『日本の美の形』に、後の時代や他の地域に影響を与えた日本の文化に関する資料が『歴史ズームイン』に掲載されている。
学び舎	伝統や文化に関する教育の充実について、文化を生み出した人々の願いと社会の状況、文化を継承していった人々の営みが『禅の文化、民衆の文化』に、平安時代の文化の特色に関する内容が『女性作家の登場』に掲載されている。
令書	伝統や文化に関する教育の充実について、各時代の伝統や文化に関する仏像や彫刻、障壁画、浮世絵が『日本美術図鑑』に、美術作品の所在地を示した地図が『「日本美術図鑑」で紹介した作品が見られる場所』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、人物や文化財、史跡、建物などに着目して、地域の歴史を調べる学習活動が【身近な地域の歴史】に設定されている。また、地域の歴史を調べる事例が『地域の歴史を調べよう』に掲載されている。
教出	体験活動の充実について、地域の歴史を調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。また、グループでの学習におけるアイディアのまとめ方やメモの取り方が『地域調査の手引き』に掲載されている。
帝国	体験活動の充実について、地図に載っている場所に行き実際の景観や歴史を調べる学習活動が【歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた】に設定されている。また、地域の歴史に関する地図が『歴史の舞台を訪ねよう』に掲載されている。
山川	体験活動の充実について、図書館や博物館で文献や展示物を調べる学習活動が【身近な地域を調べよう】に設定されている。また、地域の博物館や郷土資料館などへの見学の事例が『地域からのアプローチ』に掲載されている。
日文	体験活動の充実について、地域の歴史を博物館などで調査し、発表する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。また、発掘現場を調査する内容が『チャレンジ歴史』に掲載されている。
自由社	体験活動の充実について、班ごとに調査する場所を分けて調べる学習活動が【地域の歴史を調べる】に設定されている。また、調べ学習の方法やまとめ方が『調べ学習のページ』に掲載されている。
育鵬社	体験活動の充実について、地域についてテーマを決めて調査し、まとめる学習活動が【ワクワク調査隊】に設定されている。また、地域の歴史の調査の仕方や分類・分析・整理、発表の仕方が『身近な地域の歴史の調べ方』に掲載されている。
学び舎	体験活動の充実について、火おこしや糸紡ぎなどを体験する学習活動が【歴史を体験する】に設定されている。また、地域を歩いたり博物館で調べたりして歴史を体験する取組が『歴史への案内』に掲載されている。
令書	体験活動の充実について、展覧会に行きその時代や文化に関連する品物を調べる学習活動が【展覧会に行こう】に設定されている。また、博物館や寺社に行き文化遺産を調べる方法が『文化遺産を調べに行こう』に掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容を振り返り話し合う学習活動が【歴史へのとびら】に設定されている。また、小学校の社会で習った人物や文化財、出来事が『歴史の流れのとりえ方』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容から歴史カードを作りクイズやペア探しをする学習活動が【歴史ゲームで遊ぼう】に設定されている。また、小学校で学習した人物を示すマークが『天下統一への歩み』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容を振り返る学習活動が【歴史のとりえ方と調べ方】に設定されている。また、各章で学習する時代に関連する既習の歴史的事象が『小学校で学んだ人物と主な出来事』に掲載されている。
山川	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物を調べて人物カードを作成する学習活動が【歴史を大きく変えた人物】に設定されている。また、高等学校の学習に関連する語句や概念が『用語解説』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物や資料から印象に残っているものを発表し合う学習活動が【トライ】に設定されている。また、小学校の既習内容を示すマークが『元の襲来と鎌倉幕府』に掲載されている。
自由社	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物をカードにまとめる学習活動が【人物を通して時代をとらえる】に設定されている。また、小学校で学習した人物が『登場人物紹介コーナー』に掲載されている。
育鵬社	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物になり、カードを作成する学習活動が【「歴史人物Q&Aカード」を作ってみよう】に設定されている。また、小学校で学習した人物の似顔絵と関連する出来事が『歴史の流れをふり返ろう』に掲載されている。
学び舎	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物を調べまとめる学習活動が【歴史を楽しく学ぼう】に設定されている。また、巻末に、高等学校の世界史の学習に関連する海外の出来事が『世界の動き』に掲載されている。
令書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した人物や文化をカードにまとめる学習活動が【小学校で学んだ人物と文化】に設定されている。また、高等学校の世界史の学習に関連する各国の王朝の変遷を示した年表が『世界各国の王朝略年表』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、単元を通して得た情報を思考ツールを用いて整理しまとめる学習活動が【まとめの活動】に設定されている。また、インターネットの利用上の注意や参考文献の扱い、発表の際の留意点が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り時代の特色を考える学習活動が【資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう】に設定されている。また、地域調査におけるインターネット使用上の留意点が『インターネットを活用しよう』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、資料から情報を読み取り人物の関係性を考える学習活動が【資料活用】に設定されている。また、情報の集め方や調べた情報をまとめて発表する際の留意点が『技能をみがく』に掲載されている。
山川	情報活用能力の育成について、イラストやグラフ、文献から得られる情報を読み取り、問いについて考える学習活動が【Q】に設定されている。また、インターネットで調べる際の留意点が『調査のスキル』に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査、考察、まとめを行う学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。また、調査における引用の仕方やプレゼンテーションソフトを活用した報告の仕方が『スキルUP』に掲載されている。
自由社	情報活用能力の育成について、学習した知識や情報を活用しまとめる学習活動が【「歴史用語ミニ辞典」の作成】に設定されている。また、地域の歴史を調べる取組が『地域の歴史を調べる』に掲載されている。
育鵬社	情報活用能力の育成について、テーマを決めて調査や資料の分類・分析、発表をする学習活動が【身近な地域の歴史の調べ方】に設定されている。また、資料を用いて調べた情報を新聞にまとめる取組が『歴史学習のまとめ』に掲載されている。
学び舎	情報活用能力の育成について、各単元で得られた情報を活用し整理する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。また、調査の方法や発表する際の留意点が『地域の歴史について、上手に調べ、発表するために』に掲載されている。
令書	情報活用能力の育成について、地域の歴史的建造物について、図書館やインターネットを使って調べる学習活動が【身近な歴史を年表にまとめよう】に設定されている。また、調べ方やまとめ方、発表の留意点が『グループで歴史を調べよう』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『導入の活動』に、学習課題の表示を視覚化したマークが見開きごとに掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『城と茶の湯』に、本文と資料や注釈の関連を示す番号が見開きごとに掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『江戸時代を眺めてみよう』に、社会的事象に関する見方や考え方の例が『章の振り返り』に掲載されている。
山川	生徒の学習上の困難さへの対応について、時代の特色に関連する社会的事象のイラストが『18世紀の世界』に、資料を読み取る視点が『Q』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『東アジアとの交流』に、学習内容を補足する用語解説が側注に掲載されている。
自由社	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『近世の日本』に、本文と資料や注釈の関連を示す番号が見開きごとに掲載されている。
育鵬社	生徒の学習上の困難さへの対応について、資料を読み取る視点を示したキャラクターのセリフが『世界恐慌と国際協調の行きづまり』に、学習している時代や時期を示す年表が見開きごとに掲載されている。
学び舎	生徒の学習上の困難さへの対応について、時代の特色や国同士の結びつきに関連する写真やイラストが『海でつながる世界』に、学習内容に関連する挿絵や写真、語句の解説が見開きごとに掲載されている。
令書	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容に関連して現代語訳された史料が『文献史料』に、歴史的事象に関する語句の解説が『注』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ヨーロッパ世界の変化】や【弥生時代の暮らしと邪馬台国】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【歴史の技】や【学習のまとめと表現】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【世界とのつながりを考えよう】や【アクティブ歴史AL】などに示され、拡大できるイラストなどにつながる二次元コードが掲載されている。
山川	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【武士と民衆の生活】や【新しい学問と化政文化】などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【人類の始まりと文明】や【日本列島の人々と国家の形成】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
自由社	生徒の理解が深まる構成について、学習内容を振り返るキャラクター同士の対話文が『対話とまとめ図のページ』に掲載されている。
育鵬社	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【原始と古代の日本】や【中世の日本】などに示され、ウェブサイト集につながる二次元コードが掲載されている。
学び舎	生徒の理解が深まる構成について、インターネットで資料を調べる学習活動が【インターネットで「洛中洛外図屏風」を見る】や【山本宣治の人物調べ】などに示され、資料につながる検索の方法などが掲載されている。
令書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【歴史小説・歴史漫画を読むときの注意】に示され、漫画につながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や年代の表し方や時代の特徴を捉える学習活動が【歴史をとらえる見方・考え方】に設定されている。また、時期、推移、比較、関連、現在という視点が『見方・考え方』に掲載されている。
教出	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や推移、比較という視点で考える学習活動が【JUMP!】に設定されている。また、時期や推移、比較、関連という視点が『歴史にアプローチ』に掲載されている。
帝国	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、推移や比較という視点で資料を読み取る学習活動が【見方・考え方】に設定されている。また、時期や年代、推移、比較、相互の関連という視点が『歴史的な見方・考え方』に掲載されている。
山川	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、歴史的な事象を背景や比較という視点で考える学習活動が【ステップアップ】に設定されている。また、原因や影響、変化、関連という視点が『まとめ』に掲載されている。
日文	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、比較や推移という視点で時代の特徴を考える学習活動が【中世ってどんな時代?】に設定されている。また、時系列、推移、比較、つながりという視点が『「歴史的な見方・考え方」とは?』に掲載されている。
自由社	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時代や人物を比較して考える学習活動が【時代の特徴を考えるページ】に設定されている。また、各時代の時系列のまとめが『まとめ図』に掲載されている。
育鵬社	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、変化の視点で社会的な事象を考える学習活動が【日本のあけぼのの世界の文明】に設定されている。また、比較、相互の関連、現在とのつながりという視点が『歴史的な見方・考え方を働かせる』に掲載されている。
学び舎	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、その時代の特徴を前の時代と比較して考える学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。また、時期や比較という視点が『歴史を楽しく学ぼう』に掲載されている。
令書	社会的な見方・考え方を働かせる学習について、時期や比較の視点で時代の特徴をまとめる学習活動が【時代ごとの特徴をとらえよう】に設定されている。また、年代と時系列、推移、比較、関連、現在とのつながりという視点が『歴史的な見方・考え方』に掲載されている。

⑪ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に、自由民権運動をめぐる異なる立場に関する資料が『自由民権運動の高まり』に掲載されている。
教出	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、幕府の開国に対する大名の意見が『たった四はいで夜も眠れず』に、戦争やデモをめぐる異なる立場の意見が『三・一独立運動』に掲載されている。
帝国	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、異なる意見の人物が議論する様子が『アクティブ歴史AL』に、情報の発信者による意図の違いに関する資料が『情報の意図を読み解く』に掲載されている。
山川	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、産業革命による社会と人々の暮らしの変化に関する内容が『産業革命と社会の変化』に、明治維新による社会の変化に関する内容が『明治維新と諸改革』に掲載されている。
日文	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、足尾鉍毒事件をめぐる異なる視点からの資料が『チャレンジ歴史』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『日露戦争』に掲載されている。
自由社	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、戦争や裁判をめぐる異なる立場の意見が『占領下の検閲と東京裁判』に、ペリーから見た日本人に関する資料が『ペリーの来航と開国』に掲載されている。
育鵬社	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、黒船来航をめぐる異なる立場に関する資料が『黒船来航の衝撃』に、第一次世界大戦後の世界情勢に関する資料が『列強の植民地とアジアの民族運動』に掲載されている。
学び舎	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、パレスチナ問題をめぐる情勢や世界への影響に関する内容が『パレスチナの平和—中東戦争と石油危機—』に、戦争をめぐる異なる立場の意見が『戦場は中国だった—日露戦争—』に掲載されている。
令書	社会的事象を多面的・多角的に考察することについて、歴史的事象を賛成・反対の立場に分かれて議論する内容が『歴史について議論しよう』に、磨製石器の年代に関する異なる見解が『世界最古の磨製石器は日本かオーストラリアか』に掲載されている。
⑫ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、よりよい社会をめざして未来について考える学習活動が【歴史に学び、未来へと生かそう】に、各章の終わりに、時代の学習を振り返りまとめる学習活動が【探求課題を解決しよう】に設定されている。
教出	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の課題を解決する方法を考える学習活動が【歴史学習の終わりに】に、地域の歴史を調べる学習活動が【身近な地域の歴史を調べよう】に設定されている。
帝国	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現在と未来の日本や世界のあり方について考える学習活動が【これからの社会を構想しよう】に、古墳の役割や武士の暮らしから時代の特色について考える学習活動が【アクティブ歴史AL】に設定されている。
山川	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、平和で誰もが暮らしやすい社会について考える学習活動が【現在の世界はどこに向かっているのだろうか】に、地域を調べる学習課題が【身近な地域を調べよう】に設定されている。
日文	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代社会の諸課題の解決方法を考える学習活動が【「歴史との対話」を未来に活かす】に、テーマを決めて地域の歴史を調査する学習活動が【身近な地域の歴史の探究】に設定されている。
自由社	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、対話文をとおして時代の特色や課題の解決方法について考える学習活動が【対話とまとめ図のページ】に、日本人の名字の由来を題材に社会的事象の特色について調べる学習活動が【調べ学習のページ】に設定されている。
育鵬社	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、学んだことを将来に生かす方法を考える学習活動が【日本の歴史を大観する】に、現代の世界や日本で起きている課題について考え、説明する学習活動が【探究】に設定されている。
学び舎	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、現代と関連付けて課題を解決する方法を考える学習活動が【学習のまとめ】に、世界の交通手段を例として、写真やイラストを用いて時代の特色を考える学習活動が【世界を結ぶ交通機関】に設定されている。
令書	課題を追究・解決する活動について、歴史的分野の学習を振り返り、日本が古代から国家を継続している理由について考える学習活動が【平成から令和へ】に、学習内容に関連した問いについて考える学習活動が【考えよう】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑮ 各内容の分量とその配分は適切であるか。

東書	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 7 章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 7 章で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 7 章で構成されている。
山川	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 7 章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 6 編で構成されている。
自由社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、序章と第 1 ～ 6 章で構成されている。
育鵬社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、序章と第 1 ～ 6 章で構成されている。
学び舎	学習内容ごとに本文、資料などが見開き 2 ページ程度でまとめられ、全 10 章で構成されている。
令書	学習内容ごとに本文、資料などが 1 ページ 2 段でまとめられ、序と第一～六章で構成されている。

⑯ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	判型は A B 判が採用されている。
教出	判型は A B 判が採用されている。
帝国	判型は A B 判が採用されている。
山川	判型は A B 判が採用されている。
日文	判型は A B 判が採用されている。
自由社	判型は A B 変型判が採用されている。
育鵬社	判型は A B 判が採用されている。
学び舎	判型は A 4 判が採用されている。
令書	判型は A 5 判が採用されている。

㉗ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD）の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
山川	『この教科書は、色覚の個人差を問わず、多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れています。また、本文には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
自由社	本文の文体が、です・ます体で記載されている。
育鵬社	『特別支援教育やユニバーサルデザインを採用しています。また、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学び舎	『より多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
令書	人物や歴史的事象に関する語句は、フォントを変えて記載されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	3ページ写真『鉄道の開通』 21ページ写真『円覚寺』地図『身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財』（建長寺など） 69ページ地図（鎌倉）本文『頼朝は、鎌倉（神奈川県）を・・・』 70ページ本文『鎌倉幕府の成立と執権政治』、地図『鎌倉』 72ページ写真『武士の館』 74-75ページ本文『鎌倉時代の文化と宗教』 80ページ写真『北条時宗』 81ページ本文『鎌倉幕府の滅亡』 82ページ写真『後醍醐天皇』（神奈川県 清浄光寺〔遊行寺〕蔵） 83ページ地図『主な守護大名（鎌倉府）』 91ページ地図『主な戦国大名（北条）』 97ページ年表、地図（鎌倉府、北条） 144ページ資料『ペリー来航』 145ページ資料『日露戦争』 158ページ資料『ペリーの上陸』、本文『ペリーは4席の軍艦を率いて浦賀（神奈川県）に来航し・・・』 159ページ本文『この条約により、函館・神奈川（横浜）・長崎・・・』 161ページ本文『最大の貿易港は横浜（神奈川県）で、・・・』 162ページ写真『下関戦争』、本文『生麦事件』 163ページ地図『生麦事件』 170ページ本文『新橋・横浜間に鉄道が・・・』、写真『新橋・横浜間を走った1号機関車』 173ページ地図『岩倉使節団の航路』 192ページ地図『交通と産業の発達』 196ページ資料『急ごしらえされた電信柱』 235ページ地図『空襲などによる死傷者数』
教出	59ページ地図『これからの学習に登場する場所（鎌倉）』 66ページ写真『空から見た現在の鎌倉』、本文『鎌倉に成立した武士の政権を鎌倉幕府といい・・・』 67ページ地図『承久の乱と、その後の動き』 68ページ本文『鎌倉時代には、鎌倉や京都に屋敷を・・・』 70-71ページ本文『鎌倉文化』『新しい仏教』 72ページ地図『13世紀頃の世界と、モンゴル帝国の広がり』（地図に「鎌倉」の記載） 74-75本文『幕府政治のおとろえ』『鎌倉幕府の滅亡』 77ページ地図『主な守護大名と、その領地』、本文『関東には鎌倉府がおかれ・・・』 90-91本文、写真『中世の要塞都市を歩こう』 109ページ本文『関東地方を支配する北条氏をほろぼし・・・』、地図『信長・秀吉の支配の広がり』 115ページ地図『主な大名の配置』 138ページ資料『海辺に並んだ屋台に集まる江戸の人々』 143ページ資料『江戸湾に現れた軍艦』 158-159ページ資料『横浜に上陸したペリーの一行』、本文『ペリーの来航』『日本の開国』『不平等な通商条約』 160ページ資料『開港翌年の横浜のにぎわい』 161ページ本文『前年に薩摩藩士がイギリス人を殺傷した生麦事件に対する・・・』 167ページ地図『廃藩置県』 170ページ本文『新橋・横浜間に初めて・・・』 173ページ地図『岩倉使節団のコース』 195ページ地図『明治時代の主な工場や鉱山と、鉄道の広がり』 巻末6 各地の主な遺跡・史跡・できごと

帝国	巻頭 8 ページ 写真『ペリー提督・横浜上陸の図』 69ページ 図『源平の争乱』鎌倉の表示 70ページ 本文『鎌倉（神奈川）』『鎌倉幕府』 70ページ 図『武士の館』（神奈川県藤沢市清浄光寺（遊行寺）蔵） 71ページ 図『承久の乱前後の日本』鎌倉幕府の表記 72ページ 図『鎌倉の様子』 72ページ 写真『切り通し（名越）』 72ページ 写真『円覚寺舍利殿』 73ページ 本文『鎌倉』『鎌倉文化』 74ページ 写真『鎌倉大仏』 74ページ 本文『鎌倉仏教』 75ページ 図『一遍』（神奈川県立歴史博物館蔵） 75ページ 写真『座禪』（神奈川県鎌倉市建長寺） 84ページ 本文『鎌倉幕府』 84ページ 図『室町幕府のしくみ』鎌倉府の表示 85ページ 図『後醍醐天皇』（神奈川県藤沢市清浄光寺（遊行寺）蔵） 85ページ 本文『鎌倉府』 85ページ 図『室町幕府と主な守護大名』鎌倉府の表示 92ページ 図『定期市の様子』（神奈川県藤沢市清浄光寺（遊行寺）蔵） 95ページ 本文『鎌倉（神奈川県）』 97ページ 本文『小田原（神奈川）』 97ページ 図『主な戦国大名』小田原の表示 97ページ 図『北条早雲』（神奈川県早雲寺蔵） 99ページ 本文『鎌倉』 102ページ 年表『鎌倉幕府』『鎌倉文化』 180ページ 本文『浦賀（神奈川）』『神奈川（横浜）』 180ページ 図『浦賀沖に現れたペリーの艦隊』（神奈川県横浜市中心図書館蔵） 180ページ 図『ペリーの来航と日米修好通商条約による開港地』神奈川（横浜）の表示 182ページ 図『横須賀製鉄所』 183ページ 図『幕末の攘夷運動と倒幕運動』横浜、生麦事件の表示 187ページ 図『廃藩置県』神奈川の表示 188ページ 本文『横浜』 192-193ページ 歴史を探ろう『世界に開かれた港 横浜～開港とともに広がった文明開化～』 194ページ 図『岩倉使節団のルート』横浜の表示 214ページ 図『明治時代の産業と鉄道』横須賀造船所の表示 216ページ 歴史プラス『生糸で財を成した横浜商人』 216ページ 写真『三溪園』 245ページ 未来に向けて『大都市を襲った関東大震災』横浜の表示 266ページ 図『全国の大震災の被害』横浜の表示 292ページ 図『船積みを待つ輸出用自動車』（神奈川県） 折込 7 ページ 『横浜』『浦賀』『鎌倉』『小田原』の表示
山川	裏表紙 図『日本の世界遺産』神奈川の表示 67ページ 図『源平の争乱』鎌倉の表示 69ページ 図『陶磁器の主要産地』鎌倉の表示 70ページ 図『鎌倉』 70ページ 本文『相模（神奈川県）』『鎌倉幕府』 73ページ 図『備前国福岡市の様子』（『一遍上人絵伝』神奈川県清浄光寺（遊行寺）蔵） 74ページ 本文『鎌倉文化』 75ページ 図『鎌倉仏教一瞥』清浄光寺（神奈川県）の表示 85ページ 図『室町幕府の仕組み』鎌倉府の表示 93ページ 本文『鎌倉（神奈川県）』 115ページ 図『信長・秀吉の統一事業』小田原の表示 130ページ 本文『箱根（神奈川県）』 131ページ 図『江戸時代の交通』浦賀、箱根の表示 166ページ 図『黒船の来航』（神奈川県横浜開港資料館） 166ページ 本文『浦賀（神奈川県）』 167ページ 本文『神奈川（横浜）』 168ページ 図『外国との貿易額・貿易品』 168ページ 本文『横浜（神奈川県）』 170ページ 図『四国艦隊下関砲撃事件』（神奈川県横浜開港資料館） 204ページ 図『旧横浜正金銀行』
日文	33ページ 地図『ひすいと黒曜石の交易』（箱根の記載） 72ページ 写真『鎌倉（神奈川県鎌倉市）』 72ページ 写真『名越切通し』（神奈川県鎌倉市） 72ページ 本文『鎌倉を本拠として指揮をとった頼朝は・・・』など 73ページ 写真『北条政子』（神奈川県安養院蔵） 73ページ 地図『源平の内乱・承久の乱の関係地』 76ページ 図『鎌倉時代の武士の館』（神奈川県藤沢市清浄光寺蔵） 80ページ 写真『座禪』（神奈川県横浜市中区 大本山總持寺） 80ページ 写真『円覚寺舍利殿』（神奈川県鎌倉市） 81ページ 写真『鎌倉大仏』（神奈川県鎌倉市 高德院） 81ページ 図『鎌倉仏教と時代背景』（清浄光寺 神奈川県藤沢市の記載） 87ページ 地図『主な守護大名（15世紀初め）』（鎌倉府の記載） 136ページ 本文『幕府は、箱根（神奈川県）など、街道の要所に・・・』 137ページ 写真『復元された箱根関所』（神奈川県足柄下郡） 141ページ 図『大山詣』 141ページ 図『今も残る道標』（神奈川県伊勢原市） 170ページ 本文『4隻の軍艦を率いて浦賀（神奈川県）に現れました。』 170ページ 地図『アメリカと結んだ条約の開港地』（神奈川、浦賀の記載） 184ページ 地図『岩倉使節団の行路』（横浜の記載） 192ページ 図『おそわれた板垣退助』（神奈川県立歴史博物館蔵） 210ページ 地図『足尾銅山の鉱毒の被害』（神奈川県の記載） 283ページ 写真『テレワークでオンライン会議に参加するようす』（神奈川県） 巻末 2 地図『国県対照と五畿七道』（神奈川県）の記載 巻末 4 地図『主なできごと・史跡・関係地』（小田原、箱根関、大山詣、鎌倉、鎌倉大仏、円覚寺舍利殿、浦賀の記載）

自由社	21ページ 地図『黒曜石分布図』 69ページ 図『日本の中世（予告編）』 72ページ 地図『日宋貿易』、本文『鎌倉』の表記 73ページ 地図『源平合戦の戦場』 74ページ 図『空から見た当時の鎌倉』、本文『鎌倉幕府』の表記 75ページ 写真『北条政子』、本文『鎌倉幕府』の表記 77ページ 図『一遍上人絵伝』、本文『鎌倉幕府』の表記 79ページ 写真『北条時宗』、本文『鎌倉幕府』の表記 81ページ 本文『鎌倉幕府』の表記 82ページ 図『鎌倉新仏教の6大宗派』 84ページ 図『後醍醐天皇』（神奈川県・清浄光寺[遊行寺]蔵） 85ページ 図『室町幕府のしくみ』 87ページ 地図『東アジアの海上交易のネットワークと倭寇の経路』 89ページ 地図『室町時代の各地の特産品』 92ページ 地図『主な戦国大名（16世ごろ）』 98ページ 本文『鎌倉幕府』の表記 99ページ 本文『鎌倉幕府』の表記 104ページ 本文『鎌倉幕府』の表記 113ページ 地図『豊臣秀吉の天下統一地図』 131ページ 地図『江戸時代の交通路と都市および各地の特産品』 137ページ 図『富嶽三十六景・神奈川冲浪裏』 138ページ 地図『欧米諸国の船が目撃された件数』 139ページ 図『アメリカの捕鯨船』 141ページ 本文『神奈川県小田原市』の表記 158ページ 地図『ペリー来航の経路』 159ページ 図『ペリー提督・横浜上陸の図』、本文『神奈川（横浜市）』の表記 167ページ 地図『廃藩置県による新しい府県』 176ページ 図『岩倉使節団の出発風景』 179ページ 図『生活の文明開化』 193ページ 写真『戦艦「三笠」』 195ページ 図『旗艦「三笠」の艦橋の図』 201ページ 地図『鉄道網の発達』 221ページ 本文『横浜』の表記 266ページ 写真『川崎のコンビナート』 268ページ 本文『神奈川県川崎市』の記載
育鵬社	32ページ 地図『黒曜石、ヒスイの原産地とヒスイの発見された主な遺跡』（箱根の記載） 55ページ 地図『ヤマトタケルノミコトが東征したと伝えられるルート』（足柄の坂の記載） 66-67ページ 図『一遍上人絵伝』（神奈川県清浄光寺蔵） 72ページ 写真『鎌倉の復元模型』 72ページ 本文『源頼朝は鎌倉（神奈川県）を・・・』など 73ページ 写真『北条政子』（神奈川県安養院蔵） 109ページ 地図『豊臣秀吉の全国統一地図』（小田原攻めの記載） 115ページ 地図『江戸初期の主な大名の配置』（小田原の記載） 125ページ 地図『各地の主な特産物』（浦賀の記載） 127ページ 地図『江戸時代の交通』（浦賀の記載） 135ページ 地図『主な外国船の接近』（浦賀の記載） 137ページ コラム『農民自身による農村の復興を指導した二宮尊徳』（小田原の記載） 150-153ページ 『横浜の歴史・ワクワク調査隊』 164ページ 図『浦賀沖に現れた黒船』 164ページ 本文『江戸に近い浦賀沖（神奈川県）にアメリカ・・・』 180ページ 本文『新橋（東京都）・横浜（神奈川県）間に・・・』 181ページ 図『新橋・横浜間の鉄道開通』 181ページ 地図『全国に広がった鉄道路線』 200ページ 本文『神奈川県から横浜に上下水道を造ってほしい・・・』など 巻末③ 地図『昔の国と現在の都道府県』（神奈川の記載） 巻末⑥ 地図『日本列島・歴史の宝庫ー各地の主な遺跡・史跡』（神奈川、鎌倉、円覚寺、鶴岡八幡宮、浦賀の記載）
学び舎	26ページ 地図『約6000年前の日本列島』 43ページ 地図『木簡に書かれた品物』 62ページ 図『鎌倉』、本文『鎌倉（神奈川県）』の表記 63ページ 地図『源平の内乱』、本文『鎌倉幕府』の表記 65ページ 写真『建長寺（神奈川県鎌倉市）』 67ページ 地図『鎌倉時代の市と港』 70ページ 本文『鎌倉幕府』の表記 74ページ 地図『座と各地の特産物』 83ページ 図『北条氏康』、本文『相模（神奈川県）』の表記 95ページ 地図『戦国大名と織田信長・豊臣秀吉の全国統一へのあゆみ』 101ページ 地図『加賀藩大名行列の経路』 117ページ 地図『朝鮮通信使の漢城から江戸までのルート』 119ページ 本文『武蔵国大師河原村（神奈川県）』の記載 127ページ 図『葛飾北斎「富嶽三十六景神奈川冲浪裏」』 150ページ 図『黒船を描いた瓦版』、図『日本人が描いたペリーの顔』、本文『浦賀（神奈川県）』、『神奈川（神奈川県横浜市）』の記載 151ページ 図『横浜に上陸するペリー』、本文『神奈川（横浜）』の記載 152ページ 図『横浜港のようす』、図『横浜港の貿易』、本文『横浜』の記載 153ページ 写真『4カ国艦隊による下関砲台の占領』、本文『生麦（神奈川県）』 161ページ 地図『横浜港』 163ページ 地図『廃藩置県後（1871年11月）の府県』 171ページ 図『横浜港から九州へ向かう政府軍の兵士』 172ページ 地図『五日市と東京・横浜』 205ページ 写真『川崎・三菱造船所の労働争議』 213ページ 写真『1945年10月横浜』 257ページ 地図『日本にあった主なアメリカ軍基地』 巻末 地図『関東地方の拡大図』

令書	26ページ	本文『神奈川県宮ヶ瀬北原の土器は…』
	123ページ	本文『鎌倉(神奈川県)に幕府が置かれていた…』
	173ページ	地図『戦国大名と分国支配・分国法』(小田原)
	177ページ	『身近な歴史を年表にまとめよう』(鶴岡八幡宮の歴史と年中行事)
	250ページ	本文『浦賀(神奈川県)』
	251ページ	資料『ペリー横浜上陸図』
	257ページ	本文・注釈『生麦事件』『生麦村(神奈川県横浜市鶴見区)』『川崎大師』
	292ページ	表『主な官営事業場、官営工場、官営鉱山』(横須賀造船所(神奈川))
	同	年表『東京ー横浜間で電信が開通』『新橋ー横浜間で鉄道が開通』
	414ページ	写真『厚木飛行場に到着したマッカーサー元帥』
	469ページ	地図『⑨源平の争乱(治承・寿永の内乱)』(鎌倉の記載)
	470-471ページ	地図『⑩守護の配置』『⑪承久の乱(承久の変)』(鎌倉の記載)
	473ページ	地図『足利氏の挙兵と後醍醐天皇方との内乱』(鎌倉、鎌倉将軍府の記載)
	474-475ページ	地図『⑬足利義持・義教期の争乱』『⑭応仁の乱後の混乱』(鎌倉の記載)
	480ページ	地図『⑯尊王攘夷運動の展開』(生麦村の記載)
	482ページ	地図『⑰廃藩置県』(神奈川、横浜、小田原、足柄の記載)
	535ページ	絵画資料『春少女』(横浜美術館蔵)
	536ページ	地図『「日本美術図鑑」で紹介した作品が見られる場所』(横浜美術館の記載)

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	重量 (g)
東書	1	566
教出	1	618
帝国	1	640
山川	1	604
日文	1	612
自由社	1	606
育鵬社	1	594
学び舎	1	704
令書	1	585

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会 公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動』に、語句についての補足が『もっと解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、アイヌ民族の歴史や権利保障への国際的な取組が『もっと知りたい 先住民族としてのアイヌ民族』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、人工知能やIoTといった最新技術の活用例や日常生活へ及ぼす影響が『もっと知りたい 新しい情報技術で社会が変わる』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、中学生の取組を例にした地域の課題解決や政治参加を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の課題設定、考察、課題解決の3つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や複数の支払い方法を例に、その仕組みを考える学習活動が【18歳へのステップ 契約と支払い方法のあれこれ】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、市民の声を反映したまちづくりをステップチャートを活用して順序立てて考える学習活動が【深めよう S市の議員になって条例を作ろう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統文化や芸術やアニメが世界に広がる様子が『多様な文化の意義』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、公園の使用法やルールづくりを複数の立場や視点で考える学習活動が【深めよう T市の新しい公園の使用ルールを考えよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、民主権や平和主義といった小学校で学習した語句や事柄が『小学校の社会で習ったことば』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地方財政の変化を表すグラフ資料から情報を読み取り地方公共団体の課題を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 地方財政(歳出)の変化を調べよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、キャラクターの吹き出し・イラスト・図・写真が『導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツを活用しよう】に示され、思考ツールなどにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、株式会社の仕組みの学習を基に株式投資を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 投資家になって考えよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつの争い】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全6章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 公民 ともに生きる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめと表現』に、語句についての補足が『側注解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教育費とGDPの関係を考える学習活動が【THINK 教育費がGDPに占める割合と、高等学校を私費で負担する割合の国際比較】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえ生活でのルール作りを多面的・多角的視点から考える学習活動が【誰もが大切にできるルールとは】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、複数の国際的な課題を例にSDGsの目標や共生社会の意義が『持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成するべきなのだろう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報社会に影響を与える最新技術やその活用例が『急速に進展する情報社会』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域の将来を考えて提案書を作成する学習活動が【TRY 子どもたちが暮らしやすい地域のまちづくりを考えよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の節ごとに設定された問いを3つのステップで取り組む学習活動が【学習のはじめに 学習の見通し】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する製造物責任法(PL法)を例に、消費者の安全を守るための技術や方法を考える学習活動が【公民の窓 PL法をめぐって】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、日本の社会保障制度や経済の課題をダイヤモンドランキングを活用して優先順を考えながらまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 安心して豊かに暮らせる社会】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、茶道や歌舞伎を例に、伝統文化の技や知恵が現代に受け継がれる様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、各グループから出た提案を効率と公正の視点から比較・検討し、評価する学習活動が【公民の技 考えたルールを評価しよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、憲法や国会といった小学校で学習した内容との関係が『関連』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地図上の分布図を用いて地域紛争の現状を知りその問題や解決に向けて考える学習活動が【終わらない地域紛争】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに学習のポイントをマンガ形式の説明や図で説明する内容が『学習のはじめに』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【公民の技】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、少子化と高齢化の学習を基に20年後、40年後の人口と社会の変化を考える学習活動が【THINK!】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、地域のルールについて異なる立場から考えたり話し合ったりする学習活動が【JUMP 未来のためにできること】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、憲法や基本的人権の学習を基に個人の尊重の在り方を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 個人を尊重する日本国憲法の問い】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が『解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「共生」について、外国籍の子どもたちへ国際教室で日本語指導を行う様子が『未来に向けて 多文化共生の取り組み』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報が社会や個人に与える利便性と危険性が『情報化が進む現代』に掲載されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「シチズンシップ教育」について、中学生の政治参加の仕組みを考える学習活動が【アクティブ公民 政治参加の方法を考えよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに、単元を通した問いや学びを確認する学習活動が【学習の前に】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科や音楽科と関連する伝統芸能の狂言を例に、文化の継承を考える学習活動が【未来に向けて 伝統を受け継ぎアップデートしていく】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、ウェビングを利用して現代社会の特色や課題を整理しながら考える学習活動が【アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、初詣や七夕といった年中行事や和食を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『日本の文化とその継承』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、ロールプレイを行って異なる立場から事情と主張を考える学習活動が【アクティブ公民AL マンションの騒音問題を解決しよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容と関連する語句や事柄が『小学校との関連マーク』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに過去と現代の社会の変化を示したイラストが『学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【アクティブ公民AL】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家計の支出と貯蓄の学習を基に家計簿の支出項目を考える学習活動が【アクティブ公民 家計簿の支出項目を考えよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ公民AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全5章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 公民的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり返り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランキングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、海外に住む日本人の数の資料からグローバル化する社会の変化を示す内容が『グローバル化する社会で生きる私たち』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、不適切動画の投稿を例に情報化が抱える課題や情報モラルの必要性が『情報スキルアップ ネット社会とつき合う方法』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、選挙制度の課題やこれからの選挙の在り方を考える学習活動が【アクティビティ 選挙に行きたくなるしくみを考えよう】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに課題や活動への見通しをもつ学習活動が【どんな学習をするのかな？】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買契約とクーリングオフ制度を例に、自分たちの生活を考える学習活動が【明日に向かって 契約について考えよう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、道路の拡張工事を例に挙げ異なる意見をツールミンモデルを活用して整理しながら考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張工事について考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、海外での日本の漫画イベントや茶道で交流する留学生の様子を『日本の伝統文化の特色と文化の創造』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、株式投資の仕組みや実際にどのような企業に投資をするかを考える学習活動が【アクティビティ 株式投資をしてみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、学習のはじめに生産や消費、貿易といった小学校で学習した語句や事項が『小学校で学習した内容』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにマンガ形式やイラストで課題の説明が『学習のはじめに』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【学習課題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人権や公共の福祉を学習したことを基に道路の拡張計画を考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、関税についての異なる意見や立場を比較するなど複数の視点から考える学習活動が【アクティビティ 自由貿易と関税】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明日に向かって 職業について調べてみよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	自由社	書名	新しい公民教科書
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に学習内容に関する語句が『学習のまとめと発展』に、語句についての補足が『ここがポイント』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、グローバル化による生活の変化を考える学習活動が【アクティブに深めよう グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の事象に対して効率・公正を踏まえて考える学習活動が【体育館の使用問題①～④】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、国際平和協力活動の活動からこれからの国際協力や人道支援の課題が『もっと知りたい 国際平和協力活動への取り組み』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、新聞やテレビ報道を例に情報社会におけるマスメディアの役割が『マスメディアと世論の形成』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域の課題を基に安全なまちづくりを考える学習活動が【アクティブに深めよう まちづくりを考えよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに単元全体の課題や問いが示され、各節に具体的な学習活動が【学習項目】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連するエネルギー資源と環境問題を例に複数の資料を基に考える学習活動が【エネルギーと資源の未来】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、フローシートを使って自分の考えをまとめディベートを行う学習活動が【課題の探究 ディベートをやってみよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、自然と共存する江戸時代の人々の知恵や、地域のお祭り、文化財、特産物、風習が『文化の継承と創造』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、国内の食糧問題や防災問題、防犯問題に対して意見をまとめる学習活動が【アクティブに深めよう 総合的な安全保障問題を考えよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した伝統工芸品の生産地や特徴が『職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、社会保障費に関するグラフ資料を読み取りこれからの社会の変化を考える学習活動が【社会保障制度の充実】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各単元の課題の説明や問いを示したキャラクターのセリフが『ここがポイント』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【課題の探求】に示され、調べ学習の課題などが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家族の役割と形態の変化の学習を基に家族の中での役割を考える学習活動が【家族の役割と形態の変化】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、グループでの対話的な活動を通して国際紛争への異なる意見を基に国際平和の構築を考える学習活動が【アクティブに深めよう 国際平和をどう作り上げるか】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、持続可能な世界に向け自分たちの考え方や生活様式の課題を考えてまとめる学習活動が【持続可能な日本と世界】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全7章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変形判が採用されている。 ㉑ ☐ 『各単元の重要語句はゴシック(太字)になっています。ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(公民的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(公民的分野-7～公民的分野-15)を参照。

発行者の略称	育鵬社	書名	新しいみんなの公民
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめ』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、SDGsの視点やPDCAサイクルを基に食品ロスの問題を考える学習活動が【経済のこれから】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえてグラウンドの使用方法的ルールを考える学習活動が【やってみよう 部活動の平日のグラウンド割りを考えよう(1)(2)】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、ノーマライゼーションの理念に基づいたデザインや環境づくりの取組が『学習を深めよう バリアフリーとユニバーサルデザイン』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、サブスクリプションサービスを例に情報化した現代社会の特色や課題が『情報から知る現代と未来』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域社会の課題の解決策を提案しまちづくりを考える学習活動が【政治のこれから】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各章の導入として、章全体を通して取り組む課題や問いを考える学習活動が【〇〇の入り口】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や消費者保護センターを例に、自分たちと経済活動との関わりを考える学習活動が【消費者の権利と保護】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、ピラミッドチャートを活用して日本国憲法のこれからの課題を考える学習活動が【憲法のこれから】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、食育の学習や郷土芸能に取り組む学生を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『文化の継承と創造』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、自分たちが裁判員になって模擬裁判に取り組む学習活動が【やってみよう 裁判員になって判決を考えよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに、小学校で学習した語句が『小学校で学んだことを覚えていますか?』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、キャッシュレス決済の仕組みや現状を示した資料を読み取り家計と経済の関係を考える学習活動が【家計と経済】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにキャラクターのセリフから学習課題や問いを把握する内容が『章扉』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が各章の【章題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、国際社会の協調や国際貢献の学習を基にゲーム理論を使って考える学習活動が【学習を深めよう ゲーム理論から考える国際問題】に設定されている。 ⑰ ☐ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、公共施設建設に対する異なる立場や意見を基に複数の視点から考える学習活動が【法と私たちの生活】に設定されている。 ⑱ ☐ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、公民で学習したことを基に自分で設定した課題を調べてまとめる学習活動が【テーマを決めてレポートを作成しよう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられ、全5章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(公民的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめの活動 第〇章の学習をまとめよう』に、語句についての補足が『もっと解説 WINWIN』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめと表現』に、語句についての補足が『側注解説』に掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習を振り返ろう』に、語句についての補足が『解説』に掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『まとめとふり取り 語句の意味を確認しよう』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。
自由社	「知識・技能」の習得について、各章末に学習内容に関する語句が『学習のまとめと発展』に、語句についての補足が『ここがポイント』に掲載されている。
育鵬社	「知識・技能」の習得について、各章末に章の学習内容に関する語句が『学習のまとめ』に、語句についての補足が『用語解説』に掲載されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路の建設計画を公共の福祉の観点からグループで話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 公共の福祉について考えよう】に、地方自治の学習を基に公共サービスとコンビニエンスストアの提携方法を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 公共サービスとコンビニエンスストアについて考えよう】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教育費とGDPの関係を考える学習活動が【THINK 教育費がGDPに占める割合と、高等学校を私費で負担する割合の国際比較】に、モノの価格の決まり方について需要と供給の関係をグラフから考える学習活動が【公民の技 需要と供給曲線について考えよう】に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、道路拡張工事をめぐる問題を複数の視点で考える学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に、裁判員制度の仕組みや意義を考える学習活動が【アクティブ公民AL 裁判員として裁判の判決を考えよう】に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ダイヤモンドランキングを用いて公園づくりを話し合う学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に、道路拡張計画を複数の意見を基に考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に設定されている。
自由社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、グローバル化による生活の変化を考える学習活動が【アクティブに深めよう グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう】に、複数の新聞社の記事を比較し考える学習活動が【アクティブに深めよう 新聞を読み比べてみよう】に設定されている。
育鵬社	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、SDG sの視点やPDCAサイクルを基に食品ロスの問題を考える学習活動が【経済のこれから】に、政治や法律を学んだことを基に憲法の在り方を考える学習課題が【憲法のこれから】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生存権を例に現実社会の課題を効率・公正の視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 生存権について考えよう】に、学校生活の事例から決まりやルールを考える学習活動が【効率と公正 1年前の学校でのトラブルについて考えよう】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえ生活でのルール作りを多面的・多角的視点から考える学習活動が【誰もが大切にできるルールとは】に、防災への取組と課題を話し合う学習活動が【TRY 避難所における課題を考えてみよう】に設定されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の課題を解決する多数決のあり方を考える学習活動が【アクティブ公民AL 民主主義のあり方を考えよう】に、現在と過去の社会の様子を描いた2つのイラストから日常生活の変化や課題を考える学習活動が【学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう】に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身の回りの課題を捉えて社会参画することを考える学習活動が【明日に向かって 15歳は子ども？それとも大人？】に、日常生活の事例から効率・公正の観点を踏まえて考える学習活動が【アクティビティ 効率と公正の考え方】に設定されている。
自由社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会の事象に対して効率・公正を踏まえて考える学習活動が【体育館の使用問題①～④】に、店を出店するというロールプレイを基に地域経済の課題を考える学習活動が【アクティブに深めよう お店を出店しよう】に設定されている。
育鵬社	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、効率・公正を踏まえてグラウンドの使用法のルールを考える学習活動が【やってみよう 部活動の平日のグラウンド割りを考えよう (1) (2)】に、中学生の起業を題材に社会参画を考える学習活動が【学習を深めよう 中学生が起業】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、アイヌ民族の歴史や権利保障への国際的な取組が『もっと知りたい 先住民族としてのアイヌ民族』に、神戸市の多文化交流の取組が『もっと知りたい 多文化共生のまちづくり』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、複数の国際的な課題を例にSDGsの目標や共生社会の意義が『持続可能な社会に向けて なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成するべきなのだろう』に、阿波踊りやエイサーといった伝統文化を継承する様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「共生」について、外国籍の子どもたちへ国際教室で日本語指導を行う様子が『未来に向けて 多文化共生の取り組み』に、介護現場の状況から社会保障の課題が『公民プラス 介護現場の人手不足』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、海外に住む日本人の数の資料からグローバル化する社会の変化を示す内容が『グローバル化する社会で生きる私たち』に、温室効果ガスが環境に与える影響や気候変動の課題が『地球規模の環境問題と国際協力』に掲載されている。
自由社	[思いやる力]の「共生」について、国際平和協力活動の活動からこれからの国際協力や人道支援の課題が『もっと知りたい 国際平和協力活動への取り組み』に、日本のODAの特徴から自助努力による支援の取組と課題が『ミニ知識 自助努力を促してきた日本型ODA』に掲載されている。
育鵬社	[思いやる力]の「共生」について、ノーマライゼーションの理念に基づいたデザインや環境づくりの取組が『学習を深めよう バリアフリーとユニバーサルデザイン』に、子ども食堂を例に共生社会の実現に向けての現状と課題が『社会保障のしくみ』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、人工知能やIoTといった最新技術の活用例や日常生活へ及ぼす影響が『もっと知りたい 新しい情報技術で社会が変わる』に、POSシステムを例に情報化が流通業に与える変化が『消費生活を支える流通』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報社会に影響を与える最新技術やその活用例が『急速に進展する情報社会』に、人工知能の発達と人権との関わりやメディアリテラシーの必要性が『持続可能な社会に向けて なぜ、メディアリテラシーは大切なのだろうか』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報が社会や個人に与える利便性と危険性が『情報化が進む現代』に、SNSにおけるフェイクニュースを例に身の回りを取り巻く情報の取扱いや課題が『世論とメディア』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、不適切動画の投稿を例に情報化が抱える課題や情報モラルの必要性が『情報スキルアップ ネット社会とつき合う方法』に、ICTやSNSといった情報技術の発展が社会や家庭に与える変化や影響が『情報化で変わる社会と私たち』に掲載されている。
自由社	[たくましく生きる力]の「情報化」について、新聞やテレビ報道を例に情報社会におけるマスメディアの役割が『マスメディアと世論の形成』に、自然災害や医療で活用される人工知能や情報社会における情報リテラシーの必要性が『情報社会』に掲載されている。
育鵬社	[たくましく生きる力]の「情報化」について、サブスクリプションサービスを例に情報化した現代社会の特色や課題が『情報から知る現代と未来』に、キャッシュレス決済やクラウドファンディングを例に金融サービスの利便性や課題が『学習を深めよう 革新的な金融サービス』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、中学生の取組を例にした地域の課題解決や政治参加を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 政治参加をしてみよう】に、市長選挙シュミレーションや条例案を作成する学習活動が【導入の活動 だれを市長に選ぶ】に設定されている。
教出	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域の将来を考えて提案書を作成する学習活動が【TRY 子どもたちが暮らしやすい地域のまちづくりを考えよう】に、ボランティア活動を例に住民参加と協働という視点で地域社会での役割を考える学習活動が【変わりゆく地域社会】に設定されている。
帝国	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、中学生の政治参加の仕組みを考える学習活動が【アクティブ公民 政治参加の方法を考えよう】に、身近な地域の課題を解決するための予算案を考える学習活動が【アクティブ公民AL 自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう】に設定されている。
日文	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、選挙制度の課題やこれからの選挙の在り方考える活動が【アクティビティ 選挙に行きたくなくなるしくみを考えよう】に、船橋市のこども未来会議室を例にまちづくりへの参加を考える学習活動が【明日に向かって まちづくりに参加しよう】に設定されている。
自由社	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域の課題を基に安全なまちづくりを考える学習活動が【アクティブに深めよう まちづくりを考えよう】に、日本の選挙制度の特徴と課題を話し合う学習活動が【もっと知りたい 選挙制度と政治参加】に設定されている。
育鵬社	[社会とかかわる力]の「シチズンシップ教育」について、地域社会の課題の解決策を提案しまちづくりを考える学習活動が【政治のこれから】に、救急車の不要不急利用の問題を話し合う学習活動が【政治の入り口】に設定されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、各章の課題設定、考察、課題解決の3つの流れで取り組む学習活動が【探究のステップ】に、各章の学習全体を通して考える学習内容が【探求課題】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各章の節ごとに設定された問いを3つのステップで取り組む学習活動が【学習のはじめに 学習の見通し】に、各章ごとの学習内容をふり返って課題の達成を確認する学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに、単元を通した問いを確認する学習活動が【学習の前に】に、各節で設定された学習内容が【各節の問い】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに課題や活動への見通しをもつ学習活動が【どんな学習をするのかな?】に、各節で考えたり話し合ったりする学習活動が【学習課題】に設定されている。
自由社	主体的・対話的で深い学びについて、各章のはじめに単元全体の課題や問いが示され、各節に具体的な学習活動が【学習項目】に、各章の課題をふり返る学習活動が【学習のまとめと発展】に設定されている。
育鵬社	主体的・対話的で深い学びについて、各章の導入として、章全体を通して取り組む課題や問いを考える学習活動が【○○の入り口】に、単元の終わりに学びをふり返る活動が【○○のこれから】に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や複数の支払い方法を例に、その仕組みを考える学習活動が【18歳へのステップ 契約と支払い方法のあれこれ】に、家庭科や道徳科で扱われる伝統的な行事や食文化について考える学習活動が【伝統文化の継承と新たな文化の創造】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する製造物責任法(PL法)を例に、消費者の安全を守るための技術や方法を考える学習活動が【公民の窓 PL法をめぐって】に、持続可能な未来を実現するために他教科と関連させ複数の視点から考えて提案書を作成する学習活動が【終章 私たちが未来の社会を築く】に設定されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、国語科や音楽科と関連する伝統芸能の狂言を例に、文化の継承を考える学習活動が【未来に向けて 伝統を受け継ぎアップデートしていく】に、教科・分野横断的な視点が必要となる持続可能な社会の構築を考える学習活動が【学習の前に 地球的課題を探してみよう】に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買契約とクーリングオフ制度を例に、自分たちの生活を考える学習活動が【明日に向かって 契約について考えよう】に、教科横断的な視点が必要なSDGsの目標達成に向けての課題を考える学習活動が【明日に向かって SDGsから未来の社会を考えよう】に設定されている。
自由社	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連するエネルギー資源と環境問題を例に複数の資料を基に考える学習活動が【エネルギーと資源の未来】に、美術科で扱う日本美術の特色を歴史的な視点を交えながら考える学習活動が【もっと知りたい 芸術とは何だろう】に設定されている。
育鵬社	カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連する売買の契約や消費者保護センターを例に、自分たちと経済活動との関わりを考える学習活動が【消費者の権利と保護】に、技術科で扱われる情報技術の発達が社会に与える影響を考える学習活動が【学習を深めよう 革新的な金融サービス】に設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、市民の声を反映したまちづくりをステップチャートを活用して順序立てて考える学習活動が【深めよう S市の議員になって条例を作ろう】に、マトリックス図を用いて人権に対する考えの違いをまとめる学習活動が【導入の活動 ちがいのちがいが】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、日本の社会保障制度や経済の課題をダイヤモンドランキングを活用して優先順を考えながらまとめる学習活動が【学習のまとめと表現 安心して豊かに暮らせる社会】に、クラゲチャートや情報分析チャートといったツールで視覚化をしながら考察を行う学習活動が【公民にアプローチ 思考ツールを使って情報を整理しよう】に設定されている。
帝国	言語能力の育成について、ウェビングを利用して現代社会の特色や課題を整理しながら考える学習活動が【アクティブ公民 現代社会の特色を考えよう】に、赤字パス路線の問題を解決するためにトゥールミンモデルやディスカッションを取り入れた学習活動が【アクティブ公民AL 現代社会の特色を考えよう】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、道路の拡張工事を例に挙げ異なる意見をトゥールミンモデルを活用して整理しながら考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張工事について考えよう】に、社会課題とSDGsの関わりをウェビングを活用して考える学習活動が【明日に向かって SDGsから社会の課題を考えよう】に設定されている。
自由社	言語能力の育成について、フローシートを使って自分の考えをまとめディベートを行う学習活動が【課題の探究 ディベートをやってみよう】に、マトリックスを利用して各国の国王・首相・大統領の制度の違いをまとめる学習活動が【やってみよう】に設定されている。
育鵬社	言語能力の育成について、ピラミッドチャートを活用して日本国憲法のこれからの課題を考える学習活動が【憲法のこれから】に、自分のライフプランをグラフに表しながら人生設計を考える学習活動が【やってみよう 人生をデザインしよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統文化や芸術やアニメが世界に広がる様子が『多様な文化の意義』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、茶道や歌舞伎を例に、伝統文化の技や知恵が現代に受け継がれる様子が『伝統文化の継承と新たな文化の創造』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、初詣や七夕といった年中行事や和食を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『日本の文化とその継承』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、海外での日本の漫画イベントや茶道で交流する留学生の様子が『日本の伝統文化の特色と文化の創造』に掲載されている。
自由社	伝統や文化に関する教育の充実について、自然と共存する江戸時代の人々の知恵や、地域のお祭り、文化財、特産物、風習が『文化の継承と創造』に掲載されている。
育鵬社	伝統や文化に関する教育の充実について、食育の学習や郷土芸能に取り組む学生を例に、伝統文化を受け継ぐ人々の様子が『文化の継承と創造』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、公園の使用方法やルールづくりを複数の立場や視点で考える学習活動が【深めよう T市の新しい公園の使用ルールを考えよう】に、みんなで作った学校生活のルールの見直しを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ 決まりの見直しをしよう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、各グループから出た提案を効率と公正の視点から比較・検討し評価する学習活動が【公民の技 考えたルールを評価しよう】に、人権やそれに関する法令を基にネット社会で人権を守る方法を考える学習活動が【発展する人権】に設定されている。
帝国	体験活動の充実について、ロールプレイを行って異なる立場から事情と主張を考える学習活動が【アクティブ公民AL マンションの騒音問題を解決しよう】に、青果店の立ち退きについてディベートを行う学習活動が【アクティブ公民AL 青果店の立ちのきについて考えよう】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、株式投資の仕組みや実際にどのような企業に投資をするかを考える学習活動が【アクティビティ 株式投資をしてみよう】に、公園づくりについて複数の立場や意見から考える学習活動が【チャレンジ公民 公園づくりについて話し合おう】に設定されている。
自由社	体験活動の充実について、国内の食糧問題や防災問題、防犯問題に対して意見をまとめる学習活動が【アクティブに深めよう 総合的な安全保障問題を考えよう】に、自分たちのまちづくりを生活経験や既習内容を基に考える学習活動が【アクティブに深めよう 魅力あるまちづくりを考えよう】に設定されている。
育鵬社	体験活動の充実について、自分たちが裁判員になって模擬裁判に取り組む学習活動が【やってみよう 裁判員になって判決を考えよう】に、新聞の社説を比較して自分たちの意見を話し合う学習活動が【やってみよう 新聞の社説を比べてみよう】に設定されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、国民主権や平和主義といった小学校で学習した語句や事柄が『小学校の社会で習ったことば』に、成人になるとできるようになる事柄が『18歳へのステップ 18歳でできること、20歳でできること』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、憲法や国会といった小学校で学習した内容との関係が『関連』に、公民で学習したことをこれからの社会や生活に関連させていく内容が『公民の学習の終わりに』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した内容と関連する語句や事柄が『小学校との関連マーク』に、ページ下部にSDGsに関する小学校での既習事項との関連が『小学校・地理・歴史・他教科との関連』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、学習のはじめに生産や消費、貿易といった小学校で学習した語句や事項が『小学校で学習した内容』に、高等学校で学習する公共の内容が『高校の公民科公共とのつながり』に掲載されている。
自由社	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習した伝統工芸品の生産地や特徴が『職人の技が生み出した 日本の伝統的工芸品』に、地域のボランティア活動の成果と課題が『地方自治の課題』に掲載されている。
育鵬社	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに、小学校で学習した語句が『小学校で学んだことを覚えていますか？』に、公民の学習を始めるにあたってその意義や目的を示した『なぜ公民を学ぶのか』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、地方財政の変化を表すグラフ資料から情報を読み取り地方公共団体の課題を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 地方財政（歳出）の変化を調べよう】に、資料を読んで株式市場の仕組みや働きを考える学習活動が【株式会社の仕組み】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、地図上の分布図を用いて地域紛争の現状を知りその問題や解決に向けて考える学習活動が【終わらない地域紛争】に、グラフ資料から社会保障費の給付と負担の情報を読み取る学習活動が【公民の技 給付と負担のこれからをセルフディベートで考えよう】に設定されている。
帝国	情報活用能力の育成について、グラフ資料から現代の少子高齢化の課題を考える学習活動が【少子高齢化が進む現代】に、マスメディアの資料から情報発信の特性を考えてまとめる学習活動が【18歳への準備 メディアリテラシーを身につけよう】に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、変化する雇用の形態やそれらの問題をグラフ資料を読み取りながら考える学習活動が【変化する雇用のかたち】に、日本の人口のグラフ資料からこれからの社会の変化を予想する学習活動が【アクティビティ 日本の人口】に設定されている。
自由社	情報活用能力の育成について、社会保障費に関するグラフ資料を読み取りこれからの社会の変化を考える学習活動が【社会保障制度の充実】に、グラフ資料から一票の格差を読み取り選挙制度を考える活動が【もっと知りたい 選挙制度と政治参加】に設定されている。
育鵬社	情報活用能力の育成について、キャッシュレス決済の仕組みや現状を示した資料を読み取り家計と経済の関係を考える学習活動が【家計と経済】に、資料から日本の社会保障のあり方を考える学習活動が【社会保障と財政】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、キャラクターの吹き出し・イラスト・図・写真といった内容が『導入の活動 T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう』に、教科書を使った公民の学び方や課題設定に関する内容が『この教科書の使い方と学び方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに学習のポイントをマンガ形式の説明や図で説明する内容が『学習のはじめに』に、公民で学ぶ内容や学習の見通しを解説した内容が『公民で学ぶ主な内容と学習の見通し』に掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめに過去と現代の社会の変化を示したイラストが『学習の前に 45年前と今の社会を比べてみよう』に、キャラクターのセリフで教科書の学び方の説明が『公民的分野の学習の全体像』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにマンガ形式やイラストで課題の説明が『学習のはじめに』に、公民で学ぶ内容やコンテンツ・コラムに関しての補足がイラスト付きで『教科書の構成と学び方』に掲載されている。
自由社	生徒の学習上の困難さへの対応について、各単元の課題の説明や問いを示したキャラクターのセリフが『ここがポイント』に、公民を学ぶ目的や教科書の構成に関する内容がイラスト付きで『この教科書で学ぶにあたって』に掲載されている。
育鵬社	生徒の学習上の困難さへの対応について、各章のはじめにキャラクターのセリフから学習課題や問いを把握する内容が『章扉』に、キャラクターのセリフで各節の課題や疑問が『各節のはじめ』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツを活用しよう】や【深めよう】に示され、思考ツールなどにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【公民の技】や【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【アクティブ公民AL】や【QRコンテンツの活用】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【学習課題】や【学習のはじめに】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
自由社	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【課題の探求】や【やってみよう】に示され、調べ学習の課題などが掲載されている。
育鵬社	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が各章の【章題】や【目次】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、株式会社の仕組みの学習を基に株式投資を考える学習活動が【みんなでチャレンジ 投資家になって考えよう】に、情報化による社会の変化から10年後の電話機を考える学習活動が【情報化 電話機の変化】に設定されている。
教出	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、少子化と高齢化の学習を基に20年後、40年後の人口と社会の変化を考える学習活動が【THINK!】に、人権思想の歴史と日本への影響を考える学習活動が【見方×考え方】に設定されている。
帝国	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家計の支出と貯蓄の学習を基に家計簿の支出項目を考える学習活動が【アクティブ公民 家計簿の支出項目を考えよう】に、防災備蓄倉庫の運用規則の改善方法を話し合う学習活動が【私たちがきまり】に設定されている。
日文	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人権や公共の福祉について学習したことを基に異なる意見を整理しながら道路の拡張計画を考える学習活動が【チャレンジ公民 道路の拡張計画について考えよう】に、地球温暖化問題に対する3つの異なる政党の意見に対して自分たちの考えをまとめる学習活動が【チャレンジ公民 地球温暖化に対する政策について考えよう】に設定されている。
自由社	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、家族の役割と形態の変化の学習を基に家族の中での役割を考える学習活動が【家族の役割と形態の変化】に、経済や社会保障の学習からこれからの年金制度を考える学習活動が【もっと知りたい 年金について考えてみよう】に設定されている。
育鵬社	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、国際社会の協調や国際貢献の学習を基にゲーム理論を使って考える学習活動が【学習を深めよう ゲーム理論から考える国際問題】に、政治参加と世論の学習から2つの新聞記事を比較して考える学習活動が【政治参加と世論】に設定されている。
⑰ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	多面的・多角的に考察し、表現することについて、エネルギー問題や環境問題などの国際的な課題を、異なる視点から考える学習活動が【みんなでチャレンジ 温室効果ガスの排出制限について考えよう】に、エネルギー政策を複数の視点で考える学習活動が【もっと知りたい これからの日本のエネルギーを考える】に設定されている。
教出	多面的・多角的に考察し、表現することについて、地域のルールについて異なる立場から考えたり話し合ったりする学習活動が【JUMP 未来のためにできること】に、京都の景観保護の取組から住民の生活と企業活動の関係を考える学習活動が【受け継がれる京都の景観】に設定されている。
帝国	多面的・多角的に考察し、表現することについて、国際社会の平和と福祉を複数の視点や立場から情報を整理し考える学習活動が【学習を振り返ろう 国際社会と私たち】に、資料から若者の政治参加の様子を多角的に考える学習活動が【私たちと政治参加】に設定されている。
日文	多面的・多角的に考察し、表現することについて、関税についての異なる意見や立場を比較するなど複数の視点から考える学習活動が【アクティビティ 自由貿易と関税】に、人間らしい生活とは何かを考える学習活動が【アクティビティ 人間らしく生きるために必要なものは?】に設定されている。
自由社	多面的・多角的に考察し、表現することについて、グループでの対話的な活動を通して国際紛争への異なる意見を基に国際平和の構築を考える学習活動が【アクティブに深めよう 国際平和をどう作り上げるか】に、諸外国の憲法の特徴を多角的に考える学習活動が【日本国憲法の原則】に設定されている。
育鵬社	多面的・多角的に考察し、表現することについて、公共施設建設に対する異なる立場や意見を基に複数の視点から考える学習活動が【法と私たちの生活】に、日本の労働問題を資料を基に話し合っている学習活動が【労働問題と働き方改革】に設定されている。

⑮ 課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、国際平和の実現に向けて争いの解決を考えてまとめる学習活動が【深めよう はちみつ の争い】に、学習した内容を基に自分たちと政治との関わり方を考えてまとめる学習活動が【探究課題 第3章の探究課題を解決しよう】に設 定されている。
教出	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、憲法や基本的人権の学習を基に個人の尊重の在り方を考えてまとめる学習活動が【学 習のまとめと表現 個人を尊重する日本国憲法の問い】、過去から現在、未来へつながる社会を考えてまとめる学習活動が【学習のまとめと表 現私たちの暮らしと現代社会の問い】に設定されている。
帝国	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、これからの日本の発電エネルギーの改善案を考えてまとめる学習活動が【アクティブ 公民AL 2040年の日本の電力構成案を提案しよう】に、各章で学んだことを基に、各自でテーマして探究活動を行い、考えてまとめる学習活動 が【5部 課題探究と私たち】に設定されている。
日文	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、労働や雇用の形態の学習から職業選択の自由と責任を考えてまとめる学習活動が【明 日に向かって 職業について調べてみよう】に、社会保障制度の学習から自分の将来と年金制度の関わり方を考えてまとめる学習活動が【明日に 向かって 年金のしくみについて知ろう】に設定されている。
自由社	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、持続可能な世界に向け自分たちの考え方や生活用式の課題を考えてまとめる学習活動 が【持続可能な日本と世界】に設定され、国会制度や法律、裁判の学習を基に、刑事裁判や少年法の課題を考えてまとめる学習活動が【第3 章学習のまとめと発展】に設定されている。
育鵬社	課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、公民で学習したことを基に自分で設定した課題を調べてまとめる学習活動が【テーマ を決めてレポートを作成しよう】に、生活と現代社会の学習からマンションでのペット問題の解決策を考えてまとめる学習活動が【現代社会 のこれから】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑯ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『現代社会と私たち』『個人の尊重と日本国憲法』『現代の民主 政治と社会』『私たちの暮らしと経済』『地域社会と私たち』『よりよい社会を目指して』の全6章で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『私たちの暮らしと現代社会』『個人を尊重する日本国憲法』 『私たちの暮らしと民主政治』『私たちの暮らしと経済』『安心して豊かに暮らせる社会』『国際社会に生きる私たち』『私たちが未来の社 会を築く』の全7章で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『現代社会』『政治』『経済』『国際』『課題探求学習』の全5 章で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『私たちが生きる現代社会』『現代社会の見方・考え方』『個人 の尊重と日本国憲法』『国民主権と日本の政治』『市場のはたらきと経済』『国民生活と政府の役割』『現代の国際社会と課題』『私たちの 課題』の全8章で構成されている。
自由社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『現代日本の自画像』『個人と社会生活』『立憲国家と国民』 『日本国憲法と立憲的民主政治』『国民生活と経済』『国際社会に生きる日本』『持続可能な社会を目指して』の全7章で構成されている。
育鵬社	学習内容ごとに本文、資料などが見開き2ページ程度でまとめられている。『私たちの生活と現代社会』『私たちの生活と政治①』『私たち の生活と政治②』『私たちの生活と経済』『私たちと国際社会の課題』の全5章で構成されている。
⑰ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
自由社	判型はA B変形判が採用されている。
育鵬社	判型はA B判が採用されている。

㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『生徒の負担に配慮し、軽量な紙を使用しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD）の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、ライスインキで印刷しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。』と表記されている。
自由社	『各単元の重要語句はゴシック（太字）になっています。ゴシックにした重要語句は、すべてこの教科書の最後にあるさくいんに登録されています。』と表記されている。
育鵬社	『特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。』また、『見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『環境に配慮し、植物油インキで印刷しています。また、本文用紙の一部には再生紙を使用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	22ページ 写真『ハロウィンのキッズパレードを楽しむ親子』（川崎市） 151ページ 写真『工場で働く障がいのある人たち』（川崎市）
教出	25ページ 写真『クリスマスマーケット』（横浜市） 54ページ 写真『小学校で行われた出張授業』（横浜市） 56ページ 写真『自分たちが暮らす町の魅力を伝える高校生』（川崎市） 120ページ 図3『「ふるさと納税」の寄付額が多い自治体と、住民税の税収が減った自治体』（横浜市） 121ページ 図4『歳入に占める地方税の割合と地方交付税の割合の比較』（神奈川県） 123ページ 図4『神奈川県川崎市の「外国人市民代表会議」のしくみ』（川崎市） 125ページ 写真『市民オンブズマンが果たす役割』（川崎市） 138ページ 写真『さまざまな生産』（横須賀市） 139ページ 写真『バーチャルフィッティング』（大和市） 163ページ 写真『財政投融资が活用された東京湾アクアライン』（川崎市） 巻末1 写真『自分たちが暮らす町の未来について話し合う高校生』（川崎市） 巻末2 写真『車いすのまま遊べる遊具』（藤沢市）
帝国	巻頭2 写真『廃材でつくったアート作品』（川崎市） 巻頭2 写真『電車を利用する観光客とパーク＆ライドの切符』（鎌倉市） 17ページ 写真『防災備蓄倉庫』（津久井） 101ページ 写真『防災授業参観の様子』（横浜市） 103ページ 地図資料『さまざまな特色のある条例』（相模原市、鎌倉市） 104ページ 写真『インターチェンジ周辺の工業地帯』（厚木市） 124ページ 写真『通信販売を行う企業の物流センター』（小田原市） 132ページ 写真、文『普及が進む電気自動車』（横浜市） 139ページ 写真、文『障がいがあっても働ける場を』（川崎市） 143ページ 写真、分『美味しい牛乳をつくって地域貢献』（伊勢原市） 172ページ 写真、文『開発した化合物が並ぶF社の研究施設』（南足柄市） 178ページ 写真、文『ごみの焼却炉から金・銀を回収』（相模原市） 178ページ 写真『壁面に太陽光パネルが設置されたA社のショッピングセンターの立体駐車場』（座間市） 198ページ 写真『太陽光発電所』（愛川町） 213ページ 写真、文『脱炭素先行地域』（横浜市）
日文	2ページ 写真『京浜工業地帯』（川崎市） 17ページ 写真・文『エネルギーの地産地消』（小田原市） 19ページ 写真『春節』（横浜市） 65ページ 写真『トイレットペーパーの買い占め』（横浜市） 103ページ 写真『防災かるた』（横浜市） 126ページ 写真『条例の広報に努める市の職員』（大和市） 158ページ 写真『テレワークで働く人』（横浜市） 216ページ 写真・文『プラスチックの海洋汚染』（鎌倉市、藤沢市） 224ページ 写真『視覚に障がいのある人のための防災』（横浜市） 巻末5 写真『自動運転のシャトルバス』（藤沢市）
自由社	17ページ 人物『日本人のノーベル賞受賞者』（根岸英一） 103ページ 人物『戦後の主な総理大臣』（小泉純一郎） 193ページ 地図『在日アメリカ軍の配置図』（座間市・厚木市・横須賀市）
育鵬社	52ページ 地図『日本各地に駐留する在日米軍』（横須賀市・厚木市） 58ページ 写真『国務大臣の育児休暇所得を伝える新聞記事』（横須賀市） 62ページ 写真『ある中学校のトイレの案内板』（横浜市） 141ページ 写真『労働組合による賃上げの様子』（横浜市） 164ページ 写真『海洋plasticの問題』（横浜市） 168ページ 写真『食品リサイクル会社に持ち込まれた、売れ残りの食パンや調理パン』（相模原市）

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	重量 (g)
東書	1	468
教出	1	518
帝国	1	502
日文	1	524
自由社	1	526
育鵬社	1	512

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地図)》

※詳細については、資料Ⅱ(地図-3～地図-6)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会 地図
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、地図の使い方の留意点を示した内容が『この地図帳の活用方法』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて降水量が多くなる仕組みを考える学習活動が【日本の自然環境(気候)】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう!】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、世界の人口変化を表す地図やグラフが『幼児死亡率』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「食育」について、世界の料理を写真とともに紹介する内容が『世界の食文化』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、地球環境問題に対して取り組めることを考える学習活動が【世界と日本の環境問題】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、複数の地図から考える学習活動が【中国国内の自然や文化の分布の関係性】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『さまざまな言語の「私は学生です」』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、資料を活用し情報をまとめ議論する学習活動が【Bee's eye】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的工芸品の一覧が『日本の文化』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、2つの地点の標高差を求めるなどの学習活動が【地形図の読み取り】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、一般図や主題図の見方の説明が『この地図帳の活用方法』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、地名を地図から探す方法が『さくいんの使い方を身につけよう』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、地図帳に色分けされたインデックスが『目次』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【My Globe】に示され、動画や地図につながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、統計資料が掲載されている。 ⑰ ☐ 最新のデータを扱うことについて、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が『世界の統計』や『日本の統計』に掲載されている。 ⑱ ☐ 生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『この地図帳の活用方法』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地図)》

※詳細については、資料Ⅱ(地図-3～地図-6)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	中学校社会科地図
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、地図の使い方の留意点を示した内容が『この地図帳の使い方』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて人口分布の特徴を考える学習活動が【世界と日本の人口】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【地図帳を通してSDGsを考えてみよう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、アフリカ諸国の栄養不足人口の割合の変化を表す地図やグラフが『貧困率と栄養不足の人口』に掲載されている。 ⑤ □[たくましく生きる力]の「食育」について、世界の食事の様子を写真とともに紹介する内容が『特色ある料理と食事』に掲載されている。 ⑥ □[社会とかかわる力]の「環境教育」について、持続可能な社会を実現するための取組を考える学習活動が【世界の環境問題】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、複数の視点から地図を活用して考える学習活動が【渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『各国語のあいさつ例』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、学習内容を地図をもとに確認し話し合う学習活動が【地図で発見！】に設定されている ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的工芸品の分布が『伝統・文化』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、トレーシングペーパーに写し取り広さを比べるなどの学習活動が【地図で発見！】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、方位・地図記号・縮尺などの見方の説明が『小学校で学習した地図の約束を振り返ろう』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、地名を地図から探す方法が『地図帳を使いこなそう』に掲載されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、地図帳に色分けされたインデックスが『もくじ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【地図の基礎・基本】に示され、動画や地図につながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、資料図が掲載されている。 ⑰ □ 最新のデータを扱うことについて、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が『世界の統計(1)』『日本の統計(1)』に掲載されている。 ⑱ □ 生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『地図帳を使いこなそう』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ □ 日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。 ⑳ □ 判型はA4判が採用されている。 ㉑ □ 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(地図)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、地図の使い方の留意点を示した内容が『この地図帳の活用方法』に、地図を読み取る問いが『Bee's eye』に掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、地図の使い方の観点を示した内容が『この地図帳の使い方』に、地図をもとに確認する問いが『地図で発見！』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて降水量が多くなる仕組みを考える学習活動が【日本の自然環境（気候）】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『世界の標準時』に掲載されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、地図や資料を用いて人口分布の特徴を考える学習活動が【世界と日本の人口】に設定されている。また、地域の時差をとらえる方法が『等時帯』に掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう！】や【世界の経済・国際関係】に設定されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、SDGsと関連させ課題を解決するためにできることを考える学習活動が【地図帳を通してSDGsを考えてみよう】や【地図で考える持続可能な社会】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、世界の人口変化を表す地図やグラフが『幼児死亡率』に、災害の際に避難する場所を示したハザードマップが『日本の自然環境（自然災害）』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、アフリカ諸国の栄養不足人口の割合の変化を表す地図やグラフが『貧困率と栄養不足の人口』に、火山の噴火や崖崩れなどの災害に対する取組が『自然災害に対する備え（模式図）』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「食育」について、世界の料理を写真とともに紹介する内容が『世界の食文化』に、アフリカの食文化が『アフリカ州の資料』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「食育」について、世界の食事の様子を写真とともに紹介する内容が『特色ある料理と食事』に、日本の伝統的な料理を写真とともに紹介する内容が『日本の伝統的な料理』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、地球環境問題に対して取り組めることを考える学習活動が【世界と日本の環境問題】に設定されている。また、開発と自然保護について考える資料が『アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採』に掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、持続可能な社会を実現するための取組を考える学習活動が【世界の環境問題】に設定されている。また、開発と自然保護について考える資料が『スマトラ島（インドネシア）の森林の変化』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、複数の地図から考える学習活動が【中国国内の自然や文化の分布の関係性】や【GDPや所得の地域差や変化】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、複数の視点から地図を活用して考える学習活動が【渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由】や【栄養不足人口の割合が高い国や地域の人が多く集まっている州】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『さまざまな言語の「私は学生です」』に、主な地震の震源や変動帯を確認できる理科と関連のある資料が『世界の火山・地震』に掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、外国語学習と関連した内容が『各国語のあいさつ例』に、地震の震央とプレートを確認できる理科と関連のある資料が『日本の地震と火山の分布』に掲載されている。
○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	
⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、資料を活用し情報をまとめ議論する学習活動が【Bee's eye】に設定されている。
帝国	言語能力の育成について、学習内容を地図をもとに確認し話し合う学習活動が【地図で発見！】に設定されている
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的工芸品の一覧が『日本の文化』に、世界遺産の登録地が『地図記号を確認しよう』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的工芸品の分布が『伝統・文化』に、日本の世界遺産登録地の写真や食文化が『日本の歴史・生活・文化』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、2つの地点の標高差を求める、市役所を地図の中から探すなどの学習活動が【地形図の読み取り】に設定されている。
帝国	体験活動の充実について、トレーシングペーパーに写し取り広さを比べる、タンカーの航路を指でたどるなどの学習活動が【地図で発見！】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、一般図や主題図の見方の説明が『この地図帳の活用方法』に、地図記号の説明が『この地図帳の地図記号』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、方位・地図記号・縮尺などの見方の説明が『小学校で学習した地図の約束を振り返ろう』に、地図記号の説明が『この地図帳の凡例』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、地名を地図から探す方法が『さくいんの使い方を身につけよう』に、世界と日本の地名などが『世界の地名』や『日本の地名』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、地名を地図から探す方法が『地図帳を使いこなそう』に、世界と日本の地名などが『さくいん世界』や『さくいん日本』に掲載されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、地図帳に色分けされたインデックスが『目次』に、地図を読み取るための方法となる問いが『Bee's eye』に掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、地図帳に色分けされたインデックスが『もくじ』に、地図を読み取るための方法となる問いが『主題学習』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【My Globe】や【社会科デジタルマップ】などに示され、動画や地図につながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【地図の基礎・基本】や【地域見える化GISジオグラフ】などに示され、動画や地図につながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 一般図・拡大図・主題図・索引などは適切に配列されているか。	
東書	一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、統計資料が、巻末に『さくいん』に掲載されている。
帝国	一般図・拡大図・主題図・索引などの配列について、地域ごとに一般図、主題図、拡大図、統計資料が、巻末に『さくいん』に掲載されている。
⑰ 統計、各種の資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、生徒の発達の段階に即したものが適切に取り上げられているか。	
東書	最新のデータを扱うことについて、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が『世界の統計』や『日本の統計』に掲載されている。
帝国	最新のデータを扱うことについて、データの調査実施年や出典が示された資料や統計が『世界の統計（1）』『日本の統計（1）』に掲載されている。
⑱ 生徒が自主的に学習に取り組み、情報を読み取る技能及びまとめる技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『この地図帳の活用方法』に、教科書で学習する世界や日本に関連した資料が『さくいんの引き方』に掲載されている。
帝国	生徒が自主的に学習に取り組み、読み取る技能を身に付けるための工夫や配慮が『地図帳を使いこなそう』に、学習した内容を地図から探す方法が『さくいんの引き方』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。
帝国	日本の各地方の地図や世界の州を示す地図が掲載されている。また、日本や世界の自然や自然災害、産業、貿易、歴史などに関する資料・統計が取り上げられている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA4判が採用されている。
帝国	判型はA4判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』や『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン（UD）の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	14ページ 『日本の主な公害』（高度経済成長期の京浜工業地帯） 114ページ 『関東地方の資料①』（横浜市中心部） 138ページ 『世界と日本の文化』（横浜中華街）（箱根寄木細工） 142ページ 『日本で暮らす外国人』（人口に占める在留外国人の割合）（主な都道府県の在留外国人の割合） 149ページ 『日本の工業と貿易』（工業生産額とその内訳）
帝国	117、118ページ 『本州中央部と五街道』（江戸時代のおもなできごと 浦賀、富士山噴火時の降灰予想） 133ページ 『東京都周辺の地形（水と人との関わり・防災）』 138ページ 『関東地方の資料（2）』（横浜市中心部） 168ページ 『日本の工業』（主な工業地域の生産、工業地域の分布 京浜工業地帯） 169ページ 『日本の農業・水産業』（おもな港の水産物の輸入量 横浜） 173ページ 『日本の歴史・生活・文化』（日本の世界遺産と史跡 鎌倉幕府）

② 一冊ごとの重量（g）		
	冊数	重量（g）
東書	1	564
帝国	1	534

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【章の問題A・B】【補充の問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、九九表のきまりを考える課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『数学マイノート』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツ栄養士を例に、社会で数学が活用されている事例が『MATH CONNECT』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『大切にしたい数学の学び方』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した畑の通路の幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【深い学び】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、食品ロスの量を考える学習活動が【食品ロスの未来を予測しよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【棒の本数を求めてみよう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環のしくみ】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【2つの正三角形の性質は?】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、伊能忠敬が日本地図を作った方法が『伊能忠敬の業績を知ろう』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【いろいろな面積の正方形をかくてみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【算数から数学へ】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2は本当に分数で表せない?】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【走行時の速さを推測しよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の問題であることを表したハートマーク(♥)が『問〇』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【先にゴールするのはどのコース?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の合同条件を基に角の二等分線の作図を証明する学習活動が【Q考えてみよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【四角形の各辺の中点を結んだ図形は?】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【どのように調査しているのかな?】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 補充や発展問題として、【基本の問題】【章の問題A・B】【もっと数学をつなげよう】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	数学の世界
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【たしかめよう】【○章をふり返ろう】【補充問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持久走の記録を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの作り方例』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツデータアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『社会にリンク』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の世界へようこそ』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、相似を利用した校舎の高さの調べ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【解決のしかたを探ろう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、蛍光灯とLED電球の値段と耐久時間の関係を考える学習活動が【どちらの電球を買う?】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【75°の角をつくろう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、理科と関連した学習活動が【震源から何km離れているかな】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【倍数の見分け方】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、さしがねを使った丸太の切り方が『丸太から角材を切り出す方法を考えよう』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、ゲームを実行してその仕組みを考える学習活動が【数当てゲームをやってみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【小学校算数のふり返り】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【三角形の重心】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【停止距離は何mになるだろうか】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『思い出そう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図形のなかに現れる関数について調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、複数のドットプロットを基に分布の様子を比べる学習活動が【?考えよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【通路の幅を決めよう】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【英和辞典の見出し語は全部で何語か推定しよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 補充や発展問題として、【たしかめよう】【○章をふり返ろう】【もっと数学の世界へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	学図	書名	中学校 数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【確かめよう】【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】【○年の復習】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、数直線を使って正負の数の大小を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの使い方』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、ルーローの三角形を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学へのいざない』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角が中心角の半分の大きさになることを証明する課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【説明する力をつけよう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、日本の複数の都市の降水量の変化を考える学習活動が【降水量は多くなったのか?】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【ストーリーは何本必要?】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【時刻がもどる?】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【条件を変えて考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、葛飾北斎が取り入れた構図の方法が『黄金比って何?』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【長方形の面積は?】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【ふりかえり～算数から数学へ～】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【乗法公式を使った分母の有理化】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【スピードと停止距離の関係は?】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、問題の解決方法を探す上で関わりのある視点が『見方・考え方』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【時間と距離の関係は?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、等式の変形を基に連立方程式の代入法を考える学習活動が【Question】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【動かして考えよう】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【この調査は有効か?】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 補充や発展問題として、【確かめよう】【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】【さらなる数学へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【○章 章の問題】【補充問題/実力アップ問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、貸した本の冊数の平均を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『工夫してノートを書こう』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、スポーツアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『みんなで数学をはじめよう!』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、日本の都市の冬日の日数の傾向を考える学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【キャップは何個集まっているのかな?】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【時差は何時間かな?】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【角の大きさの求め方を考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が『和算と算額』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さは?】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【○章を学習する前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【三角形の重心】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【何秒後かな?】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『もどって確認』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【三平方の定理の証明パズル】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の合同条件を基に直角三角形の合同条件を見つける学習活動が【Q】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【箱の高さは何cmになるのかな?】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【どんな調査が行われているかな?】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 補充や発展問題として、【基本の問題】【○章 章の問題】【数学ライブラリー】が掲載されている。第2学年は7章、第1、3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	未来へひろがる数学
1 教育基本法、学校教育法、及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【練習問題】【○章 章末問題】【力をつけよう】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、円柱の表面積を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートをくふうして、学習に役立てよう』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、琵琶湖の水位のコントロールを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、集中豪雨の発生回数の傾向を考える学習活動が【大雨の発生状況を調べよう】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【角の大きさを求めることができるかな?】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、大工が使うさしがねの紹介が『曲尺の秘密』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、複数の円周角をかいいて大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【ふりかえり 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【車は急にとまれない】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【校舎の高さを求めるには?】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の内角の和を基に多角形の内角の和を求める学習活動が【ひろげよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【全身がうつる鏡】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【47都道府県ランキングを見てみよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 補充や発展問題として、【練習問題】【○章 章末問題】【数学広場】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	数研	書名	これからの 数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【確認問題】【問題A・B】【ぐんぐんのばそうチャレンジ編】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、加法の交換法則・結合法則を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのつくり方』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、気象予報士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『学習の進め方』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、世界の平均気温の上昇量を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【必要な石の数を求めよう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、家庭科と関連した学習活動が【温める時間をちょうどよく設定しよう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が【時速9kmで走った道のりを求めよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本で独自に発達した数学の紹介が『日本の数学～和算～』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせて長方形をつくろう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【○○の学習の前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【立体の表面上の最短距離】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、三角形の内角の和が180°になることを複数の方法で説明する学習活動が【TRY】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【カレンダーの問題】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【英和辞典の見出し語の総数を推定しよう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 補充や発展問題として、【確認問題】【問題A・B】【数学旅行】【ぐんぐんのばそうチャレンジ編】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学(数学)》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-16)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学数学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が【基本の問題】【○章の問題】【補充問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、1次式の加法と減法を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのくふう』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、建築士を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の学習を始めよう!』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、円周角の定理を利用した船の位置の見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、猛暑日の日数の変化を考える学習活動が【猛暑日は増えている?】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が【作図の方法を説明しよう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、社会科と関連した学習活動が【歩いて日本を測量した伊能忠敬】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、江戸時代に発達した和算の研究者の紹介が『和算の秘密を明かした大名』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな?】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が【確かめ▶算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が【円周角を動かしていくと…】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が【自動車が進むまでの距離を考えよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の既習問題が『同じように考える』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【どこまで見えるか調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、仮定と結論を入れかえたことがらがいつでも正しいかどうかを考える学習活動が【Q確かめよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が【数の性質を見だし証明しよう】に設定されている。 ⑱ ☐ データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が【どんな調査のしかたがあるかな?】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 補充や発展問題として、【基本の問題】【○章の問題】【数学 マイトライ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《数学(数学)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【章の問題A・B】、巻末では【補充の問題】に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【たしかめよう】、章の最後では【○章をふり返ろう】、巻末では【補充問題】に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【確かめよう】、章の最後では【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】、巻末では【○年の復習】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【○章 章の問題】、巻末では【補充問題/実力アップ問題】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【練習問題】、章の最後では【○章 章末問題】、巻末では【力をつけよう】に設定されている。
数研	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【確認問題】、章の最後では【問題A・B】、巻末では【ぐんぐんのぼそうチャレンジ編】に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習した知識・技能を活用する学習活動が、節の最後では【基本の問題】、章の最後では【○章の問題】、巻末では【補充問題】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では九九表のきまりを考える課題を例に、第2学年では数あてゲームの仕組みを考える課題を例に、第3学年ではドミノ倒しのコースの長さを比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『数学マイノート』に掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では持久走の記録を比べる課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では根号をふくむ数の近似値を求める課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの作り方例』に掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では数直線を使って正負の数の大小を比べる課題を例に、第2学年では同類項の計算方法を考える課題を例に、第3学年では多項式どうしの乗法を考える課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートの使い方』に掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では貸した本の冊数の平均を求める課題を例に、第2学年では連続する3つの整数の和の性質を調べる課題を例に、第3学年では連続する2つの奇数の積に1を加えた数の性質を調べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『工夫してノートを書く』に掲載されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では円柱の表面積を求める課題を例に、第2学年では多角形の外角の和を求める課題を例に、第3学年では2次方程式の解き方を比べる課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートをくふうして、学習に役立てよう』に掲載されている。
数研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では加法の交換法則・結合法則を例に、第2学年では1次関数のグラフをかく課題を例に、第3学年では展開の公式を用いて 98×102 を計算する課題を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのつくり方』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では1次式の加法と減法を例に、第2学年では単項式の乗法と除法を例に、第3学年では因数分解を例に、問題解決の過程を記録したり振り返ったりするためのノートの作り方が『ノートのくふう』に掲載されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツ栄養士を例に、第2学年では気象予報士を例に、第3学年では渋滞学研究者を例に、社会で数学が活用されている事例が『MATH CONNECT』に掲載されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツデータアナリストを例に、第2学年では鉄道運行管理を例に、第3学年では製薬会社研究員を例に、社会で数学が活用されている事例が『社会にリンク』に掲載されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではルーローの三角形を例に、第2学年ではGPSと連立方程式の関係を例に、第3学年ではビジネスの世界における因数分解の考え方を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学へのいざない』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年ではスポーツアナリストを例に、第2学年では弁護士を例に、第3学年では都市模型制作者を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学しごと人』に掲載されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では琵琶湖の水位のコントロールを例に、第2学年ではAED使用時の救命率を示したグラフを例に、第3学年では標識再捕獲法を例に、社会で数学が活用されている事例が『数学ライブラリー』に掲載されている。
数研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では気象予報士を例に、第2学年ではスポーツアナリストを例に、第3学年ではフラクタル日除けを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学旅行』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では建築士を例に、第2学年ではエンジニアを例に、第3学年ではデータアナリストを例に、社会で数学が活用されている事例が『数学を仕事に生かす』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)

東書	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『大切にしたい数学の学び方』に掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の世界へようこそ』に掲載されている。
学図	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『みんなで数学をはじめよう!』に掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『表現する力を身につけよう』に掲載されている。
数研	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『学習の進め方』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「共生」について、問題解決の過程における話し合いの場面での発表の仕方や聞き方の例が『数学の学習を始めよう!』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)

東書	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では正負の数を利用した身長の平均の求め方を例に、第2学年では連立方程式を利用したプリンとケーキの個数の求め方を例に、第3学年では2次方程式を利用した畑の通路の幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【深い学び】に設定されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年ではアイスクリームの体積の求め方を例に、第2学年では星形の図形の角の和の求め方を例に、第3学年では相似を利用した校舎の高さの調べ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【解決のしかたを探ろう】に設定されている。
学図	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では図形を重ねるための移動の方法を例に、第2学年では1次関数を利用した身の回りのことがらの予測を例に、第3学年では円周角が中心角の半分の大きさになることの証明を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【説明する力をつけよう】に設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では方程式を利用したTシャツの値段の求め方を例に、第2学年では連立方程式を利用した班の数の求め方を例に、第3学年では2次方程式を利用した道幅の求め方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話し合ってみよう】に設定されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では数直線を利用した加法の計算の仕方を例に、第2学年では文字式を利用して長さを比べる課題を例に、第3学年では方眼を使った異なる面積の正方形の作成を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【話しあおう】に設定されている。
数研	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年ではヒストグラムと平均値との関係を考える課題を例に、第2学年では3の倍数の見分け方を説明する課題を例に、第3学年では三平方の定理の逆が成り立つ理由を考える課題を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【考えよう】に設定されている。
日文	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、第1学年では図と式を使って基石の総数の求め方を考える課題を例に、第2学年では三角形を用いた多角形の内角の和の求め方を例に、第3学年では円周角の定理を利用した船の位置の見つけ方を例に、自分の考えを説明し伝え合う協働的な学習活動が【学び合おう】に設定されている。

⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、海岸に漂着しているごみの量を調べる学習活動が【章の問題B】に、第2学年では、食品ロスの量を考える学習活動が【食品ロスの未来を予測しよう】に、第3学年では、二酸化炭素の排出量とマイバッグの使用を考える学習活動が【章の問題B】に設定されている。
大日本	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、ガソリン自動車の燃費の変化の傾向を考える学習活動が【自動車の燃費を比べよう】に、第2学年では、蛍光灯とLED電球の値段と耐久時間の関係を考える学習活動が【どちらの電球を買う?】に、第3学年では、校内の緑化運動を考える学習活動が【花壇の面積を求めよう】に設定されている。
学園	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、カーボンニュートラルをめざす取り組みを考える学習活動が【深めよう】に、第2学年では、日本の複数の都市の降水量の変化を考える学習活動が【降水量は多くなったのか?】に、第3学年では、エシカル消費を考える学習活動が【さらなる数学へ】に設定されている。
教出	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、食料輸送する際の輸送エネルギーの消費を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第2学年では、日本の都市の冬日の日数の傾向を考える学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に、第3学年では、地球温暖化を考える学習活動が【考えよう! 地球温暖化問題】に設定されている。
啓林館	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、紙パックのトイレトーパーへのリサイクルを考える学習活動が【比例、反比例の利用】に、第2学年では、集中豪雨の発生回数の日数の傾向を考える学習活動が【大雨の発生状況を調べよう】に、第3学年では、森林資源を無駄にしない角材の取り方を考える学習活動が【平方根の利用】に設定されている。
数研	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、地震の性質を考える学習活動が【備えよう 地震の揺れ】に、第2学年では、世界の平均気温の上昇量を考える学習活動が【学んだことを活用しよう】に、第3学年では、大気汚染物質の大きさを考える学習活動が【数学旅行】に設定されている。
日文	「社会とかかわる力」の「環境教育」について、第1学年では、地震の性質を考える学習活動が【地震のP波とS波】に、第2学年では、猛暑日の日数の変化を考える学習活動が【猛暑日は増えている?】に、第3学年では、野生の動物の数を調べる方法を考える学習活動が【標本の比率をもとにした推定】に設定されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【棒の本数を求めてみよう】に、第2学年では【マジックシートのしくみは?】に、第3学年では【先にゴールするのはどのコース?】に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【75°の角をつくろう】に、第2学年では【スタートラインの位置は?】に、第3学年では【式を利用して数の性質を調べよう】に設定されている。
学園	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【ストローは何本必要?】に、第2学年では【文字を使って考えられるかな?】に、第3学年では【身のまわりのものの体積】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな?】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【整数の性質を調べてみよう】に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【1日乗り放題のチケットを買った方がいい?】に、第2学年では【班の数はいくつ?】に、第3学年では【ピザをつくろう】に設定されている。
数研	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【n角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【図形を組み合わせで長方形をつくろう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、問題解決に向けて答えを予想したり方法を検討したりする学習活動が、第1学年では【作図の方法を説明しよう】に、第2学年では【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に、第3学年では【船の位置を見つけよう】に設定されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環のしくみ】に、第2学年では英語科と関連した学習活動が【アメリカホームステイ】に、第3学年では理科と関連した学習活動が【瞬間の速さ】に設定されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では理科と関連した学習活動が【震源から何km離れているかな】に、第2学年では保健体育科と関連した学習活動が【どんな運動をどれくらい行えばいい?】に、第3学年では社会科と関連した学習活動が【数のひろがり】に設定されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【時刻がもどる?】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【頂上は何℃?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【デッサンと相似】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【時差は何時間かな?】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【冬日は本当に減ってきているのかな?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【黄金比】に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では保健体育科と関連した学習活動が【ランドルト環】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【雷さまはどこ?】に、第3学年では美術科と関連した学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。
数研	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では家庭科と関連した学習活動が【温める時間をちょうどよく設定しよう】に、第2学年では理科と関連した学習活動が【温度の単位】に、第3学年では社会科と関連した学習活動が【選挙速報】に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、教科等横断的な学習の課題として、第1学年では社会科と関連した学習活動が【歩いて日本を測量した伊能忠敬】に、第2学年では保健体育科と関連した学習活動が【スタート位置を決めよう】に、第3学年では理科と関連した学習活動が【時間と落ちる距離の関係】に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【身長の平均をくふうして求めてみよう】に、第2学年では【2つの正三角形の性質は?】に、第3学年では【四角形の各辺の中点を結んだ図形は?】に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【私たちの通学時間について】に、第2学年では【倍数の見分け方】に、第3学年では【コビーで拡大するときの倍率を調べよう】に設定されている。
学図	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【カレンダーの数の秘密を考えよう】に、第2学年では【条件を変えて考えよう】に、第3学年では【問題づくりにチャレンジ!】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【75°の角を作図してみよう】に、第2学年では【角の大きさの求め方を考えよう】に、第3学年では【どのくらい遠くまで見渡すことができるのかな?】に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【数あてマジックのしくみを考えよう】に、第2学年では【角の大きさを求めることができるかな?】に、第3学年では【通路の幅を何mにすればいいかな?】に設定されている。
数研	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【硬貨の枚数と重さの関係調べよう】に、第2学年では【時速9kmで走った道のりを求めよう】に、第3学年では【やってみよう 全数調査・標本調査】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、自分の考えを書いたり、他者の考えを聞いたり記述を読んだりする学習活動が、第1学年では【確率の考えの活用】に、第2学年では【くじのあたりやすさを調べて説明しよう】に、第3学年では【船の位置を見つけよう】に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、麻の葉をはじめとした複数の模様が『日本の伝統模様』に、第2学年では、折り紙で正多角形を作る複数の方法が『折り紙で正多角形を作ろう』に、第3学年では、伊能忠敬が日本地図を作った方法が『伊能忠敬の業績を知ろう』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、伝統工芸品の手まりの模様が『手まり模様の秘密』に、第2学年では、室町時代の小石の遊びのさっさ立てが『さっさ立てに挑戦しよう』に、第3学年では、さがねを使った丸太の切り方が『丸太から角材を切り出す方法を考えよう』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、江戸時代の方程式の解き方が『用語の由来「方程式」』に、第2学年では、青海波をはじめとした複数の文様が『合同な図形はしきつめられる?』に、第3学年では、葛飾北斎が取り入れた構図の方法が『黄金比って何?』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、青海波をはじめとした複数の模様が『日本の伝統模様』に、第2学年では、地図などの身近な紙の折り方が『ミウラ折り』に、第3学年では、日本で独自に発達した数学の紹介が『和算と算額』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、市松模様をはじめとした日本の伝統的な模様が『日本の伝統模様』に、第2学年では、ルールに沿った数あて遊びのさっさ立てが『勘者御伽双紙の紹介』に、第3学年では、大工が使うさがねの紹介が『曲尺の秘密』に掲載されている。
数研	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、江戸時代の書物にある計算方法の紹介が『塵劫記』に、第2学年では、日本古来の鱗模様などの紹介が『図形の性質と合同』に、第3学年では、日本で独自に発達した数学の紹介が『日本の数学～和算～』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では江戸時代に発達した和算が『小町算』に、第2学年では和算の中の数あて遊びが『さっさ立て』に、第3学年では江戸時代に発達した和算の研究者の紹介が『和算の秘密を明かした大名』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【⑦～④の立体の共通点やちがいをいってみましょう】に、第2学年では、ひもを使って直角をかく学習活動が【直角ができるのはなぜ？】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【いろいろな面積の正方形をかいてみよう】に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第1学年では、立体の模型を作り特徴を調べる学習活動が【ヒンメリを作ろう】に、第2学年では、実際に模様をかいて観察する学習活動が【アーガイルチェックを調べよう】に、第3学年では、ゲームを実行してその仕組みを考える学習活動が【数当てゲームをやってみよう】に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第1学年では、ルーラーキャッチの結果を比べる学習活動が【反応の速さはどのくらいかな？】に、第2学年では、さいころを実際に投げて目の出やすさを調べる学習活動が【出やすいのはどれ？】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【長方形の面積は？】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、紙コプターを作り滞空時間を比べる学習活動が【滞空時間の長い紙コプターを作ろう！】に、第2学年では、さいころを多数回投げて回数を調べる学習活動が【さいころの目の出やすさを調べてみよう！】に、第3学年では、格子上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さは？】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、面積の定められた複数の長方形をかく学習活動が【同じ面積の長方形をつくろう】に、第2学年では、作図した三角形の特徴を考える学習活動が【証明といえるかな？】に、第3学年では、複数の円周角をかいて大きさを比べる学習活動が【ストリングアートの中のきまりをさがそう】に設定されている。
数研	体験活動の充実について、第1学年では、封筒を使って立体を組み立て特徴を調べる学習活動が【封筒で立体を作ってみよう】に、第2学年では、合同な三角形を作図する学習活動が【三角形の合同条件】に、第3学年では、複数の長方形と正方形を並べかえて1つの長方形をつくる学習活動が【図形を組み合わせで長方形をつくろう】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第1学年では、トランプを使って正負の数の和を比べる学習活動が【トランプゲームをしよう！】に、第2学年では、三角定規を使った平行線のひき方を考える学習活動が【平行線になる条件】に、第3学年では、方眼上に異なる面積の正方形をかく学習活動が【正方形の1辺の長さはわかるかな？】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【算数から数学へ】に、第2学年では【ちょっと確認 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2は本当に分数で表せない？】に設定されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【小学校算数のふり返り】に、第2学年では【二等辺三角形の性質】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【三角形の重心】に設定されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【ふりかえり～算数から数学へ～】に、第2学年では【ふりかえり】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【乗法公式を使った分母の有理化】に設定されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【○章を学習する前に】に、第2学年では【○章を学習する前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【三角形の重心】に設定されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【ふりかえり 算数】に、第2学年では【ふりかえり 算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。
数研	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【○○の学習の前に】に、第2学年では【○○の学習の前に】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【ルート2が無理数であることの証明】に設定されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱った学習内容を確認する学習活動が、第1学年では【確かめ▶算数】に、第2学年では【確かめ▶算数】に、高等学校で扱う学習内容に触れた学習活動が、第3学年では【円周角を動かしていくと…】に設定されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【グラフを使って考えよう】に、第2学年では【飲み物はいつまで冷たく保てる？】に、第3学年では【走行時の速さを推測しよう】に設定されている。
大日本	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【進行のようすを調べよう】に、第2学年では【富士山八合目の気温を予想してみよう】に、第3学年では【停止距離は何mになるだろうか】に設定されている。
学図	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【震源までの距離は？】に、第2学年では【ダイヤグラム】に、第3学年では【スピードと停止距離の関係は？】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップは何個集まっているのかな？】に、第2学年では【どちらの自動車を買おうとよいのかな？】に、第3学年では【何秒後かな？】に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【リサイクルすると？】に、第2学年では【2人が出会う地点はどこかな？】に、第3学年では【車は急にとまれない】に設定されている。
数研	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【キャップの重さを予想しよう】に、第2学年では【グラフから読み取れる情報を考えよう】に、第3学年では【速さと制動距離の関係を説明しよう】に設定されている。
日文	情報活用能力の育成について、表、式、グラフから読み取ったことを活用して問題解決に取り組む学習活動が、第1学年では【何m走ることができるかを考えよう】に、第2学年では【総費用で比べよう】に、第3学年では【自動車が止まるまでの距離を考えよう】に設定されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の問題であることを表したハートマーク（♥）が『問〇』に掲載されている。
大日本	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『思い出そう』に掲載されている。
学図	生徒の学習上の困難さへの対応について、問題の解決方法を探す上で関わりのある視点が『見方・考え方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『もどって確認』に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。
数研	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習内容とつながりをもつ既習のことがらが『ふりかえり』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、例題と同じ型の既習問題が『同じように考える』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【待ち時間を予想するためには？】に、第2学年では【くじをひく順番は？】に、第3学年では【先にゴールするのはどのコース？】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【図形の面積の変わり方を調べよう】に、第2学年では【1次関数を利用して面積の変化を調べよう】に、第3学年では【図形のなかに現れる関数について調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【垂直二等分線の作図】に、第2学年では【鉛筆の回転角は何度？】に、第3学年では【時間と距離の関係は？】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【球の表面積】に、第2学年では【グラフはどんな形になるかな？】に、第3学年では【三平方の定理の証明パズル】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【どこで水を飲ませる？】に、第2学年では【起こりやすいのはどれ？】に、第3学年では【校舎の高さを求めるには？】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
数研	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【必要な石の数を求めよう】に、第2学年では【鋭角三角形、鈍角三角形】に、第3学年では【立体の表面上の最短距離】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【見取図、展開図、投影図】に、第2学年では【図を変形して考えよう】に、第3学年では【どこまで見えるか調べよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、正の数に基に負の数を数直線上に表す学習活動が、第2学年では、三角形の合同条件を基に角の二等分線の作図を証明する学習活動が、第3学年では、単項式と多項式の乗法を基に多項式どうしの乗法を考える学習活動が【Q考えてみよう】に設定されている。
大日本	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、角の二等分線を基に垂線の作図方法を考える学習活動が、第2学年では、複数のドットプロットを基に分布の様子を比べる学習活動が、第3学年では、1次関数を基に2乗に比例する関数の変化の割合を考える学習活動が【？考えよう】に設定されている。
学図	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、比例定数が正の数の比例のグラフを基に比例定数が負の数のグラフをかく学習活動が、第2学年では、等式の変形を基に連立方程式の代入法を考える学習活動が、第3学年では、負の数の数直線上の表し方を基に平方根を数直線上に表す学習活動が【Question】に設定されている。
教出	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、異なる大きさの角の作図方法を組み合わせて75°の角を作図する学習活動が、第2学年では、三角形の合同条件を基に直角三角形の合同条件を見つける学習活動が、第3学年では、因数分解を基に2次方程式の解き方を話し合う学習活動が【Q】に設定されている。
啓林館	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、ひし形の対角線を基に垂線の作図方法を考える学習活動が、第2学年では、三角形の内角の和を基に多角形の内角の和を求める学習活動が、第3学年では、比例定数が正の数の放物線を基に比例定数が負の数の放物線をかく学習活動が【ひろげよう】に設定されている。
数研	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、係数に小数を含む1次方程式と係数に分数を含む1次方程式の解き方を比べる学習活動が、第2学年では、三角形の内角の和が180°になることを複数の方法で説明する学習活動が、第3学年では、展開の公式を基に因数分解する方法を考える学習活動が【TRY】に設定されている。
日文	数学的活動を通して基礎的な知識及び技能を身に付けることについて、第1学年では、分配法則を使ってかっこがある方程式を解く学習活動が、第2学年では、仮定と結論を入れかえたことがらがいつでも正しいかどうかを考える学習活動が、第3学年では、1次関数を基に2乗に比例する関数の変化の割合を考える学習活動が【Q確かめよう】に設定されている。

⑪	言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。	
	東書	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【棒の本数を求めてみよう】に、第2学年では【角の大きさを求める方法を考えてみよう】に、第3学年では【四角形の各辺の中点を結んだ図形は？】に設定されている。
	大日本	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【アイスクリームの体積を比べよう】に、第2学年では【動き方のしくみを調べよう】に、第3学年では【通路の幅を決めよう】に設定されている。
	学図	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【三角形に接する円を作図しよう】に、第2学年では【赤道のまわりにロープを巻く？】に、第3学年では【動かして考えよう】に設定されている。
	教出	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【キャンドルライトはいくつ必要なのかな？】に、第2学年では【当たりやすさは変わらないのかな？】に、第3学年では【箱の高さは何cmになるのかな？】に設定されている。
	啓林館	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【緊急地震速報】に、第2学年では【体を動かして健康を維持しよう】に、第3学年では【全身がうつる鏡】に設定されている。
	数研	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【図書だよりの問題】に、第2学年では【誕生日を当てるマジックの問題】に、第3学年では【カレンダーの問題】に設定されている。
	日文	考えを表現して深めることについて、問題発見・解決の過程を振り返り、新たな問題を見いだす学習活動が、第1学年では【基石の総数を表す式を求め説明しよう】に、第2学年では【多角形の内角の和を求めよう】に、第3学年では【数の性質を見いだし証明しよう】に設定されている。
⑫	不確定な事象を取り扱う中で、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。	
	東書	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【現在のチームを分析しよう】に、第2学年では【牛乳の販売数の傾向は？】に、第3学年では【どのように調査しているのかな？】に設定されている。
	大日本	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【自動車の燃費を比べよう】に、第2学年では【バレーボール選手の身長を比べよう】に、第3学年では【英和辞典の見出し語は全部で何語か推定しよう】に設定されている。
	学図	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【反応の速さはどのくらいかな？】に、第2学年では【降水量は多くなったのか？】に、第3学年では【この調査は有効か？】に設定されている。
	教出	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【滞空時間の長い紙コプターを作ろう！】に、第2学年では【冬日は本当に減ってきているのかな？】に、第3学年では【どんな調査が行われているかな？】に設定されている。
	啓林館	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【滞空時間の長いリボンをつくろう】に、第2学年では【どのようなことを表している図かな？】に、第3学年では【47都道府県ランキングを見てみよう】に設定されている。
	数研	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【靴の仕入れについて計画を立てよう】に、第2学年では【ハンドボール投げのデータの傾向を調べよう】に、第3学年では【英和辞典の見出し語の総数を推定しよう】に設定されている。
	日文	データを活用して問題解決に取り組む工夫について、データを集める、分析する、わかったことをまとめるなどの学習活動が、第1学年では【気温は高くなってきている？】に、第2学年では【猛暑日は増えている？】に、第3学年では【どんな調査のしかたがあるかな？】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬	各内容の分量とその配分は適切であるか。	
	東書	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【章の問題A・B】、巻末では【もっと数学をつなげよう】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	大日本	補充や発展問題として、節の最後に【たしかめよう】、章の最後に【○章を振り返ろう】、巻末では【もっと数学の世界へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	学図	補充や発展問題として、節の最後に【確かめよう】、章の最後に【○章のまとめの問題 基本・応用・活用】、巻末では【さらなる数学へ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	教出	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【○章 章の問題】、巻末では【数学ライブラリー】が掲載されている。第2学年は7章、第1、3学年は8章で構成されている。
	啓林館	補充や発展問題として、節の最後に【練習問題】、章の最後に【○章 章末問題】、巻末では【数学広場】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	数研	補充や発展問題として、節の最後に【確認問題】、章の最後に【問題A・B】、巻末では【数学旅行】【ぐんぐんのばそうチャレンジ編】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。
	日文	補充や発展問題として、節の最後に【基本の問題】、章の最後に【○章の問題】、巻末では【数学 マイ トライ】が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。

⑩ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB 5 判が採用されている。
大日本	判型はB 5 判が採用されている。
学図	判型はB 5 判が採用されている。
教出	判型はB 5 判が採用されている。
啓林館	判型はB 5 判が採用されている。
数研	判型はB 5 判が採用されている。
日文	判型はB 5 判が採用されている。
⑪ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『ルビなどの小さい文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。』と表記されている。
数研	『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第 1 学年 23ページ 風の塔（川崎市） 24ページ 桜の開花日（横浜市） 111ページ 橋本駅（相模原市） 157ページ 万葉の里 白雲荘（足柄下郡） 192ページ 横浜みなとみらい21（横浜市） 第 2 学年 191ページ 小田原市役所（小田原市） 第 3 学年 212ページ 都道府県ランキング（神奈川県）
大日本	第 1 学年 250ページ 都道府県別中学校数（神奈川県） 第 2 学年 209ページ 平均気温（横浜市） 第 3 学年 38ページ 横浜マリンタワーの写真（横浜市）
学図	第 1 学年 259ページ 降水確率（横浜） 第 2 学年 表紙 箱根寄木細工（神奈川県足柄下郡） 第 3 学年 243ページ 第98回東京箱根間往復大学駅競走往路・復路（箱根市） 270ページ 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 280ページ 大日本沿岸輿地図（相模）
教出	第 1 学年 70ページ、71ページ 気象予報士長谷部愛さん（神奈川県出身）、 214ページ 湘南台文化センター（藤沢市）、 297ページ 『横浜ランドマークタワー』（横浜市） 第 2 学年 62ページ デュアスロン大会（川崎市）、 187ページ 川崎フロンターレの選手・写真左（川崎市）、 206ページ 神奈川県の面積2416km ² 、 207ページ 生麦ジャンクション付近の航空写真（横浜市）、 218ページ 『札幌と横浜の冬日の日数の経年変化について』（横浜市） 第 3 学年 114ページ 箱根町の写真（足柄郡）、 255ページ 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏（葛飾北斎作）
啓林館	第 1 学年 124ページ パシフィコ横浜国立大ホール（横浜市） 第 2 学年 187、188ページ 都道府県のごみのリサイクル率（神奈川県） 209ページ 入試問題にチャレンジ（神奈川県 2022年度 改題） 第 3 学年 204ページ 睡眠時間ランキング（神奈川県）
数研	第 2 学年 12ページ メリーゴーラウンド（神奈川県横浜市）
日文	掲載なし

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	1年	2年	3年
東書	3	546	424	470
大日本	3	548	422	508
学図	3	554	456	558
教出	3	582	456	518
啓林館	3	492	396	466
数研	3	522	442	534
日文	3	546	440	502

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい科学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【活用問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をととして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【調べて考察しよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活や自然事象から想起される疑問を解決する学習活動が、【問題発見 レッツスタート!】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『動物の発生』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『防災特集』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『お仕事大図鑑』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『「探究」の流れを確認しよう』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する季節による風向きの変化についての内容が『社会科(地理)で学ぶこと』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、観察・実験に関するレポートの作成や発表の仕方が『レポートの書き方』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、エコカーに使用されている電池が『まちなか科学』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、透明半球を用いて太陽の動きの特徴を調べる学習活動が【太陽の1日の動き】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『これまでに学んだこと』として掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、金属を熱したときの質量の変化から規則性を調べる学習活動が【データを読みとろう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実験』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【練習問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【仕事とは何だろうか。】に設定されている。 ⑰ ☐ 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【学びを広げよう 自由研究】に設定されている。 ⑱ ☐ 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、生活の中にあるものを使って電池を作る学習活動が【身近なものでも電池ができる!】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 節ごとに『問題発見』や『課題』、『調べ方を考えよう』、『分析解釈』が、章末に『学んだことをチェックしよう』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『すべての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	理科の世界
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連		○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【章末問題】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【振り返ろう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりにあるものから課題を見つけて探究する学習活動が【探究活動】に設定されている。	
2 かながわ教育ビジョンとの関連		○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『生物の進化と共通の祖先』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『くらしの中の理科』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『Professional』に掲載されている。	
3 内容と構成		《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れが『学習の見通しをもとう』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する天文学と歴史との関係が『歴史と天文学』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『結果の整理』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、遺伝子技術による医療活用が『Science Press』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、ばねばかりを使い合力の関係を調べる学習活動が【力の合成】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『思い出そう』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、自分の住んでいる地域の天気の変化を予測する学習活動が【明日の天気はどうなるか】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実習』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【やってみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【エネルギー変換効率を調べよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【自由研究にチャレンジしよう！】に設定されている。 ⑱ ☐ 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、金星のモデルを作り満ち欠けを観察する学習活動が【金星の見え方を確かめてみよう】に設定されている。	
4 分量・装丁表記等		⑲ ☐ 章末に『章末問題』、単元末に『単元末問題』や『まとめ』、『読解力問題』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は6単元で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。	

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	学図	書名	中学校 科学
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連		○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【Can-Do List】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をととして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【探究を深める】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりの題材から課題を見つけ探究する学習活動が【探究】に設定されている。	
2 かながわ教育ビジョンとの関連		○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『動物の受精と発生』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『資料』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『SDGsを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。	
3 内容と構成		《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れが『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連して、平行四辺形の性質についての内容が『つながり 数学』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『どうする、レポート』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、iPS細胞の技術が使われた再生医療が『補充資料』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、斜面に台車を滑らせ速さの変化を調べる学習活動が【斜面を下る台車の運動】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『ふり返ろう・つなげよう』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、電熱線のはたらきと電力や時間の関係を調べる学習活動が【発熱と電力・時間】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが示された内容が『探究』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【発展】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返るための学習活動が【どうする、太陽の道筋】に設定されている。 ⑰ ☐ 科学と日常生活や社会とかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【思考をさらに深める】に設定されている。 ⑱ ☐ 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、厚紙を使って金星を観察するためののぞき窓を作る学習活動が【金星の満ち欠けのモデル】に設定されている。	
4 分量・装丁表記等		⑲ ☐ 単元ごとに『Can-Do List』『学びのあしあと』、単元末に『SDGsを意識して脱炭素社会へ』『学習のまとめ』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。	

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	教出	書名	自然の探究 中学理科
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【要点をチェック】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をととして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【考察する】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から疑問を見つけ探究する学習活動が【疑問から探究してみよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『花粉の変化を観察してみよう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『私のレポート』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『ハローサイエンス』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『探究の進め方』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、保健体育科と関連する自然災害発生時の対応が『学びをつなげよう』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポート作成や発表の仕方が『レポートの書き方』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、リチウムイオン電池の活用が『広がる科学の世界』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、ばねばかりを使って力の向きや大きさを調べる学習活動が【異なる方向にはたらく力の合力を調べる】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『思い出そう』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、季節の天気の特徴や気象情報を利用してこれからの天気の変化を予測する学習活動が【天気の変化を予測しよう】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『実験』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【これまでの学習のおさらい】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【学習したことを使って、月やその他の天体がどのように動いているかを説明してみよう。】に設定されている。 ⑰ ☐ 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【自由研究】に設定されている。 ⑱ ☐ 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、ドライアイスとフィルムケースを使って等速直線運動の実験を行う学習活動が【慣性の法則を確かめよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 章ごとに、はじめに『これまでの学習』『学習前の私』、章末に『要点をチェック』『学習後の私』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《理科(理科)》

※詳細については、資料Ⅱ(理科-6～理科-12)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	未来にひろがるサイエンス
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【Review】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をととして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が【探究のふり返し】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から課題を設定し探究する学習活動が【みんなで探Qクラブ】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が『小形の魚が食べたものの観察』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容が『防災減災ラボ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が『お仕事ラボ』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れが『探究とは』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連する等速直線運動における移動距離の求め方が『一次方程式』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が『わたしのレポート』に掲載されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、微小なエネルギーを集めて有効活用するエネルギーハーベスティングが『ひろがる世界』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、複数の水溶液に電流が流れるかどうか調べる学習活動が【電流が流れる水溶液】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『つながる学び』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、季節風の風向の違いが何に関係するのか調べる学習活動が【日本の冬や夏にふく季節風】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れが『探Q実験』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が【うすい塩酸の電気分解】に設定されている。 ⑰ ☐ 科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動が【サイエンス資料】に設定されている。 ⑱ ☐ 原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、ポリスチレン球を用いて月の満ち欠けモデルを作る学習活動が【月の形と位置の変化を調べる観測】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 章末に『Review』、単元末に『学習のまとめ』や『力だめし』、『みんなで探Qクラブ』が掲載され、第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《理科(理科)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【学んだことをチェックしよう】【学習内容の整理】【活用問題】に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【まとめ】【単元末問題】【章末問題】に設定されている。
学図	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【計算問題】【学習のまとめ】【Can-Do List】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【基本問題】【要点と重要用語の整理】【要点をチェック】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、各単元における語句や基本的な内容を確認する学習活動が【学習のまとめ】【力だめし】【Review】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【学びをいかして考えよう】に、第2学年では【課題に対する自分の考えは？】に、第3学年では【調べて考察しよう】に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【問題を見つけよう】に、第2学年では【計画を立てよう】に、【結果から考えよう】に、第3学年では【振り返ろう】に設定されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【この時間の課題】に、第2学年では【結果から考察する】に、第3学年では【探究を深める】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【課題】に、第2学年では【仮説】に、第3学年では【考察する】に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、観察・実験をとおして、問題を見出し解決方法を考える学習活動が、第1学年では【考えてみよう】に、第2学年では【活用してみよう】に、第3学年では【探究のふり返し】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活や自然事象から想起される疑問を解決する学習活動として、第1学年では身近な環境にはどのような生物がいるか探す学習活動が、第2学年ではホットケーキのふっくらとしたやわらかさを生む原因を考える学習活動が、第3学年では同じ時刻に見える星が季節ごとに変わる理由について考える学習活動が【問題発見 レッツスタート！】に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりにあるものから課題を見つけて探究する学習活動として、第1学年ではメダルがどの物質でできているか調べる方法について考える学習活動が、第2学年ではイカの体のつくりから生きていくためのしくみについて考える学習活動が、第3学年では水溶液に溶けているものを確かめる学習活動が【探究活動】に設定されている。
学図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、身のまわりの題材から課題を見つけ探究する学習活動として、第1学年では生物を分類する学習活動が、第2学年では露点を求める学習活動が、第3学年では身のまわりの自然環境の調査を行う学習活動が【探究】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中にあるものから疑問を見つけ探究する学習活動として、第1学年では似ている物質の見分け方について調べる学習活動が、第2学年では熱と電気エネルギーの関係について調べる学習活動が、第3学年では遺伝子の伝わり方について調べる学習活動が【疑問から探究してみよう】に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活の中から課題を設定し探究する学習活動として、第1学年では靴の摩擦力はどのようなときに大きくなるか考える学習活動が、第2学年では化学かいろを早く発熱させる方法について考える学習活動が、第3学年では化学電池の電圧を大きくする方法について考える学習活動が【みんなで探Qクラブ】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④【思いやる力】他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
〔共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など〕	
東書	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『裸子植物と被子植物の比較』に、第2学年では『植物の利用方法』に、第3学年では『動物の発生』に掲載されている。
大日本	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『種子の運ばれ方』に、第2学年では『草食動物の消化』に、第3学年では『生物の進化と共通の祖先』に掲載されている。
学図	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『植物のなかま分け』に、第2学年では『どうする、植物と動物のちがいが』に、第3学年では『動物の受精と発生』に掲載されている。
教出	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『植物を分類するための図をつくり、植物を分類してみよう』に、第2学年では『葉の細胞の中のどこで光合成が行われているか調べてみよう』に、第3学年では『花粉の変化を観察してみよう』に掲載されている。
啓林館	【思いやる力】の「生命の尊厳」について、生命の連続に関する過程を取り上げた内容が、第1学年では『種子をつくらない植物の観察』に、第2学年では『血管の分布や、血液の流れを調べてみよう』に、第3学年では『小形の魚が食べたものの観察』に掲載されている。
⑤【たくましく生きる力】自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
〔公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など〕	
東書	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では緊急地震速報が、第2学年では急な天気の変化から身を守ることが、第3学年では釜石ではどう行動したかが、『防災特集』に掲載されている。
大日本	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では津波警報が、第2学年では日本にやってくる台風による被害が、第3学年では地震が起きた時の対策例が、『くらしの中の理科』に掲載されている。
学図	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では日本の活火山が、第2学年では山を越えて空気があつくなることが、第3学年では水没したらドアは開かないことが『資料』に掲載されている。
教出	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では平成28年（2016年）の熊本地しんが、第2学年では令和2年7月豪雨が、第3学年では札幌市北区の洪水が、『私のレポート』に掲載されている。
啓林館	【たくましく生きる力】の「防災教育」について、理科で学習したことを活用する内容として、第1学年では津波に備えることが、第2学年では地域の防災と減災のために活躍する防災士が、第3学年では防災・減災をめざすこと「自助・共助・公助」が『防災減災ラボ』に掲載されている。
⑥【社会とかかわる力】社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
〔生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など〕	
東書	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年ではサイエンスアーティストが、第2学年では物理学者が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事大図鑑』に掲載されている。
大日本	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では水族館飼育員が、第2学年では船長が、第3学年では博物館学芸員が『Professional』に掲載されている。
学図	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では農業に携わる人が、第2学年では林業に携わる人が、第3学年では漁業に携わる人が『SDGsを意識して脱炭素社会へ』に掲載されている。
教出	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では塩づくり職人が、第2学年では保安検査係員が、第3学年では農業に携わる人が『ハローサイエンス』に掲載されている。
啓林館	【社会とかかわる力】の「働くことの大切さ」について、理科の各分野に関連する職業に係る内容が、第1学年では鉱山技師が、第2学年では盲導犬の訓練士が、第3学年では宇宙飛行士が『お仕事ラボ』に掲載されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では塩と砂糖と小麦粉の例が、第2学年では電磁石の例が、第3学年では麹菌の例が、『「探究」の流れを確認しよう』に掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する7項目の学習の流れとして、第1学年では身近な物理現象の例が、第2学年では生物の体のつくりとはたらきの例が、第3学年では化学変化とイオンの例が、『学習の見通しをもとう』に掲載されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する10項目の学習の流れとして、第1学年では仮説を立てそれを検証することの例が、第2学年では根拠に基づいて判断することの例が、第3学年では筋道を立て考え解決していくことの例が『なぜ理科を学ぶの?』に掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年では5種類の水溶液の例が、第2学年では3種類の白い粉末の例が、第3学年では銅の質量と銅と結びつく酸素の質量の関係の例が『探究の進め方』に掲載されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する8項目の学習の流れとして、第1学年ではごま塩の粒の不思議の例が、第2学年では霧が発生する仕組みの例が、第3学年では影と太陽の関係の例が『探究とは』に掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では技術科と関連する材料の特性に合った製品作りが『技術・家庭で学ぶこと』に、第2学年では社会科と関連する季節による風向きの変化が『社会科(地理)で学ぶこと』に、第3学年では保健体育科と関連する男女の生殖機能の発達に『保健体育で学ぶこと』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では国語科と社会科に関連する万葉集の中に出てくる植物が『万葉集から見る植物』に、第2学年では保健体育科と関連する一酸化炭素が人体に与える影響が『一酸化炭素』に、第3学年では社会科と関連する天文学と歴史との関係が『歴史と天文学』に掲載されている。
学図	カリキュラム・マネジメントについて、数学科と関連して、第1学年では比例の関係が、第2学年では比例の関係における比例定数が、第3学年では平行四辺形の性質が『つながり 数学』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では算数科と関連する質量パーセント濃度の計算方法が『ブリッジ算数』に、第2学年では国語科と関連する宮沢賢治の作品で登場する星や炎色反応が『ブリッジ国語』に、第3学年では保健体育科と関連する自然災害発生時の対応が『学びをつなげよう』に掲載されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では社会科と関連する石器に使われる火山岩が『石基ばかりの火山岩でつくられた石器』に、第2学年では家庭科と関連する五大栄養素の種類が『五大栄養素』に、第3学年では数学科と関連する等速直線運動における移動距離の求め方が『一次方程式』に掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、観察・実験に関するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では「結果」と「考察」の違いの例が、第2学年では、炭酸水素ナトリウムを加熱した時の変化の例が、第3学年では、電流が流れる水溶液の例が『レポートのまとめ方』に掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では地震による地面の揺れの伝わりの例が、第2学年では銅を加熱したときの質量の変化の例が、第3学年では微生物のはたらきの例が『結果の整理』に掲載されている。
学図	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成の手順や発表の仕方が、第1学年では物質を加熱して分類することの例が、第2学年では、炭酸水素ナトリウムの熱分解の例が、第3学年では、土にいる微生物の例が『どうする、レポート』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では5種類の水よう液の区別の例が、第2学年では地層の観察の例が、第3学年では銅分の質量と結びつく酸素の質量との関係の例が『レポートの書き方』に掲載されている。
啓林館	言語能力の育成について、観察・実験に対するレポートの作成や発表の仕方が、第1学年では光が鏡ではね返るときの進み方の例が、第2学年では発電のしくみの例が、第3学年では木曽三川の水害とその対策の例が『わたしのレポート』に掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では有機物から炭をつくる内容が、第2学年では生活の中で利用されている電磁誘導の技術が、第3学年ではエコカーに使用されている電池が『まちなか科学』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では光ファイバーの内容が、第2学年ではくらしを支えるセンサー技術が、第3学年では遺伝子技術による医療活用が『Science Press』に掲載されている。
学図	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では全反射の仕組みが光ファイバーで使われている内容が、第2学年では生活の中で使われているコイルの技術が、第3学年ではiPS細胞の技術が使われた再生医療が『補充資料』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年ではコンピューターの描く3DCGが、第2学年ではスーパーコンピュータを使った気象状況の数値予測が、第3学年ではリチウムイオン電池の活用が『広がる科学の世界』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では精密測定とAI（人工知能）によるVRの内容が、第2学年では二酸化炭素を資源に変える人工光合成が、第3学年では微少なエネルギーを集めて有効活用するエネルギーハーベスティングが『ひろがる世界』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、生徒が実際にルーペを使い生物を観察する学習活動が【身近な生物の観察】に、第2学年では、抵抗器を使い電圧と電流の関係を調べる学習活動が【電圧と電流の関係】に、第3学年では、透明半球を用いて太陽の動きの特徴を調べる学習活動が【太陽の1日の動き】に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、第1学年では、校庭周辺の生物を観察し特徴を調べる学習活動が【校庭周辺の生物の観察】に、第2学年では、空気を膨張させ雲のでき方を調べる学習活動が【雲のでき方】に、第3学年では、ばねばかりを使い合力の関係を調べる学習活動が【力の合成】に設定されている。
学図	体験活動の充実について、第1学年では、学校のまわりにいる生物を観察する学習活動が【生物の観察】に、第2学年では、酸化銅を加熱し銅を実際に取り出す学習活動が【銅を取り出す】に、第3学年では、斜面上台車を滑らせ速さの変化を調べる学習活動が【斜面を下る台車の運動】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、ピンセットを使って花を分解し観察する学習活動が【いろいろな花のつくりを調べる】に、第2学年では、炭素を使って酸化銅から銅を取り出す学習活動が【酸化銅から銅が取り出せるか調べる】に、第3学年では、ばねばかりを使って力の向きや大きさを調べる学習活動が【異なる方向にはたらく力の合力を調べる】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、花を実際に分解し観察する学習活動が【花のつくりの観察】に、第2学年では、水温を下げて教室の空気の露点を調べる学習活動が【空気中の水蒸気量の推定】に、第3学年では、複数の水溶液に電流が流れるかどうか調べる学習活動が【電流が流れる水溶液】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習内容の振り返りとして、第1学年では花のつくりの内容が、第2学年では雲と天気の関係の内容が、第3学年では水溶液の酸性、アルカリ性、中性の内容が『これまでに学んだこと』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『救急車のサイレン』に、第2学年では『電子顕微鏡で見た細胞』に、第3学年では『電池と電気分解装置のちがひ』に掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習内容の振り返りとして、第1学年では花のつくりの内容が、第2学年では物質が燃えるときに発生する気体の内容が、第3学年ではてこがつり合う条件の内容が『思い出そう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『不整合』に、第2学年では『炎色反応』に、第3学年では『運動エネルギーの大きさ』に掲載されている。
学図	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では植物や生物の分類の内容が、第2学年では水溶液の性質の内容が、第3学年ではメダカの受精の内容が『ふり返ろう・つなげよう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『大気中の二酸化炭素濃度』に、第2学年では『大きな分子』に、第3学年では『速さと移動距離』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では植物のつくりの内容が、第2学年では水蒸気が温度変化により姿を変える現象の内容が、第3学年では水溶液の酸性、アルカリ性、中性の内容が『思い出そう』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『牛乳は水溶液か？』に、第2学年では『化学変化における原子の質量の比』に、第3学年では『宇宙の始まりに迫るということは…』に掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習の振り返りとして、第1学年では花のつくりや変化の内容が、第2学年では地球をとり巻く大気の様子の内容が、第3学年では水溶液による金属の変化の内容が『つながる学び』に掲載されている。また、高等学校の学習につながる内容が、第1学年では『状態変化の名称』に、第2学年では『原子量』に、第3学年では『地球型惑星と木星型惑星』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第1学年では水とエタノールの状態変化を比較する学習活動が【グラフのかき方】に、第2学年では金属を熱したときの質量の変化から規則性を調べる学習活動が【データを読みとろう】に、第3学年では遺伝子やDNAに関する研究成果を調べる学習活動が【遺伝子の本体と研究成果の活用】に設定されている。また、情報を活用する際の方法や注意点が『情報収集のしかた』や『参考文献を示す』に掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、第1学年では力の大きさとばねの伸びの関係を調べる学習活動が【グラフのかき方】に、第2学年では自分の住んでいる地域の天気の変化を予測する学習活動が【明日の天気はどうなるか】に、第3学年では自然環境を保全しながら科学技術を利用する方法を考える学習活動が【持続可能な社会にする方法】に設定されている。また、インターネットを利用しての情報検索の方法や注意点が『情報収集・整理のしかた』や『情報を伝える科学技術』に掲載されている。
学図	情報活用能力の育成について、第1学年ではばねの伸びと力の関係をグラフに表す学習活動が【ばねの伸びと力の関係】に、第2学年では電熱線のはたらきと電力や時間の関係を調べる学習活動が【発熱と電力・時間】に、第3学年では人間の活動によって自然にどのような影響があるか考える学習活動が【人間活動と自然の影響の調査】に設定されている。また、情報の収集方法や、妥当性の判断方法、公開方法が『どうする、上手な検索』『どうする、検索結果の妥当性』『どうする、情報の公開』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、第1学年では過去の地震の記録やハザードマップをもとに話し合う学習活動が【地震災害】に、第2学年では季節の天気の特徴や気象情報を利用してこれからの天気の変化を予測する学習活動が【天気の変化を予測しよう】に、第3学年では遺伝子やDNAに関する研究成果を調べる学習活動が【遺伝子研究の現在と人間生活への応用】に設定されている。また、情報の発信の注意点が『情報モラル』に掲載されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第1学年では過去に起こった災害の例や仕組みを調べる学習活動が【大地の変化とわたしたちのかかわり】に、第2学年では季節風の風向の違いが何に関係するのか調べる学習活動が【日本の冬や夏にふく季節風】に、第3学年では地域でこれまでに発生した自然災害を調べる学習活動が【地域の自然災害の調査】に設定されている。また、インターネットを利用しての情報検索の方法と注意点が『ICTの活用』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では反射する光の道筋の例が、第2学年では光合成と二酸化炭素の関係の例が、第3学年では酸性、アルカリ性を示す正体の例が『実験』に掲載されている。
大日本	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では花に共通するつくりの例が、第2学年では高気圧・低気圧の付近の特徴の例が、第3学年では季節によって見える星座が変化する理由を調べることの例が『実習』に掲載されている。
学図	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では状態変化と粒子のモデルの例が、第2学年では植物が水を運ぶつくりの例が、第3学年では1日の星の動きと観測者の例が『探究』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では3種類の白い物質の性質の例が、第2学年では電流を流した時間や電力と水の上昇温度との関係の例が、第3学年では力の大きさと速さの変化の関係の例が『実験』に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、画像などを用いた実験の流れとして、第1学年では、マグマの性質と火山の形の関係の例が、第2学年では唾液のはたらきの例が、第3学年では金属のイオンへのなりやすさの例が『探Q実験』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【ワークシート】に、第2学年では【実験手順】に、第3学年では【練習問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【基本操作】に、第2学年では【行ってみよう！科学館・博物館】に、第3学年では【やってみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【基本操作】に、第2学年では【資料】に、第3学年では【発展】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【生物カード】に、第2学年では【要点をチェック】に、第3学年では【これまでの学習のおさらい】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【はてなスイッチ】に、第2学年では【解説動画】に、第3学年では【問題】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 観察、実験などは、3年間を通じて、科学的に探究する力の育成が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
東書	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【生物を比べてみると何がわかるだろうか。】に、第2学年では【化学変化が起こると物質の質量はどうなるだろうか。】に、第3学年では【仕事とは何だろうか。】に設定されている。
大日本	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【植物の分類を活用する】に、第2学年では【明るい豆電球はどれだ】に、第3学年では【エネルギー変換効率を調べよう】に設定されている。
学図	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【どうする、融点・沸点が一定でない】に、第2学年では【どうする、抵抗の計算（1）】に、第3学年では【どうする、太陽の道筋】に設定されている。
教出	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【学習したことを使って、クジラは、どのような動物のなかに分類できるのかを説明してみよう。】に、第2学年では【学習したことを使って、物質が燃えるとは、どのようなことかを説明してみよう。】に、第3学年では【学習したことを使って、月やその他の天体がどのように動いているかを説明してみよう。】に設定されている。
啓林館	科学的に探究する力の育成について、見通しをもって学習を進め、その後振り返る学習活動が、第1学年では【動物の背骨のようすの観察】に、第2学年では【空気の体積変化と雲のでき方】に、第3学年では【うすい塩酸の電気分解】に設定されている。

⑪	観察、実験などは、日常生活や社会とのかかわりの中で、生徒が理科の有用性を実感したり、自らの力で知識を獲得したり、また、それらを表現したりして、理解を深めて体系化していくような工夫や配慮がなされているか。	
	東書	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では測定を意識した自由研究の例が、第2学年では観察を意識した自由研究の例が、第3学年では考えることを意識した自由研究の例が【学びを広げよう 自由研究】に設定されている。
	大日本	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では葉脈標本の作成の例が、第2学年ではモーターの作成の例が、第3学年では指示薬の作成の例が【自由研究にチャレンジしよう！】に設定されている。
	学図	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では魚類・両生類の呼吸と生活場所の例が、第2学年では台風の進路と風の例が、第3学年では化学電池の水溶液と金属の組み合わせの例が【思考をさらに深める】に設定されている。
	教出	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年ではスポーツに見られる力のはたらきの例が、第2学年では分子模型の作成の例が、第3学年では10億分の1の太陽の作成の例が【自由研究】に設定されている。
	啓林館	科学と日常生活や社会とのかかわりについて、学習したことが日常生活や社会で活用されている学習活動として、第1学年では寒天を使ったボーリング調査の例が、第2学年では魚の目のつくりの例が、第3学年では電気ペンの作成の例が【サイエンス資料】に設定されている。
⑫	原理や法則の理解を深めるためのものづくりや、継続的な観察や季節を変えての定点観測など、体験的な学習活動の充実が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
	東書	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では銅線と鉄線を用いて作成した実験道具を使用する学習活動が【金属と非金属の性質をさらにくわしく比べよう】に、第2学年では磁石の性質を利用しリニアモーターを作る学習活動が【リニアモーターをつくってみよう】に、第3学年では生活の中にあるものを使って電池を作る学習活動が【身近なものでも電池ができる！】に設定されている。
	大日本	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では凸レンズを用いて目の模型を作り風景を見る学習活動が【目の模型をつくってみよう】に、第2学年では風船を使い肺のモデルを作る学習活動が【肺に空気が入り出すしくみを確かめてみよう】に、第3学年では金星のモデルを作り満ち欠けを観察する学習活動が【金星の見え方を確かめてみよう】に設定されている。
	学図	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では凸レンズの性質を使った望遠鏡を作る学習活動が【望遠鏡は凸レンズでできている】に、第2学年ではコイルと磁石を使って簡易モーターを作る学習活動が【電流が受ける力】に、第3学年では厚紙を使って金星を観察するためののぞき窓を作る学習活動が【金星の満ち欠けのモデル】に設定されている。
	教出	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年では小麦粉を溶岩に見立てて火山の動き方を観察する学習活動が【火山のモデルをつくろう】に、第2学年ではクリップを用いて簡易モーターを作る学習活動が【クリップを使った簡単なモーターづくりにチャレンジ】に、第3学年ではドライアイスとフィルムケースを使って等速直線運動の実験を行う学習活動が【慣性の法則を確かめよう】に設定されている。
	啓林館	原理や法則の理解を深めるための体験的な学習活動について、第1学年ではペットボトルの中に3種類の土を入れて液状化現象の様子を観察する学習活動が【液状化のしくみとそのモデル実験】に、第2学年では風船を使って肺の模型を作り観察する学習活動が【ヒトの肺の模型をつくってみよう】に、第3学年ではポリスチレン球を用いて月の満ち欠けモデルを作る学習活動が【月の形と位置の変化を調べる観測】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬	各内容の分量とその配分は適切であるか。	
	東書	節ごとに『問題発見』や『課題』、『調べ方を考えよう』、『分析解釈』が、章末に『学んだことをチェックしよう』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。章のはじめとおわりに『Before & After』が掲載されている。
	大日本	章末に『章末問題』、単元末に『単元末問題』や『まとめ』、『読解力問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は6単元で構成されている。学習課題を提示してから観察や実験が設定され、観察や実験の結果の例が掲載されている。
	学図	単元ごとに『Can-Do List』『学びのあしあと』、単元末に『SDGsを意識して脱炭素社会へ』『学習のまとめ』が掲載されている。学習内容ごとの課題に対して『この時間の課題』がページ上部に、『まとめ』がページ下部に設けられている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。
	教出	章ごとに、はじめに『これまでの学習』『学習前の私』、終わりに『要点をチェック』『学習後の私』が掲載されている。各単元末には『要点と重要用語の整理』『基本問題』、巻末には『学年末総合問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。
	啓林館	章末に『Review』、単元末に『学習のまとめ』や『力だめし』、『みんなで探Qクラブ』が掲載されている。巻末に『学年末総合問題』が掲載されている。第1・2学年は4単元、第3学年は5単元で構成されている。

㊴ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
大日本	判型はB 5判が採用されている。
学図	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B変型判が採用されている。
啓林館	判型はA B判が採用されている。
㊵ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『すべての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
啓林館	『見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第1学年：141ページ『グラスにうつるベイブリッジ』（横浜市）、222ページ『泥岩』（横須賀市）、232ページ『地層のようす』（小田原市） 第2学年：55ページ『ステンレスを用いたモニュメント』（横浜市）、306ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館』（小田原市） 第3学年：144ページ『横浜ベイブリッジ』（神奈川県）、179ページ『川崎火力発電所のタービン軸』（川崎市）、272ページ『ハザードマップの例』（三浦市）、286ページ『火力発電』（横浜市）、293ページ『AIをとり上げる新聞記事』（横浜・都筑区）
大日本	第1学年：38ページ『コケ植物のある庭園』（箱根町）、199ページ『江の島で見られる地形』（藤沢市）、201ページ『箱根山』（箱根町）、214ページ『小田原城』（小田原市）、217ページ『火山ガスへの注意』（箱根町）、224ページ『地上で観察できる断層』（三浦市）、241ページ『しゅう曲とそのでき方』（三浦市）、242ページ『鍵屋の例』（相模原市）、244ページ『不整合』（横須賀市）、259ページ『箱根ジオパーク』（南足柄市）、279ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館』（小田原市）、292ページ『新江ノ島水族館の写真』（藤沢市） 第2学年：237ページ『雨量が増えたときの警告看板』（相模原市）、274ページ『夏の江の島』（藤沢市）、276ページ『横浜の海』（横浜市）、300ページ『よこはま動物園ズラシア』（横浜市） 第3学年：72ページ『ジェットコースター』（横浜市）、122ページ『神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員の願い』（小田原市）、209ページ『畑に石灰をまいて土のpHを調整する人』（相模原市）、282ページ『横浜山下公園の日時計』（横浜市）、295ページ『魚道』（寒川町）、304ページ『火力発電所』（横浜市）
学図	第1学年：124ページ『光と音の発生源と距離』（横浜市）、164ページ『風化の例』（厚木市） 第2学年：54ページ『高炉』（川崎市） 第3学年：116ページ『水質検査を行う団体の実験室』（横浜市）
教出	第1学年：42ページ『博物館に展示されたさまざまな動物の骨格標本』（相模原市）、142ページ『地層の剥ぎ取り標本』（小田原市）、155ページ『柔らかい地層』（三浦市）、175ページ『海岸段丘』（三浦市）、205ページ『踏切の警報器』（鎌倉市） 第2学年：208ページ『風力発電所』（横浜市）、208ページ『火力発電所』（横浜市） 第3学年：106ページ『禅寺丸柿』（川崎市）、231ページ『ジェットコースター』（横浜市）、273ページ『河川改修が行われたいち川』（横浜市）、295ページ『スチームハンマー』（横須賀市）、305ページ『ゼロ・エミッションに取り組む工業団地』（川崎市）
啓林館	第1学年：67ページ『断層』（三浦市）、68ページ『地層の露頭』（小田原市）、70ページ『各地域の石垣や外壁に見られる岩石』（小田原市）、71ページ『はぎとった地層（標本）の観察』（南足柄市） 第2学年：122ページ『河川沿いの遊水地』（横浜市）、173ページ『黄色くなった山肌』（箱根町） 第3学年：70ページ『夏至と冬至の、太陽の南中高度と影の長さのちがい』（川崎市）、177ページ『貨物船』（横浜市）、215ページ『ジェットコースター』（横浜市）

㊶ 一冊ごとの重量（g）				
	冊数	1年	2年	3年
東書	3	498	596	608
大日本	3	530	568	664
学図	3	600	686	688
教出	3	616	666	728
啓林館	3	592	632	696

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《音楽(一般)》

※詳細については、資料Ⅱ(一般-3～一般-6)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学音楽 音楽のおくりもの
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、歌うための準備、言葉の発音や変声と混声合唱が『Sing! Sing!』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、異なる2つの楽曲の表現を比較し話し合う学習活動が【比べてみよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『作者の思いにふれる』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、命や人権を考える歌詞が『生命が羽ばたくとき』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「規範意識」について、音楽作品や作家の著作権や知的財産権に関する内容が『私たちのくらしと音楽』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、ストリートピアノの演奏活動や音楽に関わる活動が『音楽のチカラで人と社会を未来でつなぐ』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、パートごとの役割を考える学習活動が【You Can Fly!】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連してくらしの中で育まれた民謡が、『郷土のさまざまな民謡』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、形式や旋律のまとまりを考え表現する学習活動が【旋律のまとまり】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、我が国の伝統音楽が『民謡、箏曲、尺八、雅楽、能、歌舞伎、長唄、文楽』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、全体の構成を考えて表現する学習活動が【くいしんぼうのラップ】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校高学年から中学生にかけての変声期に関する解説が『変声と混声合唱』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、音楽アプリケーションの活用内容が『コンピュータで表現しよう』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、イラストを用いて指揮の仕方が『指揮をしてみよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【見る】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 主体的・協働的な学習について、記述した感想をもとに話し合う学習活動が【Active!】に設定されている。 ⑰ ☐ 系統的・発展的な学習について、音楽を形づくっている要素を図表化したものをもとに話し合う学習活動が【どんな特徴があるかな?】に設定されている。 ⑱ ☐ 音楽文化の理解について、芸能や音楽の表現について、対話を通して考えを交流する学習活動が【世界のさまざまな芸能や音楽】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 本編は表現(歌唱、創作)、鑑賞の順に二つの領域が配列されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《音楽(一般)》

※詳細については、資料Ⅱ(一般-3～一般-6)を参照。

発行者の略称	教芸	書名	中学生の音楽
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、姿勢と呼吸、変声、息の流れや響かせ方が『My Voice!』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、音楽と自己のイメージを関連付けて表現する学習活動が『夢の世界を』に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『音楽の一員になれる時間』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、生命に関する歌詞が『涙そうそう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「規範意識」について、音楽作品や作家の著作権や知的財産権に関する内容が『ルールを守って音楽を楽しもう!』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の文化である太鼓や神楽を引き継ぐ中学生の姿が『私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習の手順や意見交換の例が示され、協働的な学習活動が『パートの役割と重なり方を確かめよう』に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して日本の歴史と照らし合わせた年表が『この頃、日本では・・・!?』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、学んだことを振り返りながら批評した内容をプレゼンテーションする学習活動が『音楽の学びを振り返ろう』に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、我が国の伝統音楽が『民謡、箏曲、雅楽、歌舞伎、文楽、能、郷土の祭りや芸能』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、音楽を聴きながら指揮をする学習活動が『指揮をしてみよう!』に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階の円滑な接続について、小学校高学年から中学生にかけての変声期に心がけることが『変声期』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、音楽視聴やリモート演奏のオンラインでの活用内容が『生活や社会の中の音や音楽』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、写真を用いて指揮をするときの留意点が『指揮をするときのポイント』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が『動画』に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 主体的・協働的な学習について、ワークシートに記述し話し合う学習活動が『自分たちの表現を工夫しよう』に設定されている。 ⑰ ☐ 系統的・発展的な学習について、各題材の学習と関連した内容が『音楽を形づくっている要素』に掲載されている。 ⑱ ☐ 音楽文化の理解について、地域に根ざした音楽について意見交流する学習活動が『世界の諸民族の音楽』に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 本編は表現(歌唱、創作)、鑑賞の順に二つの領域が配列されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしています。』『特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《音楽（一般）》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
教出	「知識・技能」の習得について、歌うための準備、言葉の発音や変声と混声合唱が『Sing! Sing!』に、巻末に音楽用語や記号が『楽典』のページに掲載されている。
教芸	「知識・技能」の習得について、姿勢と呼吸、変声、息の流れや響かせ方が『My Voice!』に、巻末に音楽用語や記号が『音楽の約束』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、異なる2つの楽曲の表現を比較し話し合う学習活動が【比べてみよう】に設定されている。
教芸	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、音楽と自己のイメージを関連付けて表現する学習活動が【夢の世界を】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『作者の思いにふれる』に掲載され、夏の思い出では、歌詞と関連のある『尾瀬ヶ原』の写真が掲載されている。
教芸	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、音楽家によるメッセージと写真が『音楽の一員になれる時間』に掲載され、歌詞と関連のある風景の写真が『浜辺の歌』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、命や人権を考える歌詞が『生命が羽ばたくとき』に掲載され、SDG sに関連づけた教材が『日本とアジアの声によるさまざまな表現』に掲載されている。
教芸	[思いやる力]の「人権教育」について、生命に関する歌詞が『涙そうそう』に掲載され、音楽を通して、共に生きることや文化の多様性、特徴を考える学習が『仕事と音楽』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
教出	[たくましく生きる力]の「規範意識」について、音楽作品や作家の著作権や知的財産権に関する内容が『私たちのくらしと音楽』に掲載されている。
教芸	[たくましく生きる力]の「規範意識」について、音楽作品や作家の著作権や知的財産権に関する内容が『ルールを守って音楽を楽しもう!』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、アウトリーチの活動や音楽に関わる活動が『音楽のチカラで人と社会を未来でつなぐ』に掲載されている。
教芸	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の文化である太鼓や神楽を引き継ぐ中学生の姿が『私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
教出	主体的・対話的で深い学びについて、パートごとの役割を考える学習活動が【You Can Fly!】に設定されている。また、学習の流れと題材のねらいや教材の関連が『学習MAP』に掲載されている。
教芸	主体的・対話的で深い学びについて、学習の手順や意見交換の例が示され、協働的な学習活動が【パートの役割と重なり方を確かめよう】に設定されている。また、教材と学習内容との関連が『音楽によって生活を明るく豊かなものにしよう』に掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
教出	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連してくらしの中で育まれた民謡が『郷土のさまざまな民謡』に、理科の学習と関連して音の振動や波形の解説が『音の三要素』に掲載されている。
教芸	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して日本の歴史と照らし合わせた年表が『この頃、日本では・・・!?』に、日本と西洋の音楽の発展の歴史についての対比が『耳でたどる音楽史』に掲載されている。
○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	
⑨ 言語能力の確実な育成	
教出	言語能力の育成について、形式や旋律のまとまりを考え表現する学習活動が【旋律のまとまり】に設定され、思いや意図を発表したり意見を交流したりする活動が【音のスケッチ】に設定されている。
教芸	言語能力の育成について、学んだことを振り返りながら批評した内容をプレゼンテーションする学習活動が【音楽の学びを振り返ろう】に設定され、学習内容を整理し意見交流する学習活動が【学びのコンパス】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、我が国の伝統音楽が『民謡、箏曲、尺八、雅楽、能、歌舞伎、文楽』に掲載されている。
教芸	伝統や文化に関する教育の充実について、我が国の伝統音楽が『民謡、箏曲、雅楽、歌舞伎、文楽、能、郷土の祭りや芸能』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
教出	体験活動の充実について、全体の構成を考えて表現する学習活動が【くいしんぼうのラップ】に、唱歌を用いて能や長唄を表現する学習活動が【Let's Try!】に設定されている。
教芸	体験活動の充実について、音楽を聴きながら指揮をする学習活動が【指揮をしてみよう!】に、唱歌や謡といった伝統音楽を体験する学習活動が【「越天楽」の唱歌を歌おう】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校高学年から中学生にかけての変声期に関する解説が『変声と混声合唱』に、作者から新入生へのメッセージが『光の道』に掲載されている。
教芸	学校段階間の円滑な接続について、小学校高学年から中学生にかけての変声期に心がけることが『変声期』に、作者から新入生へのメッセージが『We'll Find The Way～はるかな道へ』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
教出	情報活用能力の育成について、音楽アプリケーションの活用内容が『コンピュータで表現しよう』に掲載されている。
教芸	情報活用能力の育成について、音楽視聴やリモート演奏のオンラインでの活用内容が『生活や社会の中の音や音楽』に掲載されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、イラストを用いて指揮の仕方が『指揮をしてみよう』に掲載されている。
教芸	生徒の学習上の困難さへの対応について、写真を用いて指揮をするときの留意点が『指揮をするときのポイント』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【見る】【聴く】【知る】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教芸	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【動画】【音源】【創作ツール】【文章、ワークシート】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、〔共通事項〕をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされているか。	
教出	主体的・協働的な学習について、記述した感想をもとに話し合う学習活動が【Active!】に設定されている。
教芸	主体的・協働的な学習について、ワークシートに記述し話し合う学習活動が【自分たちの表現を工夫しよう】に設定されている。
⑰ 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。	
教出	系統的・発展的な学習について、音楽を形づくっている要素を図表化したものをもとに話し合う学習活動が【どんな特徴があるかな?】に設定されている。
教芸	系統的・発展的な学習について、各題材の学習と関連した内容が『音楽を形づくっている要素』に掲載されている。創意工夫して旋律をつくる学習活動が【My Melody】に設定されている。
⑱ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	
教出	音楽文化の理解について、芸能や音楽の表現について、対話を通して考えを交流する学習活動が【世界のさまざまな芸能や音楽】に、諸民族の音楽文化の固有性、多様性について意見を交流し紹介する学習活動が【表現の仕方を調べてみよう】に設定されている。
教芸	音楽文化の理解について、地域に根ざした音楽について意見交流する学習活動が【世界の諸民族の音楽】に、諸民族の音楽文化の固有性、多様性について考えを交流させる学習活動が【世界の諸民族の音楽を探ろう】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
教出	本編は表現（歌唱、創作）、鑑賞の順に二つの領域が配列されている。後半には合唱曲集が掲載され、巻末には楽典や楽器図鑑、肖像年表が掲載されている。見開き2ページの目次では、全学年において『学習MAP』として歌唱、鑑賞、創作の各分野ごとに『主要教材』が示されている。また、音楽を形づくっている要素を手がかりとして『学習の進め方』が掲載されている。
教芸	本編は表現（歌唱、創作）、鑑賞の順に二つの領域が配列されている。後半には合唱曲集が掲載され、巻末には音楽を形づくっている要素と楽典のまとめが掲載されている。見開き2ページの目次では、全学年において資質・能力の三つの柱ごとに各題材が掲載されており、音楽を形づくっている要素も示されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
教出	判型はA B変型判が採用されている。
教芸	判型はA B変型判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
教芸	『全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしています。』『特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
教出	中学音楽 1 37ページ『箱根馬子歌』の地図（箱根） 87ページ『細石』の写真（鎌倉市） 中学音楽 2・3 上 16～19ページ『辻堂海岸』の写真 66ページ『神奈川県立音楽堂』の写真 中学音楽 2・3 下 18ページ『滝廉太郎』に横浜の表記67ページ『神奈川県大和市』の学校のでの演奏の写真 61ページ『浦賀』の表記
教芸	音楽 1 22～25ページ『辻堂海岸』の写真 62ページ『箱根馬子歌』の地図 2・3 上25ページ『滝廉太郎』に箱根八里の表記 44～45ページ『横浜シンフォニエッタ』『神奈川フィルハーモニー管弦楽団』の写真 69ページ『チャッキラコ』の地図 2・3 下 93ページ『久里浜』の表記

② 一冊ごとの重量（g）				
	冊数	1年	2・3年上	2・3年下
教出	3	198	198	198
教芸	3	204	204	204

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《音楽(器楽合奏)》

※詳細については、資料Ⅱ(器楽合奏-3～器楽合奏-6)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □ 「知識・技能」の習得について、手元や口元の写真や複数の角度から撮影された写真が『姿勢とかまえ方』に掲載されている。 ② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見開きごとに学んだことを表現する学習活動が【まとめの曲】に設定されている。 ③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、演奏家の音楽や楽器に対するメッセージが『表現を求めて』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □ [思いやる力]の「人権教育」について、SDGsと関連する人や国の不平等をなくす内容が『発展「吹く楽器の仲間たち」』に掲載されている。 ⑤ □ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、全体の響きを感じ取りながら表現する合奏曲が『シチリアーナ』に掲載されている。 ⑥ □ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の祭りで太鼓を演奏する取組が『音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、新しい運指や練習曲、まとめ・ふりかえりの学習活動が【曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら、表現を工夫しよう】に設定されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、楽器の背景にある文化や伝統、楽器と形との関係を調べたり考えたりする学習活動が【弾く楽器の仲間たち】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、共通点や相違点を考え意見を交流する学習活動が【表現の仕方を調べてみようPART-2】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓の5種類の和楽器の楽曲が『基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、打楽器と唱歌によるお囃子を創作する学習活動が【楽器と唱歌によるパッチワーク】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階の円滑な接続について、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指や音高、音色を確認する学習活動が【しりと唱歌】に設定されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、音源や演奏する場面の写真を活用して、楽器の発音の仕組みや音色の特徴を比較する学習活動が【表現の仕方を調べてみようPART-1】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、写真を用いたギターとキーボードのコード表の『ギター&キーボードコード表』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【見る】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 主体的・協働的な学習について、音楽を形づくっている要素を取り上げ、話し合いを通じて構成を考えて合奏する学習活動が【どこかの街で不思議な旋律PART-1】に設定されている。 ⑰ □ 系統的・発展的な配列について、楽器ごとに前半には基礎的な技能の習得が『たこたこあがれ』に掲載され、後半には応用的な曲や既習の楽器を組み合わせた楽曲が『子守歌』に掲載されている。 ⑱ □ 音楽文化の理解について、文化や生活様式との関わりを考える学習活動が【弾く楽器の仲間たち】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ □ 本編は、リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の順に各楽器が配置され、後半には各楽器の重奏曲、箏の縦譜、ギターのTAB譜、コード表、創作課題が掲載されている。 ⑳ □ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ □ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《音楽(器楽合奏)》

※詳細については、資料Ⅱ(器楽合奏-3～器楽合奏-6)を参照。

発行者の略称	教芸	書名	中学生の器楽
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、奏法の写真や奏法を確認する図が『姿勢と構え方』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、曲想を感じ取り、音にふさわしい奏法で表現する学習活動が【アンサンブルセミナー】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、演奏家から音楽や楽器に対するメッセージが『さっきのドラムソロやったの、誰だ?』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、音楽に取り組み、共演する様子の写真が『伝統の枠を超えて活躍する和楽器』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、音楽を通したコミュニケーションとして合奏する楽譜が『小さな恋のうた』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、生活や社会の中の音や音楽と自分たちとのつながりが『楽しもう! 和楽器の音楽』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、曲の特徴を捉えて意見交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、楽器の歴史や成り立ち、楽器の背景にある文化や伝統を理解する学習活動が【楽器を知ろう】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、音楽表現の違いや楽曲の構成に関して意見を交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器の楽曲が『吹いてみよう』や『弾いてみよう』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、三味線と唱歌や大鼓・小鼓のパート、掛け声を演奏する学習活動が【「寄せの合方」によるリズムアンサンブル】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階の円滑な接続について、運指や音高、音色を確認する学習活動が【喜びの歌】に設定されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、創作ツールを活用して箏の旋律をつくる学習活動が【My Melody】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、イラストを用いた『ギター／キーボード表』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【動画】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 主体的・協働的な学習について、音楽を形づくっている要素を取り上げ、話し合いを通して表現を考えて演奏する学習活動が【アーティキュレーションを工夫しよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 系統的・発展的な配列について、楽器ごとに前半には基礎的な技能の習得が『カントリー ロード』に掲載され、後半には応用的な曲や既習の楽器を組み合わせた楽曲が『大きな古時計』に掲載されている。 ⑱ ☐ 音楽文化の理解について、和楽器や郷土の芸能を考える学習活動が【私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 本編は、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の順に各楽器が配置され、後半には各楽器の重奏曲、箏の縦譜、三味線の文化譜、楽器の図鑑、創作課題が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はAB変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『全ての生徒の色覚特性に適応することを目指してデザインしています。』『特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《音楽(器楽合奏)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
教出	「知識・技能」の習得について、手元や口元の写真や複数の角度から撮影された写真が『姿勢とかまえ方』に、息の流れの図示を用いた奏法に関する解説が『リコーダー』『篠笛』『尺八』に掲載されている。
教芸	「知識・技能」の習得について、奏法の写真や奏法を確認する図が『姿勢と構え方』に、姿勢や呼吸についての図や解説が『「美しい音」は「よい姿勢から」』『「音の響かせ方」』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、見聞きごとに学んだことを表現する学習活動が【まよめの曲】に設定され、主旋律の表れ方を確認し、曲想を味わいながら表現する学習活動が【風笛】に設定されている。
教芸	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、曲想を感じ取り、音にふさわしい奏法で表現する学習活動が【アンサンブルセミナー】に設定され、曲ごとの学習活動が【吹いてみよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、演奏家から音楽や楽器に対するメッセージが『表現を求めて』に、楽器の演奏についての専門家からのアドバイスが『楽器との一体感』に掲載されている。
教芸	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、演奏家から音楽や楽器に対するメッセージが『さっきのドラムソロやったの、誰だ?』に、演奏家や音楽・文芸批評家による学習者へのメッセージが『音楽って何だろう?』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、SDGsと関連する人や国の不平等をなくす内容が『発展「吹く楽器の仲間たち」』に、「共生」について、音楽を通じて人と人とのつながりを生み出す取組が『ストリート・ピアノ』に掲載されている。
教芸	[思いやる力]の「共生」について、音楽に取り組み、共演する様子の写真が『伝統の枠を超えて活躍する和楽器』に、社会における音楽の役割や関わりが『じぶんの、そして、ひとのもの』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
教出	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、全体の響きを感じ取りながら表現する合奏曲が『シチリアーナ』に掲載され、世界の楽器や、楽器の音色や響きを生かした音楽文化に関する内容が『LET'S PLAY MUSIC!』に掲載されている。
教芸	[たくましく生きる力]の「コミュニケーション能力」について、音楽を通したコミュニケーションとして合奏する楽譜が『小さな恋のうた』に掲載され、音楽を通したコミュニケーションの考え方が、巻頭の『じぶんの、そして、ひとのもの』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の祭りで太鼓を演奏する取組が『音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ』に掲載されている。
教芸	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、生活や社会の中の音や音楽と自分たちとのつながりが『楽しもう!和楽器の音楽』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
教出	主体的・対話的で深い学びについて、新しい運指や練習曲、まとめ・ふりかえりの学習活動が【曲想と音楽の構造との関わりを理解したり、他のパートと合わせて演奏する技能を身につけたりしながら、表現を工夫しよう】に設定され、楽器の特徴を踏まえて考えたことを話し合う学習活動が【表現の仕方を調べてみよう PART-1】に設定されている。
教芸	主体的・対話的で深い学びについて、曲の特徴を捉えて意見交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定され、学習のねらいや教材の関連性を表記した内容が『「中学生の器楽」の学習内容』に掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
教出	カリキュラム・マネジメントについて、楽器の背景にある文化や伝統、楽器と形との関係を調べたり考えたりする学習活動が【弾く楽器の仲間たち】に設定されている。
教芸	カリキュラム・マネジメントについて、楽器の歴史や成り立ち、楽器の背景にある文化や伝統を理解する学習活動が【楽器を知ろう】に設定されている。
○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。	
⑨ 言語能力の確実な育成	
教出	言語能力の育成について、共通点や相違点を考え意見を交流する学習活動が【表現の仕方を調べてみようPART-2】に設定されている。
教芸	言語能力の育成について、音楽表現の違いや楽曲の構成に関して意見を交流する学習活動が【曲の構成を捉えよう】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓の5種類の和楽器の楽曲が『基本的な奏法を身につけたりしながら表現しよう』に掲載されている。
教芸	伝統や文化に関する教育の充実について、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器の楽曲が『吹いてみよう』や『弾いてみよう』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
教出	体験活動の充実について、打楽器と唱歌によるお囃子を創作する学習活動が【楽器と唱歌によるパッチワーク】に、構成を考えたり、旋律を創作したりして合奏する学習活動が【音のスケッチ】に設定されている。
教芸	体験活動の充実について、三味線と唱歌や太鼓・小鼓のパート、掛け声を演奏する学習活動が【「寄せの合方」によるリズムアンサンブル】に、口三味線を歌う学習活動が【こきりこ】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
教出	学校段階の円滑な接続について、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指や音高、音色を確認する学習活動が【しりとりの歌】や【喜びの歌】に設定されている。
教芸	学校段階の円滑な接続について、運指や音高、音色を確認する学習活動が【喜びの歌】や【かっこう】に設定されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
教出	情報活用能力の育成について、音源や演奏する場面の写真を活用して、楽器の発音の仕組みや音色の特徴を比較する学習活動が【表現の仕方を調べてみようPART-1】に設定されている。
教芸	情報活用能力の育成について、創作ツールを活用して箏の旋律をつくる学習活動が【My Melody】に設定されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、写真を用いたギターとキーボードのコード表の『ギター&キーボードコード表』に掲載されている。
教芸	生徒の学習上の困難さへの対応について、イラストを用いた『ギター／キーボード表』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【見る】【聴く】【知る】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教芸	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【動画】【音源】【創作ツール】【文章、ワークシート】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、〔共通事項〕をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫が配慮がなされているか。	
教出	主体的・協働的な学習について、音楽を形づくっている要素を取り上げ、話し合いを通して構成を考えて合奏する学習活動が【どこかの街で不思議な旋律PART-1】に設定され、楽器の特徴を踏まえて、共通点や相違点を考える学習活動が【表現の仕方を調べてみようPART-1】に掲載されている。
教芸	主体的・協働的な学習について、音楽を形づくっている要素を取り上げ、話し合いを通して表現を考えて演奏する学習活動が【アーティキュレーションを工夫しよう】に設定され、パートの旋律やリズムの特徴を確かめながら役割を考える学習活動が【パートの役割を考えよう】に設定されている。
⑰ 「A表現」や「B鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されているか。	
教出	系統的・発展的な配列について、楽器ごとに前半には基礎的な技能の習得が『たこたこあがれ』に掲載され、後半には応用的な曲や既習の楽器を組み合わせた楽曲が『子守歌』に掲載されている。
教芸	系統的・発展的な配列について、楽器ごとに前半には基礎的な技能の習得が『カントリー ロード』に掲載され、後半には応用的な曲や既習の楽器を組み合わせた楽曲が『大きな古時計』に掲載されている。
⑱ 音楽文化の理解について、多様な音楽を、身の回りの生活や社会と関連させながら学習するための工夫や配慮がなされているか。	
教出	音楽文化の理解について、文化や生活様式との関わりについて考える学習活動が【弾く楽器の仲間たち】に設定され、世界の楽器やその特徴を生かした音楽文化に関する写真が『LET'S PLAY MUSIC!』に掲載されている。
教芸	音楽文化の理解について、和楽器や郷土の芸能を考える学習活動が【私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能】に設定され、和楽器において、楽器の奏法、姿勢や礼儀などに関する内容が『楽しもう！和楽器の音楽』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
教出	本編は、リコーダー、篠笛、尺八、ギター、箏、三味線、太鼓の順に各楽器が配置され、後半には各楽器の重奏曲、箏の縦譜、ギターのTAB譜、コード表、創作課題が掲載されている。
教芸	本編は、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器の順に各楽器が配置され、後半には各楽器の重奏曲、箏の縦譜、三味線の文化譜、楽器の図鑑、創作課題が掲載されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
教出	判型はA B変型判が採用されている。
教芸	判型はA B変型判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
教芸	『全ての生徒の色覚特性に適應することを目指してデザインしています。』『特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

①	題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
	教出	掲載なし
	教芸	掲載なし

②	一冊ごとの重量（g）	
	冊数	重量（g）
	教出	1 220
	教芸	1 218

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《美術(美術)》

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-8)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	美術
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『用具を知って使ってみよう』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、発想や構想の手掛かりが『発想・構想のヒント』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したメッセージが『美術と共に生きていく』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「豊かな心」について、インクルーシブな社会の実現に向けたデザインの意味や役割を考える学習活動が【つながるデザイン】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「責任感」について、美術を通じた持続可能な世界をめざす取組が『持続可能な未来へ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と向き合っ表現する学習活動が【自分と向き合う】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとまりごとに何をどう表現するのか『自分の思いを表そう』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する学習活動が【美術史の扉】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、作品を比べて違いを話し合う学習活動が【印象派の表現の広がり】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、仏像彫刻の造形の特徴や空間の構成を考える学習活動が【仏像が表す世界】に設定されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、自然の材料の生かし方を考え遊ぶものをつくる学習活動が【つくって体感みんなで体験】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科での学習の振り返りが『図画工作から美術へ』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作物の利用の仕方が『著作権を知ろう』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動の進め方がキャラクターの吹き出しに掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【語る彫刻】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることにについて、漫画と文化財との表現のつながりが『私たちに身近な美術』に掲載されている。 ⑰ ☐ 自分らしい思いや考えをもつことにについて、表現及び鑑賞の題材に、何に注目するのかやどのように思考するのか『発想・構想』に掲載されている。 ⑱ ☐ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、[共通事項]の学習内容を関連させることにについて、空間や光の表現から、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【私が見つめた風景】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 美術1は20題材、美術2・3は37題材。それぞれの題材は1ページから8ページで構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪美術(美術)≫

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-8)を参照。

発行者の略称	光村	書名	美術
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんな材料でつくる?』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アイデアを生み出すきっかけが『発想のしかたはさまざま』に掲載されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義につながる詩が『うつくしい!』に掲載されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「豊かな心」について、ユニバーサルデザインの特徴や役割を考える学習活動が【みんなのためのデザイン】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「責任感」について、美術を通じたよりよい未来へ向けた問いが『私たちに問いかける美術』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、自己の内面を見つめ、今や将来の自分を表現する学習活動が【今の自分、これからの自分】に設定されている。
3 内容と構成			≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとまりごとに何をどう表現するのか『「絵や彫刻」の世界』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連する学習活動が【響き合う形と色】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、作品から物語を想像して話し合う学習活動が【「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の文化や表現の特徴について考える学習活動が【日本の絵画を楽しむ五つのキーワード】に設定されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、自然の材料に触れ、生活に使うものをつくる学習活動が【木と親しむ暮らし】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科の学びを生かすことが『美術の扉を開こう』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の説明が『学習を支える資料一覧』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、生徒の学習活動の過程が『みんなの工夫』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【「最後の晚餐」を鑑賞しよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることについて、生徒が生活の中の瞬間や風景を撮影した作品が『うつくしい!を探してみよう』に掲載されている。 ⑰ ☐ 自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に注目するのかやどのように思考するのか『表現 発想・構想』に掲載されている。 ⑱ ☐ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、[共通事項]の学習内容を関連させることについて、色づかいや構図をもとに、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【心ひかれるこの風景】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 美術1は27題材、美術1資料は17題材、美術2・3は34題材。それぞれの題材ページは1ページから8ページで構成されており、1題材のみ16ページで構成されている。 ⑳ ☐ 判型は美術1と美術2・3にA4変型判が採用されている。美術1資料にA4判が採用されている。 ㉑ ☐ 『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン/人権教育/外国人児童生徒等教育/防災教育』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《美術(美術)》

※詳細については、資料Ⅱ(美術-4～美術-8)を参照。

発行者の略称	日文	書名	美術 学びの探求と未来
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんなふうに描きたい?』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、どのように発想や構想をするのか『発想・構想の手立て②』に掲載されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したオリエンテーションが『学びの実感と深まり』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □「思いやる力」の「豊かな心」について、社会や暮らしの中での美術の働きを考える学習活動が【デザインの力でできること】に設定されている。 ⑤ □「たくましく生きる力」の「責任感」について、美術を通じて環境問題を投げかける作品が『問題を提起する力』に掲載されている。 ⑥ □「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と対話して表現する学習活動が【わたし自身を見つめて】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとまりごとに何をどう表現するのか『絵や彫刻との出会い』に掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連する学習活動が【住み続けられる町づくり】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、作品の見え方の変化を話し合う学習活動が【屏風、美のしかけ】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の美意識や技を考える学習活動が【日本の技と心を受け継いで】に設定されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、自然の材料で染めたり、身に付けるものをつくったりする学習活動が【自分を表現する色】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科と中学校の3年間の学びのつながりが『ようこそ美術の学びへ』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の考え方が『動画で表現する』に掲載されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動での作品の見方が『造形的な視点』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【瞬間の美しさを形に】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、生徒が暮らしの中の発見や喜びを撮影した作品が『あなたの美を見つけて』に掲載されている。 ⑰ □ 自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に着目するのかやどのように思考するのか『鑑賞の入り口』に掲載されている。 ⑱ □ 「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、[共通事項]の学習内容を関連させることについて、イメージや構図に着目し、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【なぜか気になる情景】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 美術1は35題材、美術2・3上は29題材、2・3下は24題材。それぞれの題材ページは1ページから6ページで構成されている。 ⑳ □ 判型はA4変型判が採用されている。 ㉑ □ 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《美術(美術)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
開隆堂	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『用具を知って使ってみよう』や『量感の表現』に掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんな材料でつくる?』や『どうやって描く?』に掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、基礎的な知識や技能が『どんなふうに描きたい?』や『立体を描く』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、発想や構想の手掛かりが『発想・構想のヒント』に、鑑賞の方法が『鑑賞ってなんだろう』に掲載されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アイデアを生み出すきっかけが『発想のしかたはさまざま』に、鑑賞で使う言葉が『美術鑑賞を楽しむ手がかり』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、どのように発想や構想をするのか『発想・構想の手立て②』に、鑑賞の対象が『鑑賞との出会い』に掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したメッセージが『美術と共に生きていく』に、各題材の学びの目標が『学習の目標』に掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義につながる詩が『うつくしい!』に、各題材の学びの目標が『目標』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、創造活動の喜びや美術の学びの意義を示したオリエンテーションが『学びの実感と深まり』に、各題材の学びの目標が『学びの目標』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
開隆堂	[思いやる力]の「豊かな心」について、インクルーシブな社会の実現に向けたデザインの意味や役割を考える学習活動が【つながるデザイン】に設定されている。また、一人ひとりの絵を貼り合わせた作品が『クラス生徒図鑑』に掲載されている。
光村	[思いやる力]の「豊かな心」について、ユニバーサルデザインの特徴や役割を考える学習活動が【みんなのためのデザイン】に設定されている。また、色覚の特性による見え方や配色の方法が『色の効果と配色』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「豊かな心」について、社会や暮らしの中での美術の働きを考える学習活動が【デザインの力でできること】に設定されている。また、デザイナーのインタビューが『文字から考える他者のためのデザイン』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
開隆堂	[たくましく生きる力]の「責任感」について、美術を通じた持続可能な世界をめざす取組が『持続可能な未来へ』に、修理をしながら装飾する技法が『器を使い続ける工夫』に掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「責任感」について、美術を通じたよりよい未来へ向けた問いが『私たちに問かける美術』に、防災のためにデザインされた作品が『防災の知識を身につける』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「責任感」について、美術を通じて環境問題を投げかける作品が『問題を提起する力』に、自然の物や廃材の利用が『材料は身の回りで探そう』に掲載されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
開隆堂	「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と向き合って表現する学習活動が【自分と向き合う】に設定されている。また、美術の学びと将来や社会とのつながりが『美術と私と社会』に掲載されている。
光村	「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、今や将来の自分を表現する学習活動が【今の自分、これからの自分】に設定されている。また、社会の中での美術の力や働きが『美術の力』に掲載されている。
日文	「社会とかかわる力」の「生きること」について、自己の内面を見つめ、自分と対話して表現する学習活動が【わたし自身を見つめて】に設定されている。また、美術の学びが社会でどのように生きるかが『社会に生きる美術の力』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりごとに何をどう表現するのが『自分の思いを表そう』や『つくることでつながる』に掲載されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりごとに何をどう表現するのが『「絵や彫刻」の世界』や『「デザインや工芸」の世界』に掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、学習のまとめりごとに何をどう表現するのが『絵や彫刻との出会い』や『デザインや工芸との出会い』に掲載されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすい工夫や配慮など)	
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連する学習活動が【美術史の扉】に、技術・家庭科と関連する学習活動が【ずっと木といっしょに】に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連する学習活動が【響き合う形と色】に、数学科と関連する学習活動が【地域の魅力を表すパッケージ】に設定されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、道徳科と関連する学習活動が【住み続けられる町づくり】に、社会科と関連する学習活動が【原始の美に出会う旅】に設定されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
開隆堂	言語能力の育成について、作品を比べて違いを話し合う学習活動が【印象派の表現の広がり】に設定されている。また、感じたことを言葉とともに残したスケッチが『スケッチや記録をとる』に掲載されている。
光村	言語能力の育成について、作品から物語を想像して話し合う学習活動が【「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏場」を鑑賞しよう】に設定されている。また、言葉で考えを広げたり整理したりする方法が『発想・構想のために』に掲載されている。
日文	言語能力の育成について、作品の見え方の変化を話し合う学習活動が【屏風、美のしかけ】に設定されている。また、日常生活の中の色や形を言葉とともに残した記録が『アイデアをストックしておこう』に掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、仏像彫刻の造形の特徴や空間の構成を考える学習活動が【仏像が表す世界】に、日本の表現がどのように西洋の作品に影響を与えたのかを考える学習活動が【時代と文化を越えて】に設定されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の文化や表現の特徴について考える学習活動が【日本の絵画を楽しむ五つのキーワード】に、世界各地の文様から共通点を話し合う学習活動が【暮らしをいろどる文様】に設定されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の美意識や技を考える学習活動が【日本の技と心を受け継いで】に、日本や西洋の文化財の修復から美術文化の継承と創造について考える学習活動が【どこまで修復すべきか】に設定されている。

⑪ 体験活動の充実	
開隆堂	体験活動の充実について、自然の材料の生かし方を考え遊ぶものをつくる学習活動が【つくって体感みんなで体験】に、展覧会の企画や告知をする学習活動が【展覧会をつくる】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、自然の材料に触れ、生活に使うものをつくる学習活動が【木と親しむ暮らし】に、友だちと協力して描く学習活動が【あれ？どうなっているの】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、自然の材料で染めたり、身に付けるものをつくったりする学習活動が【自分を表現する色】に、友だちと模様の組み合わせを考える学習活動が【つなげて広がる模様の世界】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科での学習の振り返りが『図画工作から美術へ』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科の学びを生かすことが『美術の扉を開こう』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、小学校図画工作科と中学校の3年間の学びのつながりが『ようこそ美術の学びへ』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
開隆堂	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作物の利用の仕方が『著作権を知ろう』に、著作権や肖像権の説明が『これってどう撮るの』に掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の説明が『学習を支える資料一覧』に、インターネット上の画像データについての留意点が『端末を活用する』に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、作者や作品の創造性を尊重することや著作権や肖像権の考え方が『動画で表現する』に、写真を撮影するときの留意点が『写真で表現する』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動の進め方がキャラクターの吹き出しに、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、生徒の学習活動の過程が『みんなの工夫』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書を活用しよう』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習活動での作品の見方が『造形的な視点』に、題材ページの構成やマークの意味が『教科書の使い方』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【語る彫刻】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【「最後の晩餐」を鑑賞しよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【瞬間の美しさを形に】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされているか。	
開隆堂	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、漫画と文化財との表現のつながりが『私たちに身近な美術』に、美術館での鑑賞の方法が『美術館へ行こう』に掲載されている。
光村	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、生徒が生活の中の瞬間や風景を撮影した作品が『うつくしい！を探してみよう』に、一日の生活の中にあるデザインや工芸品が『暮らしの中のデザイン・工芸』に掲載されている。
日文	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることに、生徒が暮らしの中の発見や喜びを撮影した作品が『あなたの美を見つけて』に、芸術は暮らしの中にあるものという考えが『岡本太郎“芸術はみんなのもの”』に掲載されている。

⑪	生徒が自ら主題を生み出して表現したり、自ら造形的な見方や考え方を働かせて鑑賞したりできるよう、表現及び鑑賞の題材に、自分らしい思いや考えをもつための工夫や配慮がなされているか。	
	開隆堂	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に注目するのかやどのように思考するのが『発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。
	光村	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に注目するのかやどのように思考するのが『表現 発想・構想』や『鑑賞』に掲載されている。
	日文	自分らしい思いや考えをもつことについて、表現及び鑑賞の題材に、何に注目するのかやどのように思考するのが『鑑賞の入り口』や『表現のヒント』に掲載されている。
⑫	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされているか。	
	開隆堂	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、空間や光の表現から、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【私が見つけた風景】に、形と色彩を手掛かりに作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【怒り、悲しみ、叫びのゆくえ】に設定されている。
	光村	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、色づかいや構図をもとに、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【心ひかれるこの風景】に、作風の変化や作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【「ゲルニカ」を鑑賞しよう】に設定されている。
	日文	「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を関連させることについて、イメージや構図に着目し、造形的なよさや美しさを考える学習活動が【なぜか気になる情景】に、物の組み合わせやタッチに着目し、作者の表現の意図と工夫を考える学習活動が【あの日を忘れない】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬	各内容の分量とその配分は適切であるか。	
	開隆堂	美術1は20題材、美術2・3は37題材。それぞれの題材は1ページから8ページで構成されている。
	光村	美術1は27題材、美術1資料は17題材、美術2・3は34題材。それぞれの題材ページは1ページから8ページで構成されており、1題材のみ16ページで構成されている。
	日文	美術1は35題材、美術2・3上は29題材、2・3下は24題材。それぞれの題材ページは1ページから6ページで構成されている。
⑭	体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
	開隆堂	判型はA4変型判が採用されている。
	光村	判型は美術1と美術2・3にA4変型判が採用されている。美術1資料にA4判が採用されている。
	日文	判型はA4変型判が採用されている。
⑮	文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
	開隆堂	『カラーユニバーサルデザインの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。
	光村	『全てのページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン/人権教育/外国人児童生徒等教育/防災教育』と表記されている。
	日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

開隆堂	美術 1	17ページ	『朝涼』（鎌倉市鎌木清方記念美術館）
	美術 1	42ページ	『横浜市き章』（横浜市）
	美術 1	47ページ	『間伐材からつくられた食器』
	美術 2・3	65ページ	『横須賀美術館のオリジナルピクトグラム「よこすかくん」』（横須賀美術館）
	美術 2・3	88ページ	『工場地帯の夜景』
	美術 2・3	117ページ	『富嶽三十六景 相州梅澤左』
光村	美術 1	12ページ	『横たわる像：アーチ状の足』（彫刻の森美術館）
	美術 1	50ページ	『ロゴマーク』（横須賀美術館）
	美術 1	67ページ	『横浜トリエンナーレ』（横浜市）
	美術 1	67ページ	『さがみ風っ子展』（相模原市）
	美術 2・3	6ページ	『安全な通行』（横浜美術館）
	美術 2・3	26ページ	『縄文人』（川崎市岡本太郎美術館）
	美術 2・3	40ページ	『富嶽三十六景神奈川沖浪裏』
	美術 2・3	47ページ	『浮かぶ彫刻 3』（彫刻の森美術館）
	美術 2・3	58ページ	『立てる像』（神奈川県立近代美術館）
	美術 2・3	67ページ	『海辺の母子像』（ポーラ美術館）
日文	美術 2・3	89ページ	『サブレのパッケージ』（鎌倉市）
	美術 2・3	102ページ	『鎌倉彫』（鎌倉市）
	美術 1	45ページ	『地域のマーク』（川崎市）
	美術 1	74ページ	『横浜美術館』
	美術 2・3 上	20ページ	『跳ぶ』（川崎市岡本太郎美術館）
	美術 2・3 上	26ページ	『「富嶽三十六景」より神奈川沖浪裏』
	美術 2・3 上	31ページ	『睡蓮の池』（ポーラ美術館）
	美術 2・3 上	51ページ	『坐ることを拒否する椅子』（川崎市岡本太郎美術館）
	美術 2・3 下	21ページ	『横たわる像：アーチ状の足』（彫刻の森美術館）
	美術 2・3 下	50ページ	『造形さがみ風っ子展』（相模原市）
	美術 2・3 下	51ページ	『あつぎキッズゲルニカ』（厚木市）
	美術 2・3 下	56ページ	『水月観音坐像』（鎌倉市東慶寺）
	美術 2・3 下	58ページ	『鎌倉彫』（鎌倉市）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	1年	1年別冊	2・3年	2・3年上	2・3年下
開隆堂	2	276		476		
光村	3	296	134	406		
日文	3	292			256	242

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育(保健体育)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の手順をフローチャートで示した学習活動が【スキル3実習】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習したことを活用して考える学習活動が【活用する】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【広げる】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や人種などを越えたスポーツの取組が『人々を結び付けるスポーツ』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「健康教育」について、がんの早期発見が、その後の治療や回復において重要であることを示す資料を活用した学習活動が【がんの早期発見と回復】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「ボランティア活動」について、災害時における生活の変化と自分たちにできることが『避難所生活とボランティア』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、道徳科)の学習内容を示すマークが『章の扉』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、思考ツールを活用して人的要因と環境要因から事故や傷害が起きた原因と対策を考える学習活動が【傷害の発生要因】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツ基本法におけるスポーツの文化的意義の定義が『スポーツの文化的意義』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、直接圧迫止血法や包帯法を行う学習活動が【スキル2実習】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章の扉』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットによるコミュニケーションとトラブルへの対処についての内容が『巻末スキルブック』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、複数の考え方や気づきを示すキャラクターが『健康の成り立ちと疾病の発生要因』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【危険回避の方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。 ⑰ ☐ 健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、資料を見て気づいたことを基に喫煙の健康への影響を説明する学習活動が【喫煙の害と健康】に設定されている。 ⑱ ☐ 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、健康課題について考える学習活動が【保健の学習を振り返ろう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育(保健体育)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-10)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	中学校保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の流れと方法を連続写真で示した学習活動が【心肺蘇生法の手順】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を参考にして考える学習活動が【やってみよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【つかもう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や性別、年齢の違いをこえたスポーツの取組が『運動やスポーツの多様な楽しみ方』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「健康教育」について、がんの早期発見のために、がん検診を呼びかけるポスターを活用した学習活動が【がんの早期発見のために】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「ボランティア活動」について、災害時に中学生が避難所でできることを見つけ取り組んだことが『避難所でできることを考えよう。』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の学習の主な流れ』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、技術科)の学習内容を示すマークが『他教科』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、思考ツールを活用して健康の保持増進について考える学習活動が【学びを活かそう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツは世界共通の文化として発展し続けているということが『スポーツの文化的意義』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、止血や外傷のための応急手当を行う学習活動が【やってみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『扉』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、健全で安全な生活を送るためのスマートフォンの使い方が『私たちの生活とスマートフォン』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、章ごとのキーワードが示されているページが『学習のまとめく重要な言葉』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【外傷の応急手当】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。 ⑰ ☐ 健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、20歳未満での喫煙がなぜ法律で禁止されているか話し合う学習活動が【喫煙と健康】に設定されている。 ⑱ ☐ 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、学習を生活の中で実践する学習活動が【これからの生活に向けて】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はB5変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育(保健体育)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-10)を参照。

発行者の略称	大修館	書名	最新 中学校保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法を行う際の技能ポイントを示した学習活動が【実習 心肺蘇生法】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自身の生活や経験を基に表現する学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【章のまとめ】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「共生」について、障がいの有無や性別、年齢の違いをこえて、生き生きとした人生を送ることができる社会の実現をめざす取組が『共生社会をつくるために』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの早期発見のために、がん検診を促す取組を活用した学習活動が【がんの早期発見をうながす活動】に設定されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、ボランティアやスポーツを支える活動といったスポーツへのかかわり方が『運動やスポーツへのかかわり方』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・科目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる3つの学習過程が『この教科書の使い方』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、家庭科)の学習内容を示すマークが『他教科』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、思考ツールを活用して運動やスポーツとのかかわり方を考える学習活動が【章のまとめ】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、人々が考える運動やスポーツの価値が『現代生活におけるスポーツの意義』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、止血法や包帯法、固定法を行う学習活動が【実習 止血法、包帯法、固定法】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章とびら』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットやメールの犯罪被害について取り上げたネットワーク利用犯罪の危険性が『犯罪被害から身を守ろう』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、複数の考え方や気づきを示すキャラクターが『現代生活におけるスポーツの意義』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【リラクゼーションの方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・科目別の観点》(それぞれの教科・科目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、出典一覧に調査実施年、出典が掲載されている。 ⑰ ☐ 健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、ノンアルコール飲料でも20歳未満の人はお店で購入できない理由を話し合う学習活動が【飲酒と健康】に設定されている。 ⑱ ☐ 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分の生活に生かしたいことを振り返る学習活動が【保健⑥の学習への取り組みを振り返ろう。】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 保健①～⑥、体育理論①『運動やスポーツの多様性』②『運動やスポーツの効果・学び方・安全』③『文化としてのスポーツ』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育(保健体育)》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-10)を参照。

発行者の略称	学研	書名	新・中学保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法を実施する際のチェック項目を示した学習活動が【実習 心肺蘇生法】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自身の生活や資料を基に考える学習活動が【エクササイズ 課題の解決】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【生かそう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「共生」について、障がい者スポーツによる複数の人とのかかわりが『スポーツでつながる世界』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの治療やがん患者と共に生きることを取り上げた学習活動が【探究しようよ！】に設定されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、地域での見まわり活動やごみ拾い登校が『関わり合って生きる私たち』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科)の学習内容を示すマークが『関連』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、思考ツールを活用してストレス状態の程度やストレスの解消法について調べる学習活動が【探究しようよ！】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツ基本法において、スポーツは世界共通の人類の文化であるということが『スポーツの文化的意義』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、止血法・包帯法・固定法を行う学習活動が【実習 きずの手当】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高等学校で学習することが『章の扉』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットやSNSを通じた犯罪の事例を通して考える学習内容が『探究しようよ！』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、課題への気づきを示すキャラクターが『喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。 ⑰ ☐ 健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、資料を見て気づいたことを基に喫煙の害から健康を守る取組について意見を出し合う学習活動が【喫煙と健康】に設定されている。 ⑱ ☐ 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、共に健康に生きる社会に向けて考える学習活動が【保健体育の学習の終わりに】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 保健編6章、体育編3章『スポーツの多様性』『スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツ』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《保健体育(保健体育)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の手順をフローチャートで示した学習活動が【スキル3 実習】に、各章末に学習した内容を確認する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の流れと方法を連続写真で示した学習活動が【心肺蘇生法の手順】に、各章末に学習した内容を確認する学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
大修館	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法を行う際の技能ポイントを示した学習活動が【実習 心肺蘇生法】に、各章末に学習した内容を確認する学習活動が【章のまとめ】に設定されている。
学研	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法を実施する際のチェック項目を示した学習活動が【実習 心肺蘇生法】に、各章末に学習した内容を振り返る学習活動が【章のまとめ】に設定されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習したことを活用して考える学習活動が【活用する】に、資料を基に考えたり話し合ったりする学習活動が【運動と健康】に設定されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、資料を参考にして考える学習活動が【やってみよう】に、単元の導入において、学習前の自分の考えを整理する学習活動が【つかもう】に設定されている。
大修館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自身の生活や経験を基に表現する学習活動が【課題をつかむ】に、学習したことを基に考えを伝えたり、日常生活に生かすための学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自身の生活や資料を基に考える学習活動が【エクササイズ 課題の解決】に、各単元の最後に学んだことを基にして取り組む学習活動が【学びを生かす】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【広げる】や【学習のまとめ】に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【つかもう】や【学びを活かそう】に設定されている。
大修館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【章のまとめ】や【学習のまとめ】に設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日常生活で生かすための学習活動が【生かそう】や【1年の学習の終わりに】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や人種などを超えたスポーツの取組が『人々を結び付けるスポーツ』に、災害の被害を少なくするために必要な自助・共助・公助の考え方が『地域のきずな』に掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や性別、年齢の違いをこえたスポーツの取組が『運動やスポーツの多様な楽しみ方』に、世界の人々の健康を支える取組が『世界の人々の健康を支える取り組み』に掲載されている。
大修館	[思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や性別、年齢の違いをこえて、生き生きとした人生を送ることができる社会の実現をめざす取組が『共生社会をつくるために』に、誰とでもプレイできるポッチャが『みんなで楽しむポッチャ』に掲載されている。
学研	[思いやる力]の「共生」について、障がい者スポーツによる複数の人とのかわりが『スポーツでつながる世界』に、多様な性意識が存在する中で、お互いを尊重した関係を目指す内容が『性の多様性』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの早期発見が、その後の治療や回復において重要であることを示す資料を活用した学習活動が【がんの早期発見と回復】に設定されている。また、生活習慣病を予防するための社会の取組が『読み物 メタボ健診』に掲載されている。
大日本	「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの早期発見のために、がん検診を呼びかけるポスターを活用した学習活動が【がんの早期発見のために】に設定されている。また、心の健康な人が生活の中で体験することに積極的に取り組む様子が『心の健康な人』に掲載されている。
大修館	「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの早期発見のために、がん検診を促す取組を活用した学習活動が【がんの早期発見をうながす活動】に設定されている。また、ストレスが心身に及ぼす影響の例が『ストレスの2つの側面』に掲載されている。
学研	「たくましく生きる力」の「健康教育」について、がんの治療やがん患者と共に生きることを取り上げた学習活動が【探究しよう！】に設定されている。また、リラクゼーションの方法やストレスへの対処の仕方が『ストレスへの対処の仕方の例』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、災害時における生活の変化と自分たちができることが『避難所生活とボランティア』に、SDGsに取り組む町として、住民の協力による分別回収が『SDGsに取り組む町』に掲載されている。
大日本	「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、災害時に中学生が避難所でできることを見つけ取り組んだことが『避難所でできることを考えよう。』に、スポーツへのかかわり方として、スポーツボランティアの取組が『運動やスポーツへの多様な関わり方』に掲載されている。
大修館	「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、ボランティアやスポーツを支える活動といったスポーツへのかかわり方が『運動やスポーツへのかかわり方』に、監視の目が行き届くための対策としての防犯ボランティアの見まわり活動が『犯罪被害から身を守ろう』に掲載されている。
学研	「社会とかかわる力」の「ボランティア活動」について、地域での見まわり活動やごみ拾い登校が『関わり合って生きる私たち』に、スポーツを支える取組が『スポーツへの多様な関わり方』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。また、習得した知識・技能を生かして考える学習活動が【活用する】に設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる6つの学習過程が『1時間の学習の主な流れ』に掲載されている。また、1時間ごとに学習を通して解決したい課題を確認する学習活動が【学習のねらい】に設定されている。
大修館	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる3つの学習過程が『この教科書の使い方』に掲載されている。また、これまでの経験や学習を思い出しながら、問題を解いたり意見を出し合ったりする学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、毎時間の学習の見通しとなる5つの学習過程が『1時間の主な流れ』に掲載されている。また、1時間の最後に主体的に取り組めたかどうかを自己評価する学習活動が【とりくメーカー】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、道徳科)の学習内容を示すマークが『章の扉』に、地域の人材を活用した取組や交流が『防災を通して深める地域のきずな』に掲載されている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、技術科)の学習内容を示すマークが『他教科』に、防犯ボランティアや街頭緊急通報装置の写真が『地域で安全を守る取り組み』に掲載されている。
大修館	カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科、家庭科)の学習内容を示すマークが『他教科』に、体育実技との関連を示す内容が『体育の窓』に掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、関連する他教科(理科、社会科)の学習内容を示すマークが『関連』に、教科横断的な学習内容が『キーワードで見る 保健体育の学習内容』に掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、思考ツールを活用して人的要因と環境要因から事故や傷害が起きた原因と対策を考える学習活動が【傷害の発生要因】に、学習内容を振り返り、ワークシートにまとめる学習活動が【調和のとれた生活】に設定されている。
大日本	言語能力の育成について、思考ツールを活用して健康の保持増進について考える学習活動が【学びを活かそう】に、意見を出し合い、書いたりまとめたりする学習活動が【野外活動の安全な行い方を考えよう。】に設定されている。
大修館	言語能力の育成について、思考ツールを活用して運動やスポーツとのかかわり方を考える学習活動が【章のまとめ】に、1時間の終わりに、考えたことを書き込むワークシートを活用した学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学研	言語能力の育成について、思考ツールを活用してストレス状態の程度やストレスの解消法について調べる学習活動が【探究しよう！】に、がんを予防するためのメッセージカードを作って、周りの人と交流する学習活動が【学びを生かす】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツ基本法におけるスポーツの文化的意義の定義が『スポーツの文化的意義』に、スポーツが人々を結びつけるための取組が『違いを超えるさまざまなスポーツ現場』に掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツは世界共通の文化として発展し続けているということが『スポーツの文化的意義』に、スポーツは人々を結びつける文化的なはたらきを持っているということが『人々を結びつけるスポーツ』に掲載されている。
大修館	伝統や文化に関する教育の充実について、人々が考える運動やスポーツの価値が『現代生活におけるスポーツの意義』に、スポーツが生活を豊かにするという事例が『元Jリーガーの挑戦』に掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、スポーツ基本法において、スポーツは世界共通の人類の文化であるということが『スポーツの文化的意義』に、嘉納治五郎の精力善用や自他共栄の考え方が『ひと・もの・こと』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、直接圧迫止血法や包帯法を行う学習活動が【スキル2実習】に、自然災害による傷害の防止の視点で、災害時の防災タイムラインを作成する学習活動が【活用する】に設定されている。
大日本	体験活動の充実について、止血や外傷のための応急手当を行う学習活動が【やってみよう】に、犯罪の防止の視点で、自分の住んでいる地域の安全マップを作成する学習活動が【活用して深めよう】に設定されている。
大修館	体験活動の充実について、止血法や包帯法、固定法を行う学習活動が【実習 止血法、包帯法、固定法】に、インターネットを使って地域のハザードマップを調べる学習活動が【特集資料】に設定されている。
学研	体験活動の充実について、止血法・包帯法・固定法を行う学習活動が【実習 きずの手当】に、災害時に避難所への道順案内をする学習活動が【自然災害から身を守るために①】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【見つける】に設定されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【つかもう】に設定されている。
大修館	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高校で学習することが『章とびら』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【課題をつかむ】に設定されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したことや高等学校で学習することが『章の扉』に掲載されている。また、小学校で学んだことを振り返る学習活動が【ウォームアップ】に設定されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、インターネットによるコミュニケーションとトラブルへの対処についての内容が『巻末スキルブック』に、誤った性情報に惑わされないための注意点が『性情報への対処』に掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、健全で安全な生活を送るためのスマートフォンの使い方が『私たちの生活とスマートフォン』に、インターネットを利用した犯罪についての内容が『犯罪被害の防止』に掲載されている。
大修館	情報活用能力の育成について、インターネットやメールの犯罪被害について取り上げたネットワーク利用犯罪の危険性が『特集資料』に、自画撮り被害の事例が『コラム 自画撮り被害』に掲載されている。
学研	情報活用能力の育成について、インターネットやSNSを通じた犯罪の事例を通して考える学習内容が『探究しようよ！』に、性情報への対処と行動を身に付けるための学習内容が『学びを生かす』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、複数の考え方や気づきを示すキャラクターが『健康の成り立ちと疾病の発生病因』に、資料やグラフを読み取るための補足が『ポイント』に掲載されている。
大日本	生徒の学習上の困難さへの対応について、章ごとのキーワードが示されているページが『学習のまとめく重要な言葉』に、教科書の構成について示した内容が『この教科書の使い方』に掲載されている。
大修館	生徒の学習上の困難さへの対応について、複数の考え方や気づきを示すキャラクターが『現代生活におけるスポーツの意義』に、グラフを読み取るための補助説明が『資料』に掲載されている。
学研	生徒の学習上の困難さへの対応について、課題への気づきを示すキャラクターが『喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ』に、学びたいことや学んだことを文字や絵、写真などで表現するワークシートが『章の扉』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【危険回避の方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大日本	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【外傷の応急手当】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
大修館	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【リラクゼーションの方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【交通事故の防止】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。	
東書	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。（厚生労働省「令和3年エイズ発生動向年報」『HIV感染者・エイズ患者の新規報告数（日本国内）』、など）
大日本	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。（厚生労働省エイズ動向委員会「平成30年エイズ発生動向年報」『日本人のエイズ患者、HIV感染者報告数』、など）
大修館	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、出典一覧に調査実施年、出典が掲載されている。（厚生労働省エイズ動向委員会「令和3年エイズ発生動向年報」『HIV感染者とエイズ患者の報告数』、など）
学研	最新のデータを扱うことについて、単元の学習内容の中で使用されている資料には、その資料内に調査実施年、出典が掲載されている。（厚生労働省「エイズ発生動向年報」『HIV感染者の年齢層別・感染経路別内訳』2021年、など）

⑪ 生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。	
東書	健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、資料を見て気づいたことを基に喫煙の健康への影響を説明する学習活動が【喫煙の害と健康】に、自分に合った適切な生活習慣を身につけ、調和のとれた生活を送ることができるよう、他者の課題を解決するための学習活動が【まとめ】に設定されている。
大日本	健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、20歳未満での喫煙がなぜ法律で禁止されているか話し合う学習活動が【喫煙と健康】に、災害時に避難所でできることを話し合う学習活動が【学びを活かそう】に設定されている。
大修館	健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、ノンアルコール飲料でも20歳未満の人はお店で購入できない理由を話し合う学習活動が【飲酒と健康】に、暑さや寒さといった環境の変化への対処法について話し合う学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学研	健康・安全について他者に表現できるような学習活動について、資料を見て気づいたことを基に喫煙の害から健康を守る取組について意見を出し合う学習活動が【喫煙と健康】に、学習した内容や資料を基に、自身や他者の課題を解決する学習活動が【エクササイズ 課題の解決】に設定されている。
⑫ 生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、健康課題について考える学習活動が【保健の学習を振り返ろう】に、薬物乱用による心身への害を調べる学習活動が【広げる】に設定されている。
大日本	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、学習を生活の中で実践する学習活動が【これからの生活に向けて】に、薬物乱用が生活に及ぼす影響について考える学習活動が【活用して深めよう】に設定されている。
大修館	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分の生活に生かしたいことを振り返る学習活動が【保健⑥の学習への取り組みを振り返ろう。】に、薬物の誘惑への対処について話し合う学習活動が【学習のまとめ】に設定されている。
学研	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、共に健康に生きる社会に向けて考える学習活動が【保健体育の学習の終わりに】に、薬物乱用防止に関する情報を調べる学習活動が【学びを生かす】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。
大日本	保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。
大修館	保健①～⑥、体育理論①『運動やスポーツの多様性』②『運動やスポーツの効果・学び方・安全』③『文化としてのスポーツ』で構成されている。
学研	保健編6章、体育編3章『スポーツの多様性』『スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツ』で構成されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
大日本	判型はB 5変型判が採用されている。
大修館	判型はA B判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大修館	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
学研	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	73ページ 73ページ 99ページ	『歩道、自動車道、車道の分離』（神奈川県川崎市） 『車両が速度を出せないように工夫した道路』（神奈川県川崎市） 『飲酒開始年齢とアルコール依存症』（久里浜医療センター資料を基に作成）
大日本	85ページ 95ページ 97ページ	『喫煙や受動喫煙の害』（神奈川県） 『コミュニティ道路』（神奈川県横須賀市） 『街頭緊急通報装置』（神奈川県藤沢市）
大修館	口絵4ページ 口絵5・6ページ 口絵8ページ 8ページ 75ページ 79ページ 96ページ 110ページ 111ページ 129ページ 135ページ 150ページ 173ページ 173ページ 174ページ 177ページ	『東京箱根間往復大学駅伝競走 私たちの成長と運動やスポーツの広がり』 『共に生きる』 『クリーンなエネルギー』（神奈川県藤沢市） 『野球の試合における多様なかわり方』（横浜スタジアム） 『「増水注意」の看板』（神奈川県秦野市） 『生徒を喫煙の害から守る』（神奈川県小田原市） 『インターネット依存・ゲーム障害治療施設リスト（2020版）』 (https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/net_list.html) 『広域避難場所の標識』（神奈川県藤沢市） 『津波避難場所の標識』（神奈川県小田原市） 『先進的なスポーツ推進の取り組み』（神奈川県横浜市） 『みんなで楽しむポッチャ』（神奈川県藤沢市） 『水質検査』（神奈川県横浜市） 『衛生的な水道水が飲める仕組み』（神奈川県横浜市） 『コラム 日本で最初に敷かれた水道』（横浜、相模川） 『コラム 多摩川のアユ』（多摩川） 『学習のまとめ 防災ラジオ』（神奈川県藤沢市）
学研	4ページ 5ページ 6ページ 106ページ 113ページ 131ページ 139ページ 150ページ 159ページ 168ページ 181ページ 185ページ	『保健師』（神奈川県） 『健康運動施設の情報』（神奈川県川崎市） 『水とかがやく未来館』（神奈川県川崎市） 『想定される津波の高さ』（神奈川県） 『交通環境の整備の例 ゾーン30』（神奈川県横浜市） 『AIを用いて危険回避を図るアプリ』（神奈川県川崎市） 『スポーツ推進計画の例』（神奈川県横浜市） 『保健所のウェブサイト』（神奈川県横浜市） 『HIV/エイズ検査を知らせるウェブサイト』（神奈川県相模原市） 『学校内の空気や水の環境検査管理などを行う学校薬剤師』（神奈川県横浜市） 『大規模災害時のごみの出し方・し尿処理』（神奈川県横須賀市） 『風力発電』（神奈川県）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	重量（g）
東書	1	380
大日本	1	434
大修館	1	420
学研	1	412

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『エネルギー変換の技術の光と影』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で実践したことへの評価・改善を行う学習活動が【学習課題 問題解決を評価し、改善・修正しよう。】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【これからの材料と加工の技術について考えよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の保護』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化の例が『生活や社会の中の情報の技術の例』に掲載されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちの研究・開発を取り上げた内容が『すごいぞ！技術』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題発見例を示し、問題を見いだして課題を設定する学習活動が【学習課題 エネルギー変換の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程において機能や構造を構想図等に表す学習活動が【構想の具体化】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『林業の仕組み』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や動力伝達の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 木材を切ったり削ったりしよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、学習内容との関連する箇所小学校の教科、学年、単元名などを示したリンクマークが『小学校 理科6年 電気の利用』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や注意すべき点に関する内容が『情報モラル』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、文字入力やソフトウェアの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【TECH Lab】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『地域の特産物を未来につなげよう』に掲載されている。 ⑰ ☐ 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象を、立場の違いや異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【学習課題 生物育成の技術に関わる問題を見いだし、課題を設定しよう。】に設定されている。 ⑱ ☐ 生活や社会の中から問題を見いだし課題を設定し解決する学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決のプロセス』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 各編の1章は原理・法則としくみ、2章は問題解決、3章は社会の発展と技術に関する内容で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	教図	書名	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
1 教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『学ぶ 技術のプラス面とマイナス面』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で取り組んだことを振り返る学習活動が【やってみよう 2章で取り組んだ活動をふり返って、レポートにまとめてみよう。】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていきたいですか。】に設定されている。
2 かながわ教育 ビジョンとの 関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産』のマークに掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化の例として生活の中で使われている情報の技術が『身近にある情報の技術の利用例』に掲載されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのものづくりへの想いを取り上げた内容が『日本の技術を支える人々の想い』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題と解決する方法を示し、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【ステップ1 完成形をイメージしよう】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『関連』のマークが掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイディアから機能や材料を構想図等に表示する学習活動が【つくりたいものを具体化する】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『法隆寺の建築技術』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して機械や情報の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 自転車の保守点検をしてみよう。】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連を示した関連マークが『小学校 理科・社会・生活』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性を事例を示して取り上げた内容が『情報モラルと情報の扱い方』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、マウスやタブレットの操作法やファイルの管理などの基礎技能が『基本操作』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【基礎技能動画(切断)】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『題材例1 袋栽培で収穫する』に掲載されている。 ⑰ ☐ 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、複数の解決策を考える学習活動が【情報の技術のプラス面をいかし、マイナス面を克服するための技術の上手な活用法や、新しく開発したい技術を考えよう。】に設定されている。 ⑱ ☐ 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』に掲載されている。
4 分量・装丁 表記等			⑲ ☐ 各編の1章は知識・技能の習得に関すること、2章は問題解決に関すること、3章は社会の技術を評価することに関する内容で構成されている。 ⑳ ☐ 技能を掲載した別冊『スキルアシスト』とともに、A4変形判が採用されている。 ㉑ ☐ 『ユニバーサルデザインの考え方をとづいて編集されています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(技術分野-4～技術分野-8)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『スマートシティの可能性と課題』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決の結果や解決の過程を評価し改善したことを表現する学習活動が【問題解決のふり返しシート】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【やってみよう これからの情報の技術とその活用を考えてみよう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の考え方と活用』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による社会の変化について製品の進歩を取り上げた内容が『製品の進歩～買い物に関する計算の歴史～』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちをインタビュー形式で取り上げた内容が『interview』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイディアの詳細を検討し、構想図等に表示する学習活動が【詳細な設計の検討】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『姫路城』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連について示した小学校マークが『小学校 5年社会「水産業のさかんな地域」』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や情報を発信するときに注意する視点を取り上げた内容が『情報モラル』に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【両手引き(正面)】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『リーフレタスの溶液栽培』に掲載されている。 ⑰ ☐ 「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象として製品の例を取り上げて、異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう】に設定されている。 ⑱ ☐ 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する学習過程について、製作物を例に問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決の手順』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 各編の1は生活と社会の技術、2は問題解決、3はこれからの技術に関する内容で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭(技術分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『材料と加工の技術の光と影』や『エネルギー変換の技術の光と影』に掲載されている。
教図	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『学ぶ 技術のプラス面とマイナス面』や『プラス面の例、マイナス面の例』に掲載されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、技術が社会や環境と相互に影響するといった技術の概念に関する内容が『スマートシティの可能性と課題』や『仮想空間（メタバース）技術の可能性と課題』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で実践したことへの評価・改善を行う学習活動が【学習課題 問題解決を評価し、改善・修正しよう。】に設定されている。また、評価・改善の視点が『評価の観点の例』に掲載されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決で取り組んだことを振り返る学習活動が【やってみよう 2章で取り組んだ活動を振り返って、レポートにまとめてみよう。】に設定されている。また、評価・改善を行うチェックリストが『振り返り』に掲載されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決の結果や解決の過程を評価し改善したことを表現する学習活動が【問題解決の振り返りシート】に設定されている。また、評価・改善の視点が『問題解決の振り返り』に掲載されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【これからの材料と加工の技術について考えよう】や【これからのエネルギー変換の技術について考えよう】に設定されている。
教図	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【あなたは、これから材料と加工の技術とどのように向き合っていきたいですか。】や【あなたは、これからエネルギー変換の技術とどのように向き合っていきたいですか。】に設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性」の涵養について、持続可能な社会の実現に向けて考える学習活動が【やってみよう これからの材料と加工の技術とその活用を考えてみよう】や【やってみよう これからの情報の技術とその活用を考えてみよう】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の保護』や『知的財産の活用・創造』に掲載されている。
教図	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産』のマークや『知的財産や個人を守る権利や法律』に掲載されている。
開隆堂	[思いやる力]の「共生」について、知的財産の創造・保護・活用を取り上げた内容が『知的財産の考え方と活用』や『知的財産権の種類』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による例を示した内容が『生活や社会の中の情報の技術の例』や『技術の歴史』などに掲載されている。
教図	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による例が『身近にある情報の技術の利用例』や『スゴ技 宇宙から水産業・農業を支える技術』などに掲載されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の技術の発展による製品の進歩を取り上げた内容が『製品の進歩～買い物に関する計算の歴史～』や『新しいサービスとコミュニケーション』などに掲載されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちの研究・開発を取り上げた内容が『すごいぞ！技術』や『思いを形にするプロダクトデザイン』に掲載されている。
教図	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちのものづくりへの想いを取り上げた内容が『日本の技術を支える人々の想い』や『技ビト』に掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、学習内容に係る職業に携わる人たちをインタビュー形式で取り上げた内容が『＜開発の現場から＞』や『interview』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、問題発見例を示し、問題を見いだして課題を設定する学習活動が【学習課題 エネルギー変換の技術に関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】や【学習課題 双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】に設定されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、問題と解決する方法を示し、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【ステップ1 完成形をイメージしよう】や【ステップ1 育てかたをイメージしよう】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、日常生活における問題の例を示しながら、生活の中から問題を見いだして課題を設定する学習活動が【問題の発見と課題の設定】や実習例の【①問題の発見】【②課題の設定】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、理科や家庭科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、理科や数学科などの教科や単元との関連を示す『関連』のマークが掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、理科や小学校の教科などの教科や単元との関連を示す『他教科』のマークが掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程において機能や構造を構想図等に表す学習活動が【構想の具体化】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『双方向性のあるコンテンツの制作計画の例』に掲載されている。
教図	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアから機能や材料を構想図等に表す学習活動が【つくりたいものを具体化する】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『アクティビティ図のかきかた』に掲載されている。
開隆堂	言語能力の育成について、設計・計画の学習過程においてアイデアの詳細を検討し構想図等に表す学習活動が【詳細な設計の検討】に設定されている。また、アイデアを構想図等に表す例が『制作工程表の例』に掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『林業の仕組み』や『新しい材料と加工の技術の開発』に掲載されている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『法隆寺の建築技術』や『もっと知ろう 地域の伝統野菜』に掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統文化に関連する写真やコラムを取り扱った伝統文化のマークが『姫路城』や『木材が曲がる性質を利用した製品』などに掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や動力伝達の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 木材を切ったり削ったりしよう】や【やってみよう 回転力を比べよう】などに設定されている。
教図	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して機械や情報の仕組みを考える学習活動が【やってみよう 自転車の保守点検をしてみよう。】や【やってみよう 4ビットと8ビットでは、何通りの表現ができるだろうか。】などに設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、実習や観察・実験、調査等を通して材料の性質や電気回路の仕組みを考える学習活動が【実験 木材を水に入れてみよう】や【やってみよう どちらが明るいだろう?】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、学習内容との関連する箇所に小学校の教科、学年、単元名などを示したリンクマークが『小学校 理科6年 電気の利用』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『小学校で学習したこと』に掲載されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、小学校の教科名など学習内容との関連を示した関連マークが『小学校 理科・社会・生活』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『小学校ではどんなことを学んできたかな?』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容との関連について学年、教科、単元名などを示した小学校マークが『小学校 5年社会「水産業のさかんな地域」』に、巻頭のガイダンスに小学校の学習内容を振り返る視点が『技術の学習を始める前に』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や注意する点に関する内容が『情報モラル』や『情報セキュリティの仕組み』に掲載されている。
教図	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性を事例を示して取り上げた内容が『情報モラルと情報の扱い方』や『情報セキュリティの技術とは』に掲載されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、情報モラルや情報セキュリティといった情報の技術の特性や情報を発信するときに注意する視点を取り上げた内容が『情報モラル』や『情報セキュリティ』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、文字入力やソフトウェアの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミングの基本操作が『プログラミング手帳』に掲載されている。
教図	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、マウスやタブレットの操作方法やファイルの管理などの基礎技能が『基本操作』に、プログラム例が『スモウルビーのプログラム例』などに掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、コンピュータを利用した学習活動を行うため、キーボードの操作を示した基礎技能が『コンピュータの基本操作』に、プログラミング言語の種類が『プログラミング』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【TECH Lab】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、【基礎技能動画（切断）】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【両手引き（正面）】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『地域の特産物を未来につなげよう』や『計測・制御システムで地域の安全・安心を守ろう』に掲載されている。
教図	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『題材例1 袋栽培で収穫する』や『ブチ問題解決にチャレンジ!サイコロの目の数を当てるプログラムをつくってみよう』に掲載されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、問題解決の流れや手順を示した題材が『リーフレタスの養液栽培』や『無人レジシステム』に掲載されている。

⑪ 「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象を、立場の違いや異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【学習課題 生物育成の技術に関わる問題を見だし、課題を設定しよう。】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の見方・考え方』に掲載されている。
教図	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、複数の解決策を考える学習活動が【情報の技術のプラス面をいかし、マイナス面を克服するための技術の上手な活用法や、新しく開発したい技術を考えよう。】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の問題解決ってなに？』に掲載されている。
開隆堂	「技術の見方・考え方」を働かせた学習について、生活や社会における事象として製品の例を取り上げて、異なる側面から捉え、最適化を考える学習活動が【生物育成の技術の見方・考え方で既存の育成方法を読み解こう】に設定されている。また技術の見方・考え方の視点が『技術の見方・考え方』に掲載されている。
⑫ 既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する学習過程について、問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決のプロセス』に、解決するための手順が『問題解決例』に掲載されている。
教図	生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する学習過程について、完成形をイメージし、製作品を活用するまでの問題解決の流れが『問題を解決する流れを考えよう』に、ワークシートの記入例が『電気回路を使った製作品の記入例』に掲載されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し解決する学習過程について、製作物を例に問題の発見、課題の設定、設計・計画、製作などの問題解決の流れが『問題解決の手順』や『エネルギー変換の技術による問題解決の流れの例』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章は原理・法則としくみ、2 章は問題解決、3 章は社会の発展と技術に関する内容で構成されている。
教図	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 章は知識・技能の習得に関すること、2 章は問題解決に関すること、3 章は社会の技術を評価することに関する内容で構成されている。
開隆堂	見開き 2 ページを基本として学習内容が設定され、各編の 1 は生活と社会の技術、2 は問題解決、3 はこれからの技術に関する内容で構成されている。
⑭ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型は A B 判が採用されている。
教図	技能を掲載した別冊『スキリアシスト』とともに、A 4 変形判が採用されている。
開隆堂	判型は A B 判が採用されている。
⑮ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方をもとづいて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	154ページ 『蒸気機関車』（横浜市） 192ページ 『学校に設置された蓄電池』（横浜市） 192ページ 『自転車や電気自動車の共同利用』（横浜市） 267ページ 『技術の匠』（相模原市）
教図	17ページ 『箱根寄木細工』（箱根町） 105ページ 『アワビを育てる技術』（神奈川県立海洋科学高等学校） 107ページ 『本当においしい豚肉を食卓へ』（厚木市） 120ページ 『太陽光パネル』（川崎市） 251ページ 『先輩からのメッセージ』（神奈川県立海洋科学高等学校、川崎市立川崎総合科学高等学校） 253ページ 『品種の研究開発を通じて世界に栄誉と笑顔を届ける』（横浜市） 巻末④ページ 『博物館に行ってみよう！』（神奈川県立歴史博物館、東芝未来科学館）
開隆堂	101ページ 『11階建ての木造建築ビル』（横浜市） 135ページ 『バンジー』（神奈川）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	本冊	別冊
東書	1	566	
教図	2	570	94
開隆堂	1	558	

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪技術・家庭科(家庭分野)≫

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『できたかな?』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【サステナブルクッキングにチャレンジ!】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □[思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【地域での協働を目指して】に設定されている。 ⑤ □[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【私たちの食生活】に設定されている。 ⑥ □[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、繊維に係る職業に携わる人たちが『プロに聞く!』に掲載されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学習の進め方』に掲載されている。 ⑧ □カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所にも他教科のマークが、道徳科との関連として『支えられて身につける生活習慣』に掲載されている。 ○学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【誰がどの部屋を使うか考えよう】に設定されている。 ⑩ □伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『日本の伝統的な住まい方』に掲載されている。 ⑪ □体験活動の充実について、栄養に配慮した朝食を作る学習活動が【朝食作りに挑戦しよう】に設定されている。 ⑫ □学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所にも小学校のマークが『食事の役割』に掲載されている。 ⑬ □情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【何を考えて決めますか】に設定されている。 ⑭ □生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『さけのムニエル』に、イラストが『できることから始めようチェックリスト例』に掲載されている。 ○生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【消費者としての自覚】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、調理方法などの課題解決に向けた学習活動が【生活に生かそう】に設定されている。 ⑰ □「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【中学校家庭分野の学習を見てみよう】に設定されている。 ⑱ □生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 世界のさまざまな住まい』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □全6編『未来につながる家庭分野』『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。 ⑳ □判型はAB判が採用されている。 ㉑ □『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭科(家庭分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	教図	書名	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① □「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『ふり返る』に掲載されている。 ② □「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】に設定されている。 ③ □「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【幼児のおやつを工夫しよう！】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ □[思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【家庭生活と地域のかかわりを知ろう】に設定されている。 ⑤ □[たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【健康によい食習慣について考えよう】に設定されている。 ⑥ □[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、保育に係る職業に携わる人たちが『センパイに聞こう！』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『自分の課題をもって学習に取り組もう！』に掲載されている。 ⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所到他教科のマークが、理科との関連として『栄養素の種類と働きを知ろう』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ □ 言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【住まいの空間の使い方を考えてみよう】に設定されている。 ⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和食；日本人の伝統的な食文化』に掲載されている。 ⑪ □ 体験活動の充実について、食物アレルギーに配慮して間食を作る学習活動が【間食をつくろう】に設定されている。 ⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に関連のマークが『調理の基礎を知ろう』に掲載されている。 ⑬ □ 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【買い物の意思決定のプロセス】に設定されている。 ⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『製作の手順』に、イラストが『消費者トラブルの解決への流れ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ミシンの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ □ 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、衣服の点検などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。 ⑰ □ 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【自分の成長と人とのつながり】に設定されている。 ⑱ □ 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 子どものすこやかな成長のために』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ □ 全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』で構成されている。 ⑳ □ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ □ 『ユニバーサルデザインの考え方』にもとづいて編集されています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《技術・家庭科(家庭分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(家庭分野-4～家庭分野-8)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支えあう生活へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習のまとめ』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【かかわり合う地域と家庭】に設定されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】に設定されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、里親の経験のある方たちが『先輩からのエール』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学び方と身につけたい力』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所にも他教科のマークが、保健体育との関連として『中学生の発達と必要な栄養』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【家族の変化と心地よい空間の使い方】などに設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和服の文化にふれてみよう』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、弁当の献立を考え弁当箱につめる学習活動が【お弁当をつくろう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所にも小学校のマークが『栄養素の働き』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【商品情報から見えること】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『調理前に知っておきたいポイント』に、イラストが『消費者の権利と責任を考えよう』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【調理の前に知っておきたいポイント】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【家庭分野の学びと身につけたい力】に設定されている。 ⑱ ☐ 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 進化する素材』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 全5編『家族・家庭生活』『食生活』『衣生活』『住生活』『消費生活・環境』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名《技術・家庭科(家庭分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『目標』や『できたかな?』に掲載されている。
教図	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『めあて』や『ふり返る』に掲載されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、調理や製作などの目的や手順を考え、実習や実践を通して、身に付ける技能が『学習の目標』や『学習のまとめ』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【調べてみよう】に設定されている。
教図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【考えてみよう】【話し合ってみよう】【見つめてみよう】に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、実習の振り返りや話し合いを通して生活を見直す学習活動が【調べてみよう】【考えてみよう】【話し合ってみよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【サステナブルクッキングにチャレンジ!】や【衣服のリメイク】などに設定されている。
教図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【幼児のおやつを工夫しよう!】や【住みやすいまち・安全なまちってどんなまち?】などに設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生活の課題を見つけ、解決する学習活動が【家族・家庭生活とつながる実践例】や【食生活とつながる実践例】などに設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	「思いやる力」の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【地域での協働を目指して】や【幼児との関わり方の工夫】などに設定されている。
教図	「思いやる力」の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【家庭生活と地域のかかわりを知ろう】や【家族関係をよりよくする方法を考えよう】などに設定されている。
開隆堂	「思いやる力」の「共生」について、世代や立場が異なる人とのかかわり方について考える学習活動が【かかわり合う地域と家庭】や【誰もが尊重される家庭・地域の生活】などに設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	「たくましく生きる力」の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【私たちの食生活】や【中学生に必要な栄養】などに設定されている。
教図	「たくましく生きる力」の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【健康によい食習慣について考えよう】や【中学生に必要な栄養の特徴を知ろう】などに設定されている。
開隆堂	「たくましく生きる力」の「食育」について、健康の保持増進に必要な運動量の確保や、食事による適切な栄養の摂取について取り上げた学習活動が【毎日の食習慣と健康の基本】や【中学生の発達と必要な栄養】などに設定されている。

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、繊維に係る職業に携わる人たちが『プロに聞く！』に、消費・環境に係る仕事に携わる人たちが『学んだことを社会に生かす』に掲載されている。
教図	「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、保育に係る職業に携わる人たちが『センパイに聞こう！』に、地域のボランティアに携わる人たちが『メッセージ』に掲載されている。
開隆堂	「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、里親の経験のある方たちが『先輩からのエール』に、障がい者が働ける環境が『地域の取り組み』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学習の進め方』に掲載されている。また、自分の生活を振り返る学習活動が【自分の生活チェック】に設定されている。
教図	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『自分の課題をもって学習に取り組もう！』に掲載されている。また、自分の生活を振り返る学習活動が【自立度チェック】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、一連の学習過程を通して、課題を解決する学習活動の流れが『家庭分野の学び方と身につけたい力』に掲載されている。また、自立と共生について考える学習活動が【自立と共生で成り立っている生活】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、道徳科との関連として『支えられて身につける生活習慣』などに、社会科との関連として『世界のさまざまな住まい』や『中学生の消費生活』などに掲載されている。
教図	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、理科との関連として『栄養素の種類と働きを知ろう』などに、社会との関連として『災害に備えた安全な住まい方を考えよう』や『私たちは消費者』などに掲載されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、他教科での学習と関連する箇所に他教科のマークが、保健体育との関連として『中学生の発達と必要な栄養』などに、社会との関連として『日本の気候風土と住まい』や『消費生活のしくみ』などに掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【誰がどの部屋を使うか考えよう】や【調理方法による違いを比べてみよう】などに設定されている。
教図	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【住まいの空間の使い方を考えてみよう】や【「食習慣すぐろく」をつくってみよう！】などに設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、話し合いの視点やワークシートを活用した学習活動が【家族の変化と心地よい空間の使い方】や【他者を理解すること】などに設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『地域の食材』『日本の伝統的な住まい方』『和服の文化』などに掲載されている。
教図	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和食の調理をしてみよう』『和服』『住まい方の変化』などに掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、日本の生活の文化継承に関わる内容の伝統文化マークが『和服の文化にふれてみよう』『受け継がれてきた食文化』『日本の気候風土と住まい』などに掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、栄養に配慮した朝食を作る学習活動が【朝食作りに挑戦しよう】に設定されている。また、体験実習の例が『さまざまな触れ合い体験に挑戦！』などに掲載されている。
教図	体験活動の充実について、食物アレルギーに配慮して間食を作る学習活動が【間食をつくろう】に設定されている。また、体験活動の実習例が『高齢者の一般的な身体の特徴を理解するために、疑似体験をしてみよう』などに掲載されている。
開隆堂	体験活動の充実について、弁当の献立を考え弁当箱につめる学習活動が【お弁当をつくろう】に設定されている。また、体験活動の実習例が『保育所や幼稚園、認定こども園に行ってみよう』などに掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所小学校のマークが『食事の役割』や『手縫いの基礎』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえて、消費生活と環境の内容や、家族・幼児や高齢者などに関連する学習内容が教科書の後半に掲載されている。
教図	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所に関連のマークが『調理の基礎を知ろう』や『補修の基礎』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえた内容が『自分の成長と人とのつながり』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校家庭科の学習内容と関連する箇所小学校のマークが『栄養素の働き』や『衣服の手入れ』などに、高等学校家庭科との系統性を踏まえた内容が『これまでとこれからの自分』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【何を考えて決めますか】や【食品の選択と購入】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『生鮮食品の表示』や『既製品の表示』などに掲載されている。
教図	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【食品の選択と購入について考えよう】や【買い物の意思決定のプロセス】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『暮らしとつながるマーク・ラベル』や『洗剤の表示例』などに掲載されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、集めて整理した複数の情報から、目的に合った品物の選び方を考える学習活動が【商品情報から見えること】や【生鮮食品の選択と保存】や【既製品の選び方】などに設定されている。また、購入時の情報収集の例が『いろいろなマーク』や『加工食品の表示』などに掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さへの対応	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『さけのムニエル』などに、イラストが『できることから始めようチェックリスト例』などに、安全への配慮を徹底するマークが『ミシン縫い』や『家庭内事故の現状』などに掲載されている。
教図	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『製作の手順』などに、イラストが『消費者トラブルの解決への流れ』などに、安全への配慮を徹底するマークが『自然への備え』や『包丁やまな板の扱い方』などに掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、個に応じて段階的に手順を示す写真が『調理前に知っておきたいポイント』などに、イラストが『消費者の権利と責任を考えよう！』などに、安全への配慮を徹底するマークが『針の安全』や『加熱するときの注意』などに掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【消費者としての自覚】【実物大の食品】【浴衣を着てみよう】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ミシンの使い方】【私たちの消費生活】【配膳・マナー・後かたづけ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【調理の前に知っておきたいポイント】【洗濯の準備】【現金以外の支払い方法】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 実践的・体験的な活動を通して、基礎的な知識及び技能の習得やそれらを生かした思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、調理方法などの課題解決に向けた学習活動が【生活に生かそう】に、家庭や学校、地域の中での防災などの課題解決に向けた学習活動が【学習を深めよう】に設定されている。
教図	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、衣服の点検などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に、消費生活・環境などの課題解決に向けた学習活動が【自分の言葉でまとめよう】に設定されている。
開隆堂	実践的・体験的な活動を通じた知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成について、環境に配慮した住まい方などの課題解決に向けた学習活動が【学習のまとめ】に、幼児との触れ合い方などの課題解決に向けた学習活動が【考えてみよう】に設定されている。

⑪「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされているか。	
東書	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【中学校家庭分野の学習を見てみよう】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『家庭分野の見方・考え方』に掲載されている。
教図	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【自分の成長と人とのつながり】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『「つなぐ、つながる」家庭分野』に掲載されている。
開隆堂	「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習について、学習の導入で生活を見直す学習活動が【家庭分野の学びと身につけたい力】に設定されている。また、日常生活の中にある学びの視点が『広がる家族・家庭と地域・環境の学び』に掲載されている。
⑫既存の技術の理解を図る学習過程や、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程が取り上げられているか。	
東書	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 世界のさまざまな住まい』や『発展 赤ちゃん』などに掲載されている。
教図	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 子どものすこやかな成長のために』や『助け合いの中で生きる』などに掲載されている。
開隆堂	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決する力を養う学習過程について、次の学習活動につながる内容が『発展 進化する素材』や『中学生の取り組み』などに掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑬各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	全6編『未来につながる家庭分野』『私たちの食生活』『私たちの衣生活』『私たちの住生活』『私たちの消費生活と環境』『私たちの成長と家族・地域』と選択『生活の課題と実践』で構成されている。
教図	全3編『家族・家庭生活』『衣食住の生活』『消費生活・環境』で構成されている。
開隆堂	全5編『家族・家庭生活』『食生活』『衣生活』『住生活』『消費生活・環境』で構成されている。
⑭体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教図	判型はA B判が採用されている。
開隆堂	判型はA B判が採用されている。
⑮文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
教図	『ユニバーサルデザインの考え方にもとづいて編集されています。』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒が見やすくなるように配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	99ページ 101ページ 103ページ 107ページ 213ページ 265ページ	【地域の食材】 ⑦三浦だいこん 【いりどり】 (コメント) 三浦だいこん 【郷土料理】 神奈川県 けんちん汁 【省資源への取り組みの例 九都県市】 神奈川県 横浜市 川崎市 相模原市 【循環型社会を推進するための消費者の行動】 リユース食器 横浜市など 【地域の人と支え合う活動 (図1)】 防災訓練 (横浜市)
教図	1ページ 140ページ 141ページ 143ページ 146ページ 245ページ	浴衣の着付け体験 (横浜市) 【地域の食材】 三浦だいこん 【「かながわブランド」マーク】 【全国各地のおもな郷土料理】 神奈川県●しらす井 【地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう】 地元の郷土料理 (手打ちうどん) をつくる調理実習 (相模原市小山中学校) 【調べてみよう】 横浜市消費生活総合センター
開隆堂	80ページ 158ページ 161ページ 164ページ 171ページ 258ページ	【地域の取組】 川崎市 【伝統野菜の例】 三浦だいこん 【日本各地の郷土料理】 神奈川県 けんちん汁 【参考】 けんちん汁の由来 【先輩からのエール】 横浜のシウマイ 弁当 【地域の取り組み】 はじまっている地域の活動に取り組む新しい形 (横浜市)

② 一冊ごとの重量 (g)

	冊数	重量 (g)
東書	1	566
教図	1	626
開隆堂	1	556

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	東書	書名	NEW HORIZON English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar for Communication】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、絶滅のおそれのある動物について記事を書き、動物保護について話し合う学習活動が【Unit Activity】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、留学先で日本のポップカルチャーを紹介する学習活動が【日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力の「人権教育」について、差別に対して非暴力で立ち向かった世界の偉人について取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「国際化」について、国際協力についてのスピーチが『What does it mean to be a global citizen?』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、エシカルな商品について取り上げた内容が『How do you choose your clothes?』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各UnitがPreview、Part、Read and Thinkの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Stage Activity】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、国語科と関連して、世界に広がる日本語について話し合う学習活動が【Task 3】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【CAN DO CHECK Stage○】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本のポップカルチャーを取り上げた内容が『Unit Activity』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、経験したことを振り返って報告する学習活動が【Stage Activity2】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、まとまりのある英文を書くためのパラグラフライティングの書き方が『学び方コーナー』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、資料から読み取った情報をまとめる学習活動が【Real Life English】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音と文字の関係についてまとめた表が『英語の音と文字』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Preview】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Stage1】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、平和のために活動したガンディーについて取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit0～10』、第2学年は『Unit0～7』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表する内容をまとめる【Activity Sheet】や、会話の動画、音声などを視聴する【Previewアニメ】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	開隆堂	書名	Sunshine English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【PROGRAM】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、カウンセラーになったつもりで、生徒の悩みのメモを取り、やり取りをする学習活動が【Action】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、海外からの観光客に対して、海辺でのポイ捨て防止を呼び掛ける看板を作る学習活動が【Action】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、車いすバスケットボールを取り上げた内容が『Hot Sport Today』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「国際化」について、フェアトレードを取り上げた内容が『The Story of Chocolate』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、海洋ごみが生態系に及ぼす被害について取り上げた内容が『The Great Pacific Garbage Patch』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各PROGRAMがとびら、Scenes、Tuning in、Part、Review & Retell、Actionの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Our Project】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、環境問題について考える課題が【Action】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Our Project○】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の弁当文化を取り上げた内容が『Japanese Bentoos Are Interesting!』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、コーヒーショップを訪れた際に体験したことを振り返り自分の言葉で伝える学習活動が【Review & Retell】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、スムーズなディスカッションを進めるための状況に応じた表現例が『Step for Our Project4』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、会話を聞いて、動物の平均睡眠時間を表すグラフからどの動物に当てはまるかを考える学習活動が【Tuning in】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語のつづり字と発音の関係に一定の決まりがあることをまとめた表が『英語のつづり字と発音』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Get Ready】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、女子教育の権利向上を国連で訴えたマララさんを取り上げた内容が『Malala's Voice for the Future』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 中心となる単元名を『PROGRAM』と表記し、第1学年は『PROGRAM1～10』、第2学年は『PROGRAM1～8』、第3学年は『PROGRAM1～7』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、考えを整理して情報を書き込む【Action】や、会話の動画、音声などを視聴する【Tuning in】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『カラーユニバーサル視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒から見やすくなるように配慮しています』『日本語には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	NEW CROWN English Series 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Language Focus】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ウェブサイトに掲載された意見を読み、自分の考えを書く学習活動が【Goal Activity】に、設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、初めて日本に来る外国人に向けて旅行プランを考える学習活動が【Project 1】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「人権問題」について、アメリカの公民権運動を取り上げた内容が『Reading Lesson 2』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「国際化」について、外国語と関わりながら生活している人々の体験談を取り上げた内容が『私が外国語を学ぼうけ』に掲載されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、コンサート会場の観客席に残されたごみを減らすための工夫が『Design for Change』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが、Part 1～3、Goal Activityの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連して、楽曲が与える影響について考える学習活動が【Small Talk Plus+】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【ふり返り】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の漫画やアニメについて取り上げた内容が『Translating Culture』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、外国語にふれたり、外国語を使ったりした経験を伝え合う学習活動が【Goal Activity】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、中学校での学びを振り返り、高等学校での外国語学習につなげるメッセージが『For Self-study ④』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、旅行会社のウェブサイトからツアーを選ぶ学習活動が【Take Action!】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音とスペルの関係等についての注意点が『Scene 2』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Starter】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、インドではどのような映画が作られているかについて取り上げた内容が『Bollywood Movies』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson 1～9』、第2学年は『Lesson 1～8』、第3学年は『Lesson 1～8』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、作成したメモから自分が伝えたいことを書き込む【Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【Scene 1】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています』『みやすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	教出	書名	ONE WORLD English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、友人の悩み相談のメモをとり、アドバイスを伝える学習活動が【Project2】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、クラスメートからの相談に対してアドバイスをする学習活動が【If I Were You...】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ 「思いやる力」の「人権問題」について、貧困や強制労働などに対して行動を起こしたカナダの少年の活動を取り上げた内容が『Speaking Out for a Better World』に掲載されている。 ⑤ ☐ 「たくましく生きる力」の「国際化」について、医師として働く傍らアフガニスタンで井戸や用水路の工事に携わった人物の活躍が『Lighting Up a Corner』に掲載されている。 ⑥ ☐ 「社会とかかわる力」の「環境教育」について、宇宙旅行が進むにつれて課題となる宇宙ゴミについて取り上げた内容が『Space Tourism』に掲載されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが扉ページ、Part、Task、Grammarの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Activities Plus】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、家庭科と関連して、働く理由や家事分担について自分の考えや感想を発表する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOLISTと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Lesson○をふり返ろう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、京都で日本食をつくる仕事に携わるベトナム人を取り上げた内容が『Washoku, or Japanese Cuisine』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、登場人物の日本での体験を想像して会話する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、英単語のしくみを知って単語を覚える方法が『効果的な英語学習法』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、料理のレシピを読み取る学習活動が【Tips for Reading③】に掲載されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、基本的なつづりと発音の関係についてまとめた表が『つづりと発音』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Let's Use】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Springboard】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、人々と文化が相互に関わる多文化社会であるカナダを取り上げた内容が『Aya's Homestay in Vancouver』に掲載されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson1～9』、第2学年は『Lesson1～9』、第3学年は『Lesson1～7』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、自分の考えを書き込んで整理する【思考ツール】や、会話の動画、音声などを視聴する【リーディング】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	光村	書名	Here We Go! ENGLISH COURSE 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Active Grammar】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ジャイアントパンダに関する記事について話し合う学習活動が【Goal】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、卒業を前に感謝の手紙を送る学習活動が【Goal】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、迫害されたユダヤ人のためにビザを発給した杉原千畝を取り上げた内容が『Visas for 6,000 Lives』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「国際化」について、世界をよりよくするために活躍する若者が『World Tour①』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、持続可能な社会の実現に向けた取組が『You Can Do It! ②』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各Unitが扉、Part、Goalの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【You Can Do It!】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連して、歴史と平和について考える学習活動が【Goal】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Goal ふり返り】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、京都と広島への修学旅行を取り上げた内容が『Our School Trip』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、3年間の思い出を伝える学習活動が【中学校3年間で振り返るスピーチをしよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、目標に向かって英語の学習を続けていく方法が『将来に向けた学び方』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、記事やグラフからジャイアントパンダの保護活動について読み取る学習活動が【Goal】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語のつづりと発音の関係についてまとめた内容が『音声のまとめ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kotaと学ぶ基本文】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Be Friends】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、アメリカの作家が書いた物語の一部を取り上げた内容が『A Story from The Adventures of Tom Sawyer』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～8』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～8』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、英文を聞きその内容を基に書き込む【Listen】や、会話の動画、音声などを視聴する【QR音声】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『全ページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン』『日本語の文には見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《外国語(英語)》

※詳細については、資料Ⅱ(英語-7～英語-14)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	BLUE SKY English Course 3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Focus on Form】に設定されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、ALTにインタビューして記事にまとめる学習活動が【Project1】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、海外の姉妹校から来たメールに対して返事をする学習活動が【修学旅行について説明しよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、ピクトグラムなどにも使われているユニバーサルデザインを取り上げた内容が『Society for All』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「国際化」について、NPOやスポーツを通して世界で活躍する人物が『Working in the World』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、気候変動やその原因と対応策が『Take Action on Climate Change』に掲載されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、各Unitがとびら、Part、Think&Speak/Writeの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連して、だまし絵について考える学習活動が【「だまし絵」の歴史】に設定されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Check】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、創作和菓子を取り上げた内容が『My Aunt』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、動物や植物を育てた体験を発表する学習活動が【動物や植物を育てた体験を発表しよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、英文を書く際の視点が『英語の学び方③』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、シンガポールの民族構成などについて説明文やグラフから読み取る学習活動が【Read & Think】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、英語の音声を取り取る注意点が『Part1～3』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【Words 音声】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 言語の使用場面や言語の働きについて、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。 ⑰ ☐ 小学校外国語活動と関連した構成について、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Start】に設定されている。 ⑱ ☐ 国際理解を深めることについて、海外の文化に触れる文学作品が『The Wizard of Oz』に掲載されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit1～10』、第2学年は『Unit1～8』、第3学年は『Unit1～6』で構成されている。 ⑳ ☐ 判型はA4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表に向けて情報を整理する【Think & Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【本文アニメーション】などが設定されている。 ㉑ ☐ 『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です』と表記されている。		

【資料Ⅱ】

教科種目名《外国語(英語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar for Communication】に設定されている。
開隆堂	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【PROGRAM】に設定されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Language Focus】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Grammar】に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Active Grammar】に設定されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、単元で学習した言語材料の意味、形やルールを整理して活用する学習活動が【Focus on Form】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、冬休みに友達がしたことを聞き、書いてまとめる学習活動が【Unit Activity】、第2学年では、交流授業でカナダの生徒からのビデオレターを視聴して、一番好きな日本食を紹介する話し合う学習活動が【Stage Activity】に、第3学年では、絶滅のおそれのある動物について記事を書き、動物保護について話し合う学習活動が【Unit Activity】に設定されている。
開隆堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、エミリーが考えた動物園の提案を読み、自分の考えたオリジナルの企画をペアで発表する学習活動が【Action】に、第2学年では、相談者からの悩みを読み、内容を整理しながら自分のアドバイスを発表する学習活動が【Action】に、第3学年では、カウンセラーになったつもりで、生徒の悩みのメモを取り、やり取りをする学習活動が【Action】に設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、アメリカの学校紹介をするメールを読んで、返信メールを書く学習活動が【Goal Activity】に、第2学年では、ウェブマガジンの掲載記事を読み、記事についてもっと知りたいことを質問する学習活動が【Goal Activity】に、第3学年では、ウェブサイトに掲載された意見を読み、自分の考えを書く学習活動が【Goal Activity】に、設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ユミが考えたオリジナルの標識について聞き取ったことを参考に、自分で考えた標識について発表をする学習活動が【Project 2】に、第2学年では、夢の旅行についての発表を聞き、自分が行ってみたい名所を理由とともに発表する学習活動が【Project 2】に、第3学年では、友人の悩み相談のメモを取り、アドバイスを伝える学習活動が【Project 2】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、ALTの行きたい場所やしたいことをインタビューして、ALTのために観光プランを発表する学習活動が【Goal】に、第2学年では、ラジオニュースを聞いて、その内容を自分の言葉で説明する学習活動が【Daily Life Scene 2】に、第3学年では、ジャイアントパンダに関する記事について話し合う学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、クラスメートの自己紹介を聞いて、メモを取る学習活動が【Project 1】に、第2学年では、制服が必要かどうかについてのディスカッションを聞き、自分の意見を理由とともに述べる学習活動が【Project 3】、第3学年では、ALTにインタビューして記事にまとめる学習活動が【Project 1】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、クラスメートに向けた友達紹介をする学習活動が【友達紹介のスピーチをしよう】に、第2学年では、姉妹都市からホームステイで来る生徒に向けて日本について知らせる学習活動が【日本の伝統やマナーを伝えよう】に、第3学年では、留学先で日本のポップカルチャーを紹介する学習活動が【日本のポップカルチャーの魅力を伝えよう】に設定されている。
開隆堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、来校者に校内を案内する学習活動が【学校案内をしよう】に、第2学年では、悩み相談室で、来室された人の悩みに対し、アドバイスをする学習活動が【Action】に、第3学年では、海外からの観光客に対して、海辺でのゴミ捨て防止を呼び掛ける看板を作る学習活動が【Action】に設定されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、日本に興味のある外国人にオンラインで日本のことを伝える学習活動が【Speak】に、第2学年では、海外からの修学旅行生のために、日本の食べ物をランキングにして紹介する学習活動が【Project 2】に、第3学年では、初めて日本に来る外国人に向けて旅行プランを考える学習活動が【Project 1】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、お気に入りの人物をクラスに紹介する学習活動が【My Favorite Person】に、第2学年では、海外の友好校の生徒に日本文化を紹介する学習活動が【Let's Introduce Japanese Culture】に、第3学年では、クラスメートからの相談に対してアドバイスをする学習活動が【If I Were You...】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、ALTに自分のことを伝える自己紹介カードを作る学習活動が【Goal】に、第2学年では、相手に用件や気持ちを伝えるためのE-mailを書く学習活動が【Goal】に、第3学年では、卒業を前に手紙を送る学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、初めて会うALTに自己紹介をする学習活動が【自己紹介をしよう】に、第2学年では、オーストラリアの姉妹校に日本文化を紹介する学習活動が【Sharing Japanese Culture with the World】に、第3学年では、海外の姉妹校から来たメールに対して返事をする学習活動が【修学旅行について説明しよう】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、アフリカの教育や飲料水についての問題を取り上げた内容が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、誰もが暮らしやすい社会について、ユニバーサルデザインなどを取り上げた内容が『What design is good for everyone?』に、第3学年では、差別に対して非暴力で立ち向かった世界の偉人が『What makes a good leader?』に掲載されている。
開隆堂	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、毎日何時間もかけて学校に通う子どもたちを取り上げた内容が『The Way to School』に、第2学年では、遭難した船を助けたことから始まる友好関係を取り上げた内容が『Friendship beyond Time and Borders』に、第3学年では、車いすバスケットボールを取り上げた内容が『Hot Sport Today』に掲載されている。
三省堂	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、車いすバスケットボールの体験会について取り上げた内容が『Athletes with Spirit』に、第2学年では、オーストラリアの先住民アナン族について取り上げた内容が『Visiting Australia』に、第3学年では、アメリカの公民権運動を取り上げた内容が『Reading Lesson 2』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、世界中から訪れる観光客に向けたピクトグラムについて取り上げた内容が『Symbols and Signs』に、2学年では、盲導犬や聴導犬について取り上げた内容が『Assistance Dogs』に、第3学年では、貧困や強制労働などに対して行動を起こしたカナダの少年の活動を取り上げた内容が『Speaking Out for a Better World』に掲載されている。
光村	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では車椅子アスリートについて取り上げた内容が『Hi, David!』に、第2学年では、盲導犬について取り上げた内容が『Guide Dogs』に、第3学年では、迫害されたユダヤ人のためにビザを発給した杉原千敏を取り上げた内容が『Visas for 6,000 Lives』に掲載されている。
啓林館	[思いやる力]の「人権教育」について、第1学年では、海外からの転入生に話しかけるシーンのある内容が『Hello, New Friend.』に、第2学年では、食の多様性について取り上げた内容が『Food Diversity』に、第3学年では、ピクトグラムなどにも使われているユニバーサルデザインを取り上げた内容が『Society for All』に掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、世界や地域の問題が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、世界遺産が抱える問題について取り上げた内容が『What are World Heritage sites and their Problems?』に、第3学年では、国際協力についてのスピーチが『What does it mean to be a global citizen?』に掲載されている。
開隆堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、きつねうどんなどの日本食を説明する内容が『Let's Enjoy Japanese Food』に、第2学年では、アフリカで野球を広めている日本人が『Koshien Project in Africa』に、第3学年では、フェアトレードを取り上げた内容が『The Story of Chocolate』に掲載されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、世界各地の子どもたちの学校生活紹介が『School Lives around the World』に、第2学年では、落語を通して日本文化を伝える人物が『Rakugo Goes Overseas』に、第3学年では、外国語と関わりながら生活している人々の体験談を取り上げた内容が『私が外国語を学ぶわけ』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「国際化」について、1学年では、日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方が『School Life in Two Countries』に、2学年では、世界各国の手話とジェスチャーを扱う際の留意点が、『Gestures and Sign Language』に、第3学年では、医師として働く傍らアフガニスタンで井戸や用水路の工事に携わった人物の活躍が『Lighting Up a Corner』に掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、アメリカの学校生活が『Hi, David!』に、第2学年では、世界で活躍する人達が『World Tour②』に、第3学年では、世界をよりよくするために活躍する若者が『World Tour①』に掲載されている。
啓林館	[たくましく生きる力]の「国際化」について、第1学年では、ハワイの時間や季節が『A Fascinating Island in Hawaii』に、第2学年では、シンガポールへの家族旅行が『Visiting Singapore』に、第3学年では、NPOやスポーツを通して世界で活躍する人物が『Working in the World』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、水質汚染のために安全な水を求める場面が『Think Globally, Act Locally』に、第2学年では、世界遺産のタージマハールの大気汚染が『What are World Heritage sites and their Problems?』に、第3学年では、エコな商品について取り上げた内容が『How do you choose your clothes?』に掲載されている。
開隆堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、オーストラリアのサンゴ礁が『Research in Australia』に、第2学年では、カナダ政府が自然を保護するためにつくったハイキングのルールが『Research on Australia』に、第3学年では、海洋ごみが生態系に及ぼす被害について取り上げた内容が『The Great Pacific Garbage Patch』に掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、日本の自然の美しさが『Discover Japan』に、第2学年では、身近な環境問題が『Safe Clean Water』に、第3学年では、コンサート会場の観客席に残されたごみを減らすための工夫が『Design for Change』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、リサイクルボックスが『A Better World for Everybody』に、第2学年では、地球温暖化や再生可能エネルギーが『Energy Sources for Our Future』に、第3学年では、宇宙旅行が進むにつれて課題となる宇宙ゴミについて取り上げた内容が『Space Tourism』に掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、夏休みにしたいこととして自然の中で過ごすことが『Enjoy the Summer』に、第2学年では、シンガポールのスーパーツリーが『Tour in Singapore』に、第3学年では、持続可能な社会の実現に向けた取組が『You Can Do It!②』に掲載されている。
啓林館	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、増える海洋プラスチックによって被害を受ける海洋生物が『Plastic Waste』に、第2学年では、世界遺産の抱える問題が、『World Heritage Sites』に、第3学年では、気候変動やその原因と対応策が『Take Action on Climate Change』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、各UnitがPreview、Part、Read and Thinkの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Stage Activity】に設定されている。
開隆堂	主体的・対話的で深い学びについて、各PROGRAMがとびら、Scenes、Tuning in、Part、Review & Retell、Actionの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Our Project】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが、Part 1～3、Goal Activityの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、各Lessonが扉ページ、Part、Task、Grammarの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Activities Plus】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、各Unitが扉、Part、Goalの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【You Can Do It!】に設定されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、各Unitがとびら、Part、Think&Speak/Writeの流れで構成されており、単元の目標となる学習活動が【Project】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語科と関連して、物語の文章構成を意識して聞く学習活動が【Task 2】に、第2学年では、技術科と関連して、複数の場面で活躍するロボットについて話し合う学習活動が【Task 1】に、第3学年では、国語科と関連して、世界に広がる日本語について話し合う活動が【Task 3】に設定されている。
開隆堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では家庭科と関連して、日本食について考える活動が【Review】に、第2学年では、理科と関連して、省エネについて考える活動が【Action】に、第3学年では、社会科と関連して、環境問題について考える課題が【Action】に設定されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語と関連して日本の昔話を考える学習活動が【日本の「昔話」の紙芝居】に、第2学年では、国語科と関連して落語について考える学習活動が【Rakugo Goes Overseas】に、第3学年では、音楽科と関連して、楽曲が与える影響について考える学習活動が【Small Talk Plus+】に設定されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、社会と関連して記号や標識が表す意味を考える学習活動が【Task】に、第2学年では、美術と関連して、身の回りの便利なデザインを探して発表する学習活動が【Task】に、第3学年では、家庭科と関連して、働く理由や家事分担について自分の考えや感想を発表する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、国語科と関連して、日本語と英語の違いについて考える学習活動が【Let's Read More】に、第2学年では、美術科と関連して、ルーブル美術館のオンラインツアーの情報を聞き取る活動が【Daily Life】に、第3学年では、社会科と関連して、歴史と平和について考える学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、社会科と関連して、時差について考える学習活動が【ハワイの時間】に、第2学年では、理科と関連して、天気予報の情報を聞き取る学習活動が【Let's Listen】に、第3学年では、美術科と関連して、だまし絵について考える学習活動が【「だまし絵」の歴史】に設定されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【CAN DO CHECK Stage○】に設定されている。
開隆堂	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Our Project○】に設定されている。
三省堂	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【ふり返り】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Lesson○をふり返ろう】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Goal ふり返り】に設定されている。
啓林館	言語能力の育成について、巻末のCAN-DOリストと連動したチェック項目により振り返る学習活動が【Check】に設定されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、ロンドン出身の登場人物が日本で過ごす年越しの思い出について書いたレポートが『Read and Think』に、第2学年では、海外の人に向けて作成した日本の世界遺産についてのページが『Unit Activity』に、第3学年では、日本のポップカルチャーを取り上げた内容が『Unit Activity』に掲載されている。
開隆堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の食文化を取り上げた内容が『Let's Enjoy Japanese Food』に、第2学年では、日本と外国の屋台料理を取り上げた内容が『Taste of Culture』に、第3学年では、日本の弁当文化を取り上げた内容が『Japanese Bentoos Are Interesting!』に掲載されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、沖縄で語り継がれている物語が『Sleepy Lord Thunder』に、第2学年では、使用人と和尚の掛け合いが描かれた狂言が『A Pot of Poison』に、第3学年では、日本の漫画やアニメについて取り上げた内容が『Translating Culture』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本とオーストラリアの学校の生徒の過ごし方を取り上げた内容が『School Life in Two Countries』に、第2学年では、日本の伝統文化を紹介した資料が『Attractive Japanese Cultures』に、第3学年では、京都で日本食をつくる仕事に携わるベトナム人を取り上げた内容が『Washoku, or Japanese Cuisine』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の年末年始の過ごし方を取り上げた内容が『The New Year in Japan』に、第2学年では、日本で生まれた食品サンプルの変化と進化を取り上げた内容が『Plastic Food Samples』に、第3学年では、京都と広島への修学旅行を取り上げた内容が『Our School Trip』に掲載されている。
啓林館	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、創作和菓子を取り上げた内容が『My Aunt』に、第2学年では、日本のお祭りを紹介するスピーチを取り上げた内容が『Festivals in the World』に、第3学年では、3Dアートやだまし絵について取り上げた内容が『Trick Your Eyes with Art』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、思い出に残った出来事を発表する学習活動が【Stage Activiy 3】に、第2学年では、自分の学校や学校生活について説明する学習活動が【Stage Activiy 2】に、第3学年では、経験したことを振り返って報告する学習活動が【Stage Activiy 2】に設定されている。
開隆堂	体験活動の充実について、第1学年では、週末に行ったことを交換日記で伝える学習活動が【Action】に、第2学年では、海外でヒットするラーメンCM作りの学習活動が【Our Project4】に、第3学年では、コーヒショッを訪れた際に体験したことを振り返り自分の言葉で伝える学習活動が【Review & Retell】に設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、第1学年では、日本の学校生活や行事を紹介する学習活動が【Goal Activity】に、第2学年では、オンラインツアーを体験した後、海外から自分の町へ来る旅行者向けに町の魅力を伝える動画を作る学習活動が【Goal Activity】に、第3学年では外国語にふれたり、外国語を使ったりした経験を伝え合う学習活動が【Goal Activity】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、登場人物が印象に残ったことを日記に書く学習活動が【Think & Try!】に、第2学年では、登場人物が職場体験を通して体験したことについて会話を続ける学習活動が【Think & Try!】に、第3学年では、登場人物の日本での体験を想像して会話する学習活動が【Think & Try!】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第1学年では、冬休みの様子を手紙に書いて伝える学習活動が【冬休みの様子をほかで伝えよう】に、第2学年では、身近な出来事や気づきを振り返って日記に書く学習活動が【日記を書こう】、第3学年では、3年間の思い出を伝える学習活動が【中学校3年間をふり返るスピーチをしよう】に設定されている。
啓林館	体験活動の充実について、第1学年では、学校行事をホームページで紹介する記事を書く学習活動が【学校行事を紹介しよう】に、第2学年では、海外の姉妹校に学校を紹介するビデオメッセージを作成する学習活動が【学校のルールを紹介しよう】に、第3学年では、動物や植物を育てた体験を発表する学習活動が【動物や植物を育てた体験を発表しよう】に設定されている。

⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、辞書の活用の仕方が『学び方コーナー』に、第2学年では、目的・場面・状況を考えて相手の意図の理解の仕方が『学び方コーナー』に、第3学年では、まとまりのある英文を書くためのパラグラフライティングの書き方が『学び方コーナー』に掲載されている。
開隆堂	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、相手の話を聞くときに聞き手が注意するポイントが『Step for Our Project 4』に、第2学年では、会話表現などで使われる英語の略語の表す意味が『Step for Our Project 1』に、第3学年では、スムーズなディスカッションを進めるための状況に応じた表現例が『Step for Our Project 4』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、音読の際に、音のかたまり、リズムや強勢を意識することが『For Self-study④』に、第2学年では、リスニングの際に、音の脱落や同化などの変化のルールを知ることが『For Self-study③』に、第3学年では、中学校での学びを振り返り、高等学校での外国語学習につなげるメッセージが『For Self-study④』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英文を聞いて書き取る学習方法が『効果的な英語学習法』に、第2学年では、英文の概要を把握する際の留意点が『Tips for Reading①』に、第3学年では、英単語のしくみを知って単語を覚える方法が『効果的な英語学習法』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、リスニングと連動した音読が『リスニングの学び方』に、第2学年では、主語と動詞を意識して読む方法が『家での学び方』に、第3学年では、目標に向かって英語の学習を続けていく方法が『将来に向けた学び方』に掲載されている。
啓林館	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、英和辞典の引き方が『英語の学び方①』に、第2学年では、英語の力を伸長する音読の仕方が『英語の学び方③』に、第3学年では、英文を書く際の視点が『英語の学び方③』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、第1学年では、時間割からその日の授業について尋ねあう学習活動が【Enjoy Communication】に、第2学年では、グラフからわかることをペアで話し合う学習活動が【Think and Express Yourself】に、第3学年では、資料から読み取った情報をまとめる学習活動が【Real Life English】に設定されている。
開隆堂	情報活用能力の育成について、第1学年では、学校生活の満足度についての音声とグラフを結びつける学習活動が【Information】に、第2学年では、世界の天気予報についての音声情報と表を活用する活動が【Scenes for Basic Dialogs】に、第3学年では、会話を聞いて、動物の平均睡眠時間を表すグラフからどの動物に当てはまるかを考える学習活動が【Tuning in】に設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、第1学年では、イベント案内の情報を参考に友達にイベントをすすめる学習活動が【Take Action!】に、第2学年では、スピーチやグラフから、世界の人々が飲み水をどこで手に入れているかを読み取る学習活動が【Scene 2】に、第3学年では、旅行会社のウェブサイトからツアーを選ぶ学習活動が【Take Action!】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、第1学年では、ウェブサイトから必要な情報を見つける学習活動が【Tips for Reading②】に、第2学年では、ポスターの情報を読み取る学習活動が【Tips for Reading②】に、第3学年では、料理のレシピを読み取る学習活動が【Tips for Reading③】に掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、第1学年では、イベントの案内を読み取る学習活動が【Daily Life】に、第2学年では、学校生活や家庭生活についてのアンケート結果を読み取る学習活動が【Listen】に、第3学年では、記事やグラフからジャイアントパンダの保護活動について読み取る学習活動が【Goal】に設定されている。
啓林館	情報活用能力の育成について、第1学年では、イギリス料理の食べたいコースを選び相手に伝える学習活動が【Speak】に、第2学年では、シンガポールの民族構成などについて説明文やグラフから読み取る学習活動が【Read & Think】に、第3学年では、会話やグラフから気候変動について読み取る学習活動が【Part 1】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、アルファベットが表す音を確認する学習活動が【Sounds and Letters1】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音と文字の関係についてまとめた表が『英語の音と文字』に掲載されている。
開隆堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英文を正しく読むための学習活動が【発音クリニック】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづり字と発音の関係に一定の決まりがあることをまとめた表が『英語のつづり字と発音』に掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、英語の音と文字を確認する学習活動が【Starter 5】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音とスペルの関係等についての注意点が『Scene 2』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について第1学年では、音と文字をつなげる学習活動が【Springboard 5】に設定されている。また、第2、3学年では、基本的なつづり字と発音の関係について、まとめた表が『つづり字と発音』に掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、音の違いに注意して声に出して読む学習活動が、【Check】に設定されている。また、第2、3学年では、英語のつづり字と発音の関係についてまとめた内容が『音声のまとめ』に掲載されている。
啓林館	生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、文字の名前を聞きながら、文字をさす学習活動が【Let's Start】に設定されている。また、第2、3学年では、英語の音声を読み取る注意点が『Part 1～3』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【Preview】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
開隆堂	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【単語アプリ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【とびら】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【Let's Use】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【Eri and Kotaと学ぶ基本文】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
啓林館	生徒の理解が深まる構成について、１人１台端末を活用できる学習活動が【Words音声】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」などのコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成できるよう、実際の言語の使用場面や言語の働き等に十分配慮した題材を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では、外国人に道を案内する場面の学習活動が【Real Life English】に、第２学年では、外国人旅行者から電車の乗り換え方法をたずねられる場面の学習活動が【Real Life English】に、第３学年では、英語雑誌に対する意見を投稿する場面の学習活動が【Real Life English】に設定されている。
開隆堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では、オーストラリアのショッピングモールで買い物をする学習活動が【Power-Up④】に、第２学年では、友達に最近あった出来事をメールで報告する学習活動が【Power-Up④】に、第３学年では、電車の乗り換えを案内する学習活動が【Power-Up①】に設定されている。
三省堂	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では道に迷っている人に道案内をする場面の学習活動が【Take Action!】に、第２学年ではオンラインショップの商品を見て要望に適した商品を考える学習活動が【Take Action!】に、第３学年では、電話で友人をコンサートに誘う学習活動が【Take Action!】に設定されている。
教出	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では、新しく来たALTに対して校内を案内する学習活動が【Useful Expressions①】に、第２学年では飲食店で料理や飲み物を注文する場面の学習活動が【Useful Expressions②】に、第３学年では、空港の案内所で係員に目的地までの行き方をたずねる学習活動が【Useful Expressions①】に設定されている。
光村	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では、海外からの観光客に道をたずねられる場面の学習活動が【Daily Life】に、第２学年ではレストランで注文する学習活動が【Daily Life】に、第３学年では、留守番電話に残された伝言を聞き返答する場面の学習活動が【Daily Life】に設定されている。
啓林館	言語の使用場面や言語の働きについて、第１学年では、ファストフード店で注文する場面の学習活動が【Let's Talk④】に、第２学年では、通りがかりの人から駅までの行き方を説明する学習活動が【Let's Talk③】に、第３学年では、購入品の欠陥を店頭で伝える学習活動が【Let's Talk①】に設定されている。
⑰ 小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Stage 1】に設定されている。また、第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
開隆堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Get Ready】に設定されている。また、第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『単語と熟語』に掲載されている。
三省堂	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Starter】に設定されている。第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『資料』に掲載されている。
教出	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Springboard】に設定されている。また、第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
光村	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Be Friends!】に設定されている。また、第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『Word List』に掲載されている。
啓林館	小学校外国語活動と関連した構成について、第１学年では、小学校で学んだ英語を整理し、中学校での学習につなげる学習活動が【Let's Start】に設定されている。また、第２、３学年では、小学校で学んだ単語が『World List』に掲載されている。

⑮ 国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	国際理解を深めることについて、第1学年では、ニュージーランドの中学生とのオンラインでのやり取りを取り上げた内容が『Friends in New Zealand』に、第2学年では、ホームステイを通して海外の生活習慣や文化の体験を取り上げた内容が『What is important in a homestay』に、第3学年では、平和のために活動したガンディーについて取り上げた内容が『What makes a good leader?』に掲載されている。
開隆堂	国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各地の中学生の通学の様子を取り上げた内容が『The Way to School』に、第2学年では、飛行中に事故に見舞われたアポロ13号の乗組員について取り上げた内容が『Apollo 13』に、第3学年では、女子教育の権利向上を国連で訴えたマララさんを取り上げた内容が『Malala's Voice for the Future』に掲載されている。
三省堂	国際理解を深めることについて、第1学年では、登場人物がアメリカの学校生活についてのやり取りの場面を取り上げた内容が『School Life in the U.S.A.』に、第2学年では、バーチャルツアーを通して世界の自然や食文化を取り上げた内容が『Online Experiences』に、3学年では、インドではどのような映画が作られているかについて取り上げた内容が『Bollywood Movies』に掲載されている。
教出	国際理解を深めることについて、第1学年では、海外の童話を取り上げた内容が『The Golden Dipper』に、第2学年では、海外の文化やチャリティー活動について取り上げた内容が『The Gift of Giving』に、第3学年では、人々と文化が相互に関わる多文化社会であるカナダを取り上げた内容が『Aya's Homestay in Vancouver』に掲載されている。
光村	国際理解を深めることについて、第1学年では、世界各国の屋台が集まるイベントで外国の食べ物が『Daily Life』に、第2学年では、ルーブル美術館のオンラインツアーの案内に世界の美術品が『Daily Life』に、第3学年では、アメリカの作家が書いた物語の一部を取り上げた内容が『A Story from The Adventures of Tom Sawyer』に掲載されている。
啓林館	国際理解を深めることについて、第1学年では、ニューヨークでの年越しを取り上げた『Winter Vacation in New York』に、第2学年では、海外の児童文学を取り上げた内容が『The Snowman』に、第3学年では、海外の文化に触れる文学作品が『The Wizard of Oz』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑯ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit 0～10』、第2学年は『Unit 0～7』、第3学年は『Unit 1～6』で構成されている。
開隆堂	中心となる単元名を『PROGRAM』と表記し、第1学年は『PROGRAM 1～10』、第2学年は『PROGRAM 1～8』、第3学年は『PROGRAM 1～7』で構成されている。
三省堂	中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson 1～9』、第2学年は『Lesson 1～8』、第3学年は『Lesson 1～8』で構成されている。
教出	中心となる単元名を『Lesson』と表記し、第1学年は『Lesson 1～9』、第2学年は『Lesson 1～9』、第3学年は『Lesson 1～7』で構成されている。
光村	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit 1～8』、第2学年は『Unit 1～8』、第3学年は『Unit 1～8』で構成されている。
啓林館	中心となる単元名を『Unit』と表記し、第1学年は『Unit 1～10』、第2学年は『Unit 1～8』、第3学年は『Unit 1～6』で構成されている。
⑰ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA 4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表する内容をまとめる【Activity Sheet】や、会話の動画、音声などを視聴する【Previewアニメ】などが設定されている。
開隆堂	判型はA 4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、考えを整理して情報を書き込む【Action】や、会話の動画、音声などを視聴する【Tuning in】などが設定されている。
三省堂	判型はA 4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、作成したメモから自分が伝えたいことを書き込む【Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【Scene 1】などが設定されている。
教出	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、自分の考えを書き込んで整理する【思考ツール】や、会話の動画、音声などを視聴する【リーディング】などが設定されている。
光村	判型はA B判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、英文を聞きその内容を基に書き込む【Listen】や、会話の動画、音声などを視聴する【QR音声】などが設定されている。
啓林館	判型はA 4判が採用されている。デジタル教科書について紙と同じレイアウトの画面上で、発表に向けて情報を整理する【Think & Speak】や、会話の動画、音声などを視聴する【本文アニメーション】などが設定されている。

㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています』と表記されている。
開隆堂	『カラーユニバーサルの視点から、色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの生徒から見やすくなるように配慮しています』『日本語には見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。
三省堂	『カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています』『みやすく読みまちがいにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています』と表記されている。
光村	『全ページについて、次の観点から、専門家による校閲を行っています。カラーユニバーサルデザイン/特別支援教育/学習のユニバーサルデザイン』『日本語の文には見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています』と表記されている。
啓林館	『個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色・デザインを用いました。メディア・ユニバーサル・デザイン協会の認証を申請中です』と表記されている。

【参考】

㉒ 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載	
東書	第3学年 表紙の裏（富嶽三十六景 神奈川沖浪裏）
開隆堂	第2学年 P90 『おすすめスポットのチラシを作しましょう』（小田原城） 第3学年 P12 『駅弁って何？』（神奈川牛肉弁当） 第3学年 P14 『Review&Retell Step1』（神奈川牛肉弁当）
三省堂	第3学年 P8 『ケイトの悩みごと』（江の島 写真）
教出	第1学年 P87 『Lunch in Chinatown』（横浜中華街 写真） 第2学年 P74 『Castles and Canyons』（鎌倉大仏） 第3学年 P33 『Useful Expressions 2』（横浜、横浜中華街、山下公園、路線図）
光村	第1学年 P26 『All About Me』 I live in Yokohama.（自己紹介で横浜在住の表記） P80 『おすすめの観光プランを考えよう』（Minato Mirai, Chinatownの表記） P108 『The New Year in Japan』（年賀状の住所が神奈川県横浜市） 第2学年 P93 『Working Together』（横浜ランドマークタワー 写真） 第3学年 P19 『Our School Trip』（赤レンガ倉庫、ランドマークタワー 写真） P77 『The Chorus Contest』（葛飾北斎 富嶽三十六景 Kanagawaの表記）
啓林館	第3学年 P90 『This is All About Me -Autobiography-』（Step1 のPastにKanagawaの表記）

㉓ 一冊ごとの重量（g）				
	冊数	1年	2年	3年
東書	3	422	386	386
開隆堂	3	412	368	368
三省堂	3	420	388	388
教出	3	364	364	364
光村	3	394	388	390
啓林館	3	386	394	360

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『教材一覧表』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【その子の世界、私の世界】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『いじめから目をそむけない』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が『合格通知』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【自分を変える力-桃田賢斗】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、自分の経験をもとに考え、グループで話し合い、学習を振り返る学びの流れが『学習の流れ』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ぼくらの村の未来』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が【好きな仕事か安定かなやんでいる】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である花火や灯ろう流しが『花火と灯ろう流し』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、アンガーマネジメントの方法を、その場面を想定して考える学習活動が【怒りの感情との付き合い方】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『橋の上のおおかみ』に、キャリア教育につながる教材が『たんぼぼ作業所』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報機器活用のルールやマナーについて考える学習活動が【スマホに夢中！】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や絵で表された内容が『私の好きなもの』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【忘れられる権利】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、自分の気持ちを心情円を用いて表現する学習活動が【左手でつかんだ音楽】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、互いに相手のことを認めるためにどうすればよいかを考える学習活動が【外国から来た転校生】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、内容の一場面を劇で演じる学習活動が【缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学道徳 とびだそう未来へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『学びの道しるべ』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【変わりゆく地球】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【道徳科の学びを振り返ろう】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルや個人の権利について考える内容が『自分の思い・相手の思い』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【カーテンの向こう】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、問題に気づき、考え、話し合い、自分の生活に生かしていくという学習の流れが『さあ、道徳を始めよう!』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『難民とともに～緒方貞子～』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が【父のひと言】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である盆栽が『世界に誇る「BONSAI」』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、友だちのよいところを見つける取組を通して、コミュニケーションの仕方を考える学習活動が【信頼関係を築こう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『「金のおの」その後』に、キャリア教育につながる教材が『昨日より今日、今日よりも明日』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、情報機器を使用する際のルールやマナーについて考える学習活動が【歩きスマホをどうするか】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が『心のアンテナ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【もう一つの時間】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、登場人物の気持ちや立場など異なる視点に立って多面的・多角的に考える学習活動が【二通の手紙】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を演技して考える学習活動が【校長先生の模擬面接】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名≪特別の教科 道徳(道徳)≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	光村	書名	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマに沿ったユニットに分けられた教材や学びの順序が『道徳道案内』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【なんだろうなんだろう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『三年目の「ごめんね」』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が『インターネットの中の社会で』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【足袋の季節】に設定されている。		
3 内容と構成	≪教科・種目共通の観点≫ ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、友達と話し合い、学んだことと自分の生き方を結びつける学習の流れが『道徳の学習を始めよう』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である障子あかりが『障子あかり』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、経験してきたことをもとに、よりよい学校生活を過ごすために多面的・多角的に考える学習活動が【私たちの合唱祭】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『手品師』に、キャリア教育につながる教材が『働く姿から見えるのは?』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、スマートフォンやSNSの使い方について考える学習活動が【インターネットの中の社会で】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が『アイツとオレ』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【自然災害と向き合う】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 ≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、別の立場から考えることや授業で学んだことをつなげる学習活動が【見方を変えて】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に違いについて考える学習活動が【あってはならない違い】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、場面を想定し役割演技をして、考える学習活動が【ジグチュウ】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はB5変型判が採用されている。 ㉑ ☐ 『本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学道徳 あすを生きる
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えてみよう』に、内容項目と各教材の対応や学びのキーワードが『内容項目別教材一覧』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【道徳科で学んだことを振り返ってみよう】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が『いじめのない社会へ』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、議論し、学んだことと自分の生き方を見つめる学習の流れが『どうやって学ぶの?』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、気付き、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が【ミニ教材で考えてみよう ある和菓子店】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である江戸切子が『使い手を驚かせて魅了する』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、信号機のない横断歩道についての実態調査を用いて、多面的・多角的に考える学習活動が【キラー・ゼブラと呼ばれて】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科での学びを始めよう!』に、キャリア教育につながる教材が『行動する建築家 坂 茂』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットでの著作権や使い方について考える学習活動が【視野を広げて AIと情報社会】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、登場人物の写真やイラストが『違うんだよ、健司』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【失った笑顔を取り戻す】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【自分にプラスワン】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる視点や立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が【臓器提供】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、ペアやグループで演じて感じたことを伝え合う学習活動が【電車の中で】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	学研	書名	新版 中学生の道徳 明日への扉
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『よりよく生きるための22の鍵』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを通して、心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に設定されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『卒業文集最後の二行』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が『アップロードダウンロード』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【二人の弟子】に設定されている。		
3 内容と構成	《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、道徳科で学ぶことや考えを深める段階が『考えを深める4つのステップ』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が【深めよう 限られた命について考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化であるねぶたが『ねぶたを夢見て』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、目標を達成するために必要なことを書き、自分の将来について考える学習活動が【夢の地図を書いてみよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科で学ぶこと 考えること』に、キャリア教育につながる教材が『「血の通った義足」を作りたい』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、SNSやスマートフォンの使い方について考える学習活動が【〇〇流デジタルライフ】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画やイラストで表された内容が『電車の中で』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【白川郷に魅せられて】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、教材と出会い、考え、話し合い、自分の生き方につなげる学習活動が【深めよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が【礼儀って】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の立場になって考える学習活動が【異なる意見と出合ったときのことを考えよう】に設定されている。		
4 分量・装丁表記等	⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	あか図	書名	中学生の道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『自分を見つめて考える』に、内容項目と教材、現代的な課題等との関わりが『内容一覧』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が【ベビーカー論争】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【学習の記録】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『君たちはどう考え、どう生きるか』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方と他者との関わりについて扱った内容が『ピヨ子』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【足袋の季節】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、自分を見つめて、異なる見方で考え、生き方を考える授業の流れが『道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ドナー』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である姫路城の再建が『運命の木ー姫路城の大柱』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、挨拶にはどのような思いが込められ、なぜ社会生活で大切なのかを考える学習活動が【挨拶から礼儀を考えよう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方や考えの例が『一年生のあなたへ』に、キャリア教育につながる教材が『小浜のさば缶、宇宙へ行く』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が【リアルとネットの不思議】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が『挨拶のちから』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【千年先のふるさとへー宮城県女川町】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、意見が違う他者と対立を乗り越えて問題を解決していく学習活動が【意見の対立について話し合ってみよう】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の気持ちを考える学習活動が【二人のすれ違いについて考えてみよう】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はB5判が採用されている。 ㉑ ☐ 『教科書の本文などには、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-8～道徳-18)を参照。

発行者の略称	日科	書名	道徳 中学校3 生き方を創造する
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ① ☐ 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマごとのユニットに分けられた教材の一覧が『さまざまなテーマから考えを深めよう』に掲載されている。 ② ☐ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。 ③ ☐ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【古今東西「愛」放談】に設定されている。
2 かながわ教育ビジョンとの関連			○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。 ④ ☐ [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が『彼と私のありがとう』に掲載されている。 ⑤ ☐ [たくましく生きる力]の「情報化」について、SNSの使い方を多面的・多角的に考える内容が『SNSでの誹謗中傷』に掲載されている。 ⑥ ☐ [社会とかかわる力]の「生きること」について、登場人物の生き方や考え方から、自己の生き方を考える学習活動が【くちなしの花と、南十字星が指した道 ～花田ミキ～】に設定されている。
3 内容と構成			《教科・種目共通の観点》 ○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑦ ☐ 主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、違う考えや意見も認め学んでいく授業の流れが『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』に掲載されている。 ⑧ ☐ カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『気候変動で私たちができること』に掲載されている。 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ⑨ ☐ 言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。 ⑩ ☐ 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統的な文化である琵琶の修復が『筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～』に掲載されている。 ⑪ ☐ 体験活動の充実について、自分の経験をもとにウェルビーイングについて考える学習活動が【「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう】に設定されている。 ⑫ ☐ 学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方の例が『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』に、キャリア教育につながる教材が『人はなぜ仕事をするのか』に掲載されている。 ⑬ ☐ 情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が【Flower Bus Stop】に設定されている。 ⑭ ☐ 生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が『問題を解決するために必要なこと』に掲載されている。 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。 ⑮ ☐ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【稲村さんの苦悩】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。 《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照) ⑯ ☐ 「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【考えよう】に設定されている。 ⑰ ☐ 「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場からの意見を尊重し、違いを認め合うことについて考える学習活動が【放っておけばいい ～淳の住む町～】に設定されている。 ⑱ ☐ 道徳的行為に関する体験的な学習について、主人公の気持ちをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が【ナイスジャンプ】に設定されている。
4 分量・装丁表記等			⑲ ☐ 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。 ⑳ ☐ 判型はAB判が採用されている。 ㉑ ☐ 『多くの人が使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成しています。』と表記されている。

【資料Ⅱ】

教科種目名≪特別の教科 道徳(道徳)≫

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮

東書	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【避難所で私たちができること】や【おたがいの「ちがひ」を認め合おう】に設定されている。
教出	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『学びの道しるべ』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【暮らしの中のSDG s】や【アラスカを見つめ続けて】に設定されている。
光村	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマに沿ったユニットに分けられた教材や学びの順序が『道徳道案内』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【「生物多様性」を知ろう】や【自然災害と向き合う】に設定されている。
日文	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えてみよう』に、内容項目と各教材の対応や学びのキーワードが『内容項目別教材一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【人権課題への取り組み】や【地球の資源と持続可能な社会】に設定されている。
学研	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、内容項目と各教材の対応を表した表が『よりよく生きるための22の鍵』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【沈黙の海】や【多様な性と私たち】に設定されている。
あか図	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『自分を見つめて考える』に、内容項目と教材、現代的な課題等との関わりが『内容一覧表』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【お互いの性のあり方を考える】や【祖母と木蓮】に設定されている。
日科	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』に、テーマごとのユニットに分けられた教材の一覧が『さまざまなテーマから考えを深めよう』に掲載されている。また、教材での学びを広げる学習活動が【わたしたちの郷土】や【人はなぜ仕事をするのか】に設定されている。

② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮

東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【ぼくらの村の未来】に、第2学年では【私のせいじゃない】に、第3学年では【その子の世界、私の世界】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【二人の言い分】に、第2学年では【お菓子、どうする?】に、第3学年では【変わりゆく地球】に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【なんだろうなんだろう「正義」って、なんだろう。】に、第2学年では【なんだろうなんだろう「ゆるす」って、なんだろう。】に、第3学年では【なんだろうなんだろう「自立」って、なんだろう。】に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【学びを深めよう 三人の乗客】に、第2学年では【学びを深めよう マークはなんのために?】に、第3学年では【学びを深めよう マナーってなんだろう】に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、考え、話し合い、自己を見つめる学習活動が、第1学年では【クローズアップ 知ることから始めよう～人数から見える世界～】に、第2学年では【クローズアップ 多様な性と私たち】に、第3学年では【クローズアップ 社会を変える一歩】に設定されている。
あか図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自分とは異なった考えにふれ、多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【島耕作ある朝の出来事】に、第2学年では【迷惑とは何ぞ】に、第3学年では【ベビーカー論争】に設定されている。
日科	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、教材を読んで考え、異なる意見にふれ、話し合う学習活動が、第1学年では【試してみよう宿題】に、第2学年では【ウォーミングアップ 野菜売り場】に、第3学年では【ウォーミングアップ 水たまり】に設定されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや心に残ったことを書く学習活動が【自分の学びをふり返ろう】に、各教材に自分が感じたことや考えたことをメモする学習活動が【つぶやき】に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに授業を振り返ることや自分が成長したと思うことを書く学習活動が【道徳科の学びを振り返ろう】に、1年間学んできたことを振り返る学習活動が【「よりよく生きる」って、どういうことだろう？】に設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習の始めと終わりに考えを書き、成長したことを振り返る学習活動が【1年間の学びを振り返ろう】に、学習したことを次の学びや日常生活の中で生かすためにどうすればいいか考える学習活動が【つなげよう】に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学んできたことを振り返る学習活動が【道徳科で学んだことを振り返ってみよう】に、道徳ノートに教材の学びを自分に関わりのあることとして考えることができたかを振り返る学習活動が【自分への振り返り】に設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを通して、未来の自分にメッセージを書くことや心に残った言葉等を振り返る学習活動が【学びの記録】に、日々の授業で、気付いたことを書き留める学習活動が【メモ】に設定されている。
あか図	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学期ごとに学習してきたことを振り返り、これからの自分について考える学習活動が【学習の記録】に、1年間の学びを振り返り、成長したことを書き記す学習活動が【1年間の学習の記録】に設定されている。
日科	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、過去の偉人の言葉から自己を見つめる学習活動が【古今東西「愛」放談】に、教材を読んで、自分の思ったことを書き記す学習活動が【memo】に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『風評被害』に、第2学年では『私のせいじゃない』に、第3学年では『いじめから目をそむけない』に掲載されている。
教出	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『二人の言い分』に、第2学年では『最優秀』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
光村	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『「いじり」って』に、第3学年では『三年目の「ごめんね」』に掲載されている。
日文	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
学研	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『クラスメイト』に、第2学年では『ソムチャイの笑顔』に、第3学年では『卒業文集最後の二行』に掲載されている。
あか図	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『魚の涙』に、第2学年では『消えない落書き』に、第3学年では『君たちはどう考え、どう生きるか』に掲載されている。
日科	「思いやる力」の「人権教育」について、いじめ防止に関する教材が、第1学年では『いつも一緒に』に、第2学年では『“生きづらさ”と向き合う』に、第3学年では『彼と私のありがとう』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報モラルと友達との関わりについて扱った内容が、第1学年では『SNSに友達の悪口を書く』に、第2学年では『「いいね」のために』に、第3学年では『合格通知』に掲載されている。
教出	「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報モラルや個人の権利等について考える内容が、第1学年では『ルールとマナー』に、第2学年では『本当の友達って』に、第3学年では『自分の思い・相手の思い』に掲載されている。
光村	「たくましく生きる力」の「情報化」について、インターネットの使い方を考える内容が、第1学年では『わかり合うために』に、第2学年では『見えない誰かと』に、第3学年では『インターネットの中の社会で』に掲載されている。
日文	「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『情報社会とコミュニケーション』に、第2学年では『いじめをなくすために』に、第3学年では『いじめのない社会へ』に掲載されている。
学研	「たくましく生きる力」の「情報化」について、情報モラルやSNSの使い方を考える内容が、第1学年では『うわさで決めるの?』に、第2学年では『つい言い過ぎて』に、第3学年では『アップロード ダウンロード』に掲載されている。
あか図	「たくましく生きる力」の「情報化」について、SNSの使い方と他者との関わりについて扱った内容が、第1学年では『言葉の向こうに』に、第2学年では『いつでも・どこでも・SNS』に、第3学年では『ビヨ子』に掲載されている。
日科	「たくましく生きる力」の「情報化」について、SNSの使い方を多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では『情報の光と闇 ～ファクトチェック～』に、第2学年では『言葉の向こうに』に、第3学年では『SNSでの誹謗中傷』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【6千人の命のビザ】に、第3学年では【自分を変える力ー桃田賢斗】に設定されている。
教出	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【私に宇宙のプレゼント】に、第2学年では【「よりよく生きる」って、どういうことだろう?】に、第3学年では【カーテンの向こう】に設定されている。
光村	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【撮れなかった一枚の写真】に、第2学年では【遠く離れた人に会いたい】に、第3学年では【足袋の季節】に設定されている。
日文	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いつわりのバイオリン】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【生きてこそー石井筆子の生涯ー】に設定されている。
学研	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【いっぱい生きる 全盲の中学校教師】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【二人の弟子】に設定されている。
あか図	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【銀色のシャープペンシル】に、第2学年では【足袋の季節】に、第3学年では【君たちはどう考え、どう生きるか】に設定されている。
日科	「社会とかかわる力」の「生きること」について、登場人物の生き方や考えから、自己の生き方を考える学習活動が、第1学年では【仁子、あきらめない!】に、第2学年では【いつかは言いたい二度目のごめん】に、第3学年では【くちなしの花と、南十字星が指した道 ～花田ミキ～】に設定されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、自分の経験をもとに考え、グループで話し合い、学習を振り返る学びの流れが『学習の流れ』に掲載されている。また、各教材末に主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【ぐっと深める】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、問題に気づき、考え、話し合い、自分の生活に生かしていくという学習の流れが『さあ、道徳を始めよう!』に掲載されている。また、各教材の冒頭に主題に関する発問があり、教材末には主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、友達と話し合い、学んだことと自分の生き方を結びつける学習の流れが『道徳の学習を始めよう』に掲載されている。また、主題に関する発問から考え、自分を見つめる学習活動が【つなげよう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、議論し、学んだことと自分の生き方を見つめる学習の流れが『どうやって学ぶの?』に掲載されている。また、主題に関する発問から考える学習活動が【考えてみよう】に設定されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、道徳科で学ぶことや考えを深める段階が『考えを深める4つのステップ』に掲載されている。また、主題に関する発問から考える学習活動が【考えよう】に設定されている。
あか図	主体的・対話的で深い学びについて、自分を見つめて、異なる見方で考え、生き方を考える授業の流れが『道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間』に掲載されている。また、教材を読んで自分を見つめる学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。
日科	主体的・対話的で深い学びについて、教材を読んで考え、違う考えや意見も認め学んでいく授業の流れが『クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう』に掲載されている。また、主題に関する発問を読んで、考え、自分を振り返る学習活動が【深めよう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ぼくらの村の未来』に、家庭科と関連した教材が『一冊のノート』に、保健体育科と関連した教材が『決断! 骨髄バンク移植第一号』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『難民とともに〜緒方貞子〜』に、音楽科と関連した教材が『最優秀』に、理科と関連した教材が『変わりゆく地球』に掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『レタス博士』に、美術科と関連した教材が『サグラダ・ファミリア受け継がれていく思い』に、数学科と関連した教材が『スカイツリーにかけた夢』に掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、社会科と関連した教材が『本とペンで世界を変えよう』に、音楽科と関連した教材が『いつわりのバイオリン』に、美術科と関連した教材が『マークは何のために?』に掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ヒト・ips細胞を求めて 山中伸弥』に、保健体育科と関連した教材が『真の国際人 嘉納治五郎』に、社会科と関連した教材が『領民を愛した名君 上杉鷹山』に掲載されている。
あか図	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『ドナー』に、社会科と関連した教材が『あふれる愛ーマザー・テレサ』に、音楽科と関連した教材が『夜のくだもの屋』に掲載されている。
日科	カリキュラム・マネジメントについて、理科と関連した教材が『気候変動で私たちができること』に、保健体育科と関連した教材が『全日本柔道チーム TOKYO2020の挑戦』に、国語科と関連した教材が『茶道の心に学ぶ』に掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、自らが問いを立て、対話し、学びを振り返る学習活動が、第1学年では【思いやりの日々】に、第2学年では【みんなでとんだ！】に、第3学年では【好きな仕事か安定かなやんでいる】に設定されている。
教出	言語能力の育成について、教材を読み、考えたことを友達と話し合い、自己を振り返る学習活動が、第1学年では【おはよう】に、第2学年では【留学で考えさせられたお金】に、第3学年では【父のひと言】に設定されている。
光村	言語能力の育成について、これまでの経験から心に残っている言葉を書き記す学習活動が、第1学年では【自分が暮らす地域の特長を思い浮かべてみよう】に、第2学年では【インターネットの利用を振り返ろう】に、3学年では【自分を輝かせる言葉を探してみよう】に設定されている。
日文	言語能力の育成について、気付き、考え、議論して、自分を見つめる授業の流れを知る学習活動が、第1学年では【ミニ教材で考えてみよう 難しい宿題】に、第2学年では【ミニ教材で考えてみよう 成功と失敗】に、第3学年では【ミニ教材で考えてみよう ある和菓子店】に設定されている。
学研	言語能力の育成について、教材を読んで見つけたこと、考えたことをもとに話し合う学習活動が、第1学年では【深めよう 人々の心に響いたものは】に、第2学年では【深めよう 「いざというとき」を考える】に、第3学年では【深めよう 限られた命について考えよう】に設定されている。
あか図	言語能力の育成について、話し合いの際の視点を整理して話し合う学習活動が、第1学年では【マイ・プラス いじめについて話し合ってみよう】に、第2学年では【マイ・プラス 意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【マイ・プラス 白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。
日科	言語能力の育成について、自分の考えをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【オレは最強だ！】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【領民を幸福にすることこそ】に設定されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な文化に関する内容として、第1学年では和菓子『古都の雅、菓子の心』に、第2学年では和食『和食のこころ』に、第3学年では花火や灯ろう流しが『花火と灯ろう流し』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では落語が『“庶民の笑い”を絶やさない～落語家・桂米朝さんの生涯～』に、第2学年では狂言が『狂言師・野村萬斎物語』に、第3学年では盆栽が『世界に誇る「BONSAI」』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年ではねぶた祭が『夢を諦めない』に、第2学年ではしょうゆ造りが『木桶仕込みのしょうゆを伝える』に、第3学年では障子あかりが『障子あかり』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では沖縄の文化が『「肝心」のパスガイド』に、第2学年ではふろしきが『包む』に、第3学年では江戸切子が『使い手を驚かせて魅了する』に掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では狂言や落語が『日本の心と技』に、第2学年では文化財の再建が『金閣再建 黄金天井に挑む』に、第3学年ではねぶたが『ねぶたを夢見て』に掲載されている。
あか図	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年ではアニメやお祭りが『日本探しの旅』に、第2学年では相馬野馬追が『相馬野馬追の季節』に、第3学年では姫路城の再建が『運命の木ー姫路城の大柱』に掲載されている。
日科	伝統や文化に関する教育の充実について、伝統や文化に関する内容として、第1学年では囲炉裏が『分け火』に、第2学年では錦帯橋の再建が『脈々と受け継がれる錦帯橋』に、第3学年では琵琶の修復が『筑前琵琶修復師 ～ドリアーノ・スリス～』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、第1学年では、宿泊活動での体験から安全な生活を考える学習活動が【山に来る資格がない】に、第2学年では、アングーマネジメントの方法を、その場面を想定して考える学習活動が【怒りの感情との付き合い方】に、第3学年では、互いの意見を認め合う学習活動が【おたがいの「ちがひ」を認め合おう】に設定されている。
教出	体験活動の充実について、第1学年では、目が不自由な方への接し方を考える学習活動が【不自然な独り言】に、第2学年では、周りの人たちからの影響を考える学習活動が【まるごと好きです】に、第3学年では、友だちのよいところを見つける取組を通して、コミュニケーションの仕方を考える学習活動が【信頼関係を築こう】に設定されている。
光村	体験活動の充実について、第1学年では、ボランティア活動を通して社会との関わりについて考える学習活動が【初めてのボランティア】に、第2学年では、アングーマネジメントについて考える学習活動が【感情をマネジメントしてみよう】に、第3学年では、経験してきたことをもとに、よりよい学校生活を過ごすために多面的・多角的に考える学習活動が【私たちの合唱祭】に設定されている。
日文	体験活動の充実について、第1学年では、電車での出来事を複数の立場から考える学習活動が【三人の乗客】に、第2学年では、挨拶の意味について考える学習活動が【挨拶は言葉のスキップ】に、第3学年では、信号機のない横断歩道について実態調査を用いて、多面的・多角的に考える学習活動が【キラー・ゼブラと呼ばれて】に設定されている。
学研	体験活動の充実について、第1学年では、掃除や働くことの意味を考える学習活動が【掃除の神様が教えてくれたこと】に、第2学年では、家族への思いを手紙に書く学習活動が【家族に思いを伝えていますか】に、第3学年では、目標を達成するために必要なことを書き、自分の将来について考える学習活動が【夢の地図を書いてみよう】に設定されている。
あか図	体験活動の充実について、第1学年では、自分の生活習慣を見直す学習活動が【あなたの生活習慣は？】に、第2学年では、職場体験を通して働くことの意味を考える学習活動が【加奈子の職場体験】に、第3学年では、挨拶にはどのような思いが込められ、なぜ社会生活で大切なのかを考える学習活動が【挨拶から礼儀を考えよう】に設定されている。
日科	体験活動の充実について、第1学年では、複数の立場から電車での出来事を考える学習活動が【席を譲ってはいけないのですか】に、第2学年では、挨拶の意味を考える学習活動が【あいさつの意味】に、第3学年では、自分の経験をもとにウェルビーイングについて考える学習活動が【「わたしたち」としてウェルビーイングをつくりあう】に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『橋の上のおおかみ』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『「看護する」仕事』に、第2学年では『宇宙人』に、第3学年では『たんぼぼ作業所』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『「金のおの」その後』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『「どうせ無理」をなくしたい』に、第2学年では『五万回斬られた男・福本清三』に、第3学年では『昨日より今日、今日よりも明日』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、小学校で扱われている教材が『手品師』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『私が働く理由』に、第2学年では『スカイツリーにかけた夢』に、第3学年では『働く姿から見えるのは？』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科での学びを始めよう！』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『サッカーの漫画を描きたい』に、第2学年では『行動する建築家 坂 茂』に、第3学年では『相撲を世界に』に掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業での学び方の例が『道徳科で学ぶこと 考えること』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『認められたグラフ』に、第2学年では『蹴り続けたボール』に、第3学年では『「血の通った義足」を作りたい』に掲載されている。
あか図	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方や考えの例が『一年生のあなたへ』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『初めての実験－山中伸弥』に、第2学年では『イチロー選手のグローブ』に、第3学年では『小浜のさば缶、宇宙へ行く』に掲載されている。
日科	学校段階間の円滑な接続について、道徳科の授業の学び方の例が『クラスの人々と「道徳授業」を創り出そう』に、キャリア教育につながる教材が、第1学年では『中央市場は働いている』に、第2学年では『私たちのキャリアプランニング』に、第3学年では『人はなぜ仕事をするのか』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報機器活用のルールやマナーについて考える学習活動が、第1学年では【情報機器の使い方を考えよう】に、第2学年では【ゴール】に、第3学年では【スマホに夢中！】に設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、情報機器を使用する際のルールやマナーについて考える学習活動が、第1学年では【ソーシャルメディアのルールとマナー】に、第2学年では【SNSとどう付き合う？】に、第3学年では【歩きスマホをどうするか】に設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、スマートフォンやSNSの使い方について考える学習活動が、第1学年では【使いすぎて、どういうこと？】に、第2学年では【夢中になるのは悪いこと？】に、第3学年では【インターネットの中の社会で】に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、インターネットでの著作権や使い方について考える学習活動が、第1学年では【使っても大丈夫？】に、第2学年では【視野を広げて 情報の受信と発信】に、第3学年では【視野を広げて AIと情報社会】に設定されている。
学研	情報活用能力の育成について、SNSやスマートフォンの使い方について考える学習活動が、第1学年では【日曜日の朝に】に、第2学年では【熊本地震 被災地支援 SNSが威力】に、第3学年で【〇〇流デジタルライフ】に設定されている。
あか図	情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が、第1学年では【ライオンが逃げた】に、第2学年では【ほほどライン】に、第3学年では【リアルとネットの不思議】に設定されている。
日科	情報活用能力の育成について、インターネットの情報の受信や発信について考える学習活動が、第1学年では【情報の光と闇 ～ファクトチェック～】に、第2学年では【言葉の向こうに】に、第3学年では【Flower Bus Stop】に設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や絵で表された内容が、第1学年では『いじめに当たるのはどれだろう』に、第2学年では『あの子のランドセル』に、第3学年では『私の好きなもの』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が、第1学年では『二人の言い分』に、第2学年では『心のアンテナ』に、第3学年では『歩きスマホをどうするか』に掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や登場人物の吹き出しで表された内容が、第1学年では『いつもの教室の中で』に、第2学年では『気づかなかったこと』に、第3学年では『アイツとオレ』に掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、登場人物の写真やイラストが、第1学年では『“村人B”には……』に、第2学年では『他人の靴を履いてみる』に、第3学年では『違うんだよ、健司』に掲載されている。
学研	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画やイラストで表された内容が、第1学年では『らしさって何だろう』に、第2学年では『コスモスR計画』に、第3学年では『電車の中で』に掲載されている。
あか図	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が、第1学年では『おかしな礼儀』に、第2学年では『ミスター・スードルー安藤百福』に、第3学年では『挨拶のちから』に掲載されている。
日科	生徒の学習上の困難さへの対応について、漫画や吹き出しで表された内容が、第1学年では『誰のためにするのだろう』に、第2学年では『「用具係」、動くか』に、第3学年では『問題を解決するために必要なこと』に掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【新しいプライド】に、第2学年では【「できない」には価値があるー吉藤オリイ】に、第3学年では【忘れられる権利】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【ともだち】に、第2学年では【まるごと好きです】に、第3学年では【もう一つの時間】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年で【いつもの教室の中で】に、第2学年では【段ボールベッドへの思い】に、第3学年では【自然災害と向き合う】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【葉っぱ切り絵で見えた道】に、第2学年では【上勝から世界を変える】に、第3学年では【失った笑顔を取り戻す】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【岩泉を守る】に、第2学年では【OriHimeがつながる世界】に、第3学年では【白川郷に魅せられて】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
あか図	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【語りかける目】に、第2学年では【イチロー選手のグローブ】に、第3学年では【千年先のふるさとへー宮城県女川町】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日科	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【稲村さんの苦悩】に、第2学年では【夢桜 ～荻野吟子～】に、第3学年では【稲村さんの苦悩】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中で、主体的に考え、自分の考え方、感じ方を明確にすることができるよう、「考える道徳」につながる内容構成になっているか。	
東書	「考える道徳」につながる内容構成について、自分の気持ちを心情円を用いて表現する学習活動が【左手でつかんだ音楽】に設定されている。また、自分の考えを深める内容が『考えようをぐっと深める』に掲載されている。
教出	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『命の尊さについて考えよう』に掲載されている。
光村	「考える道徳」につながる内容構成について、別の立場から考えることや授業で学んだことをつなげる学習活動が【見方を変えて】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『自然災害と向き合う』に掲載されている。
日文	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで道徳的諸価値を考える学習活動が【自分にプラスワン】に設定されている。また、登場人物の関係を整理して、考える内容が『学びを深めるヒント』に掲載されている。
学研	「考える道徳」につながる内容構成について、教材と出会い、考え、話し合い、自分の生き方につなげる学習活動が【深めよう】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『クローズアップ』に掲載されている。
あか図	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【自分を見つめて考える】に設定されている。また、学習したことを広げる内容が『Thinking 弱者をつくらない社会』に掲載されている。
日科	「考える道徳」につながる内容構成について、教材末に自分との関わりで教材の道徳的諸価値を考える学習活動が【考えよう】に設定されている。また、自分の考えを表す際の内容が『「ウェルビーイングカード」を使ってみよう』に掲載されている。

⑪ 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えるために、多様な考え方、感じ方と出あい交流する「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。	
東書	「議論する道徳」につながる内容構成について、互いに相手のことを認めるためにどうすればよいかを考える学習活動が、第1学年では【出会いーアンドロイドと不気味の谷】に、第2学年では【注文をまちがえる料理店】に、第3学年では【外国から来た転校生】に設定されている。
教出	「議論する道徳」につながる内容構成について、登場人物の気持ちや立場など異なる視点に立つて多面的・多角的に考える学習活動が、第1学年では【「ちがひ」について考えよう】に、第2学年では【分身ロボットでかなえないこと】に、第3学年では【二通の手紙】に設定されている。
光村	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に違いについて考える学習活動が、第1学年では【リフレーミングをしてみよう】に、第2学年では【テニス部の危機】に、第3学年では【あつてはならない違い】に設定されている。
日文	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる視点や立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が、第1学年では【あったほうがいい？】に、第2学年では【美しい鳥取砂丘】に、第3学年では【臓器提供】に設定されている。
学研	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場から多面的・多角的に物事を考える学習活動が、第1学年では【公平とは何だろう】に、第2学年では【ごみ収集場所をどこに】に、第3学年では【礼儀って】に設定されている。
あか図	「議論する道徳」につながる内容構成について、意見が違う他者と対立を乗り越えて問題を解決していく学習活動が、第1学年では【礼儀について考えてみよう】に、第2学年では【意見の対立について話し合ってみよう】に、第3学年では【夢へのステップについて考えよう】に設定されている。
日科	「議論する道徳」につながる内容構成について、異なる立場からの意見を尊重し、違いを認め合うことについて考える学習活動が、第1学年では【稲村さんの苦悩】に、第2学年では【二通の手紙】に、第3学年では【放っておけばいい ～淳の住む町～】に設定されている。
⑫ 発達の段階に応じて、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的行為に関する体験的な学習について、内容の一場面を劇で演じる学習活動が、第1学年では【お弁当のことで文句を言われた場面をやってみよう】に、第2学年では【「一冊のノート」の場面をやってみよう】に、第3学年では【缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう】に設定されている。
教出	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を演技して考える学習活動が、第1学年では【裏庭のできごと】に、第2学年では【地下鉄で】に、第3学年では【校長先生の模擬面接】に設定されている。
光村	道徳的行為に関する体験的な学習について、場面を想定し役割演技をして、考える学習活動が、第1学年では【裏庭での出来事】に、第2学年では【ジコチュウ】に、第3学年では【三年目の「ごめんね」】に設定されている。
日文	道徳的行為に関する体験的な学習について、ペアやグループで演じて感じたことを伝え合う学習活動が、第1学年では【「愛情貯金」をはじめませんか】に、第2学年では【他人の靴を履いてみる】に、第3学年では【電車の中で】に設定されている。
学研	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の立場になって考える学習活動が、第1学年では【あなたが健二だったらどうするだろう】に、第2学年では【登場人物を自由に演じてみよう】に、第3学年では【異なる意見と出合ったときのことを考えよう】に設定されている。
あか図	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技を通して、登場人物の気持ちを考える学習活動が、第1学年では【車内の場面を実際にやってみよう】に、第2学年では【二人のすれ違いについて考えてみよう】に、第3学年では【白鳥さんとのアート鑑賞を考えよう】に設定されている。
日科	道徳的行為に関する体験的な学習について、主人公の気持ちをウェルビーイングカードを用いて話し合う学習活動が、第1学年では【傘の下】に、第2学年では【ナイスジャンプ】に、第3学年では【彼と私のありがとう】に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑮ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
教出	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
光村	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
日文	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
学研	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
あか図	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
日科	22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。
⑯ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はB 5判が採用されている。
光村	判型はB 5変型判が採用されている。
日文	判型はB 5判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。
あか図	判型はB 5判が採用されている。
日科	判型はA B判が採用されている。
⑰ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルに配慮しています。』と表記されている。
光村	『本文には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学研	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
あか図	『教科書の本文などには、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインや特別支援教育に関して、専門家による校閲を行っています。』と表記されている。
日科	『ユニバーサルデザイン（UD）の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。』『多くの人が使いやすいように、ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやレイアウトなどに配慮して作成しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第2学年 44ページ 49ページ 66ページ 107ページ 125ページ 第3学年 138ページ	『六千人の命のビザ』ユダヤ人たちの国外脱出経路に横浜の記載（横浜市） 『外交官、杉原千畝と六千人の命のビザ』杉原千畝のお墓の写真と鎌倉市の記載（鎌倉市） 『日本のお祭り』相模の大風まつり（相模原市） 『キラリ仕事人ーかがやいている人、見つけた』京浜急行と鉄道運転士の写真（神奈川県） 『住みよい社会に』横浜市戸塚区の団地の記載（横浜市） 『缶コーヒー』（神奈川県道徳授業研究会編）
教出	第1学年 127ページ 第2学年 170ページ	『富士山を守っていくために』「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」葛飾北斎（神奈川県） 『復旧にとどまらず、復興を〜後藤新平〜』横浜の記載（横浜市）
光村	第1学年 13ページ 115ページ 116ページ 179ページ 第3学年 104ページ 105ページ	『父の言葉』湯河原温泉の記載（湯河原町） 『ごみのない地域を目ざして』清掃職員の仕事（座間市） 『ごみのない地域を目ざして』座間市クリーンセンターの職員とパッカー車の写真（座間市） 『日本の郷土玩具』箱根寄木細工（箱根町） 『障子あかり』筆者の家の写真（鎌倉市） 『障子あかり』横浜ベイブリッジの写真（横浜市）
日文	第2学年 179ページ	『受け継ぐかたち・思い・地域のよさ』二宮尊徳（小田原市）
学研	第1学年 32ページ 33ページ 第2学年 42ページ 88ページ 92ページ 167ページ 171ページ 175ページ 第3学年 22ページ 23ページ 122ページ	『エルトゥールル号の遭難』横浜の港の絵（横浜市） 『エルトゥールル号の遭難』横浜港の記載（横浜市） 『ヨコスカネイビーパーク』神奈川県立横須賀高校の学生についての記載（横須賀市） 『三人の誓い 大山捨松』横浜港の記載（横浜市） 『クローズアップ 捨松の生きた時代』捨松の旅路で横浜の記載（横浜市） 『クローズアップ 海を守る魚付き林』真鶴半島の写真（真鶴町） 『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』葛飾北斎（神奈川県） 『OriHime さまざまな施設で活躍』神奈川県の二か所の宿泊療養施設の記載（神奈川県） 『余命ゼロ 命のメッセージ』横浜港の記載（横浜市） 『余命ゼロ 命のメッセージ』横浜の記載（横浜市） 『ルリボンカミキリの青』丹沢山系の記載（神奈川県北西部）
あか図	第1学年 65ページ 第3学年 183ページ	『ライオンが逃げた』神奈川県の記載（神奈川県） 『ふるさとに学びを広げよう』「いのち輝く神奈川県 持続可能な「スマイル100歳社会」の実現」の記載（神奈川県）
日科	第1学年 88ページ 154ページ 第3学年 36ページ 55ページ	『天地と共に』二宮尊徳（小田原市） 『わたしたちの郷土』三苦 薫（川崎市） 『自分のこの目で確かめたい』ペリー率いる黒船が浦賀に来航の記載（横須賀市） 『五つの誓い』神奈川からの記載（神奈川県）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	1年	1年別冊	2年	2年別冊	3年	3年別冊
東書	3	376		390		388	
教出	3	376		362		360	
光村	3	342		356		356	
日文	6	294	84	308	84	316	84
学研	3	360		368		376	
あか図	3	324		324		322	
日科	3	322		328		334	